

AGRIP 斜面草刈機

取扱説明書

たすかる

シリーズ

RK507-L

RK505B-L



ご使用の前に必ずお読みください

 **井関農機株式会社**

 **AGRIP**

株式会社


アグリップ

斜面草刈機重要安全ポイント

1. 作業をするときは、
安全カバー類が取り付けられていることを確認します。
2. 斜面草刈機を使用する前には、
各部の点検・整備を行ないます。
3. 斜面草刈機を点検・整備するときは、
必ずエンジンを停止します。
4. 作業中に人や動物（特に子供）が近付いてきたら、
必ずエンジンを停止し危険を知らせます。

この機械をお使いになるときは復唱してください。

安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要安全ポイントは上記の通りですが、本機は刃物作業機でありますから、常に十分な安全確認を心掛けてください。

また、これ以外にも本文の中で安全上ぜひ守っていただきたい事項を  を付して説明のつどりとらせております。

よくお読みいただくとともに、必ず守っていただくようお願い致します。

はじめに






- このたびは、斜面草刈機をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書は、斜面草刈機を使用する際にぜひ守っていただきたい安全作業に関する基本的事項、斜面草刈機を最適な状態で使っていただくための正しい運転・調整・整備に関する技術的事項を中心に構成されています。
- 斜面草刈機を初めて運転される時はもちろん、日ごろの運転・取り扱いの前にも取扱説明書を熟読され、十分理解の上、安全・確実な作業を心がけてください。
- この取扱説明書は、いつでも取り出して読むことができるよう大切に保管してください。
- 斜面草刈機を貸与、または譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分理解していただき、この取扱説明書を斜面草刈機に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失、または損傷された場合は、速やかにお買上げいただいた販売店・農協にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは、安全性の向上のため使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容及びイラストなどの一部が本斜面草刈機と一致しないこともありますので、ご了承ください。
- もし、おわかりにならない点がございましたら、ご遠慮なくお買上げいただいた販売店・農協にご相談ください。
- 取扱説明書の中の  **重要** 表示は、次のような安全上、取扱上の重要なことを示しています。よくお読みいただき、必ず守ってください。

表 示	重 要 度
 危険	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示しております。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示しております。
 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示しております。
 重要	商品の性能を発揮させるための注意事項を説明しております。よく読んで製品の性能を最大限発揮してご使用ください。

目次

安全のポイント	1
安全な作業をするために	1
安全表示ラベルについて	6
保証とサービス	7
各部の名称とはたらき	8
各部の名称	8
各部のはたらき	10
作業の準備	18
本機の運搬	18
作業者の服装と周囲の安全確認	19
本機の準備と点検	21
作業のしかた	24
基本的な作業のしかた	24
上手な作業のしかた	39
安全作業	46
作業の安全確保	46
付属工具の使い方	52
日常の点検と整備	53
各部の点検・整備	53
点検時期	59
注文部品の紹介	60
主な消耗部品	60
オプション部品の紹介	63
消耗部品の交換のしかた	64
不調時の対応のしかた	68
格納時の作業	71
農作業を安全におこなうために	73
サービス資料	76
主要諸元	76
索引	79

安全のポイント

安全な作業をするために

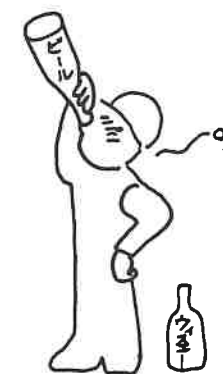
本章では、機械を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しております。十分にご熟読されて、安全な作業を行なってください。

■運転者の条件

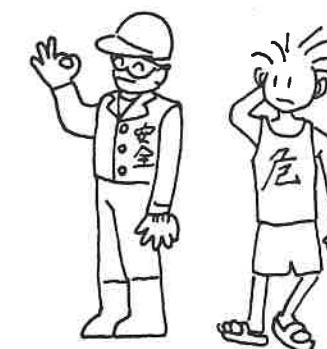
- (1) この「取扱説明書」をよく読むことから始めてください。これが安全作業の第一歩です。



- (2) 飲酒時や過労ぎみの時、作業をしてはいけません。このようなとき作業を行うと、誤操作などで傷害事故を引き起こします。作業するときは、必ず心身とも健康な状態で行なってください。また、妊娠している人や、18歳未満の人は運転しないでください。



- (3) 服装は作業に適したものを着てください。服装が悪いと、衣服が回転部に巻き込まれたり、靴がスリップしたりして大変危険です。作業帽や適正な保護具（保護メガネ）も着用してください。



■作業をする前に

(1)無理のない作業計画で

無理のないゆとりある作業計画を立てましょう。無理な作業計画は、あせりなどから傷害事故を引き起こすことがあります。

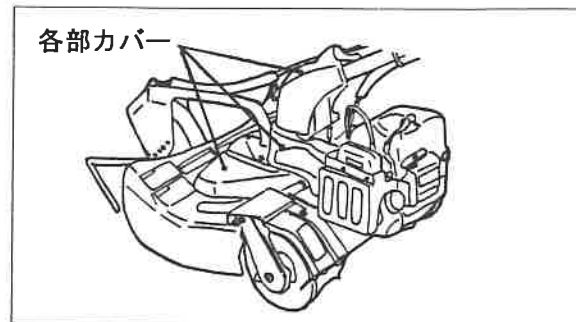


(2)日常点検について

作業する前に、この取扱説明書を参考に必要な点検は必ず行なってください。

(3)安全カバー類の装着確認

作業を開始する前に、安全カバー類が外されたままになっていないか確認しましょう。外れたまま作業を行なうと、危険な部分が露出して大変危険です。



(4)燃料補給時は火気厳禁

燃料を補給するときは、火気厳禁です。(くわえタバコ、火の近辺)守らなかった場合、火災の原因となります。



(5)作業開始は合図を

作業を開始するときは、周囲の安全を確認し、特に補助者とともに作業する場合は声をかけ、合図してから行なってください。怠ると、傷害事故の原因になり大変危険です。



■作業中は

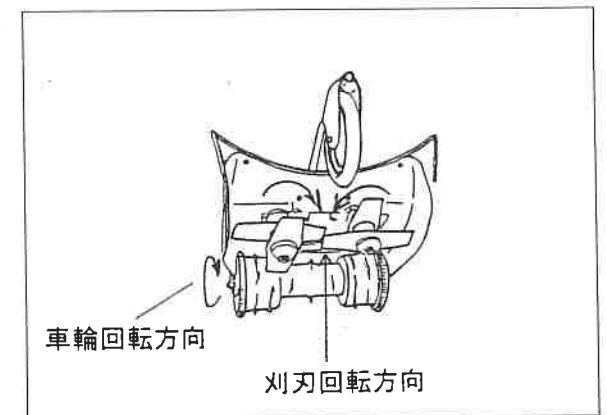
(1)回りの人に注意(特に子供)

作業中は、周囲の安全を十分に確認し作業員以外の人を機械に近づけてはいけません。刈作業中による飛散物や衝突等による傷害事故を引き起こす恐れがあり大変危険です。



(2)危険部位に注意

本機は刃物作業機ですので特に刈刃部に注意してください。またエンジンの過熱部は高温になりますので、点検・整備の際は、十分に冷えてから行なってください。



(3)夜間作業の禁止

夜間等周囲の安全確認が十分にできない時は、作業してはいけません。足元がはっきり見えず転倒したり、人に害を与える動物の出現等危険が多く、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(4)急斜面(15°～45°)への立入禁止

急な斜面(15°～45°)では足場が悪く、転倒等の恐れがあるため大変危険です。急斜面へは本機のみを入れ、平坦地から操作してください。



■点検・整備の際は

(1)明るい場所で

点検や整備をするときは、十分な照明の下で行なってください。暗い所で行なっていると、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(2) エンジンを停止させてから

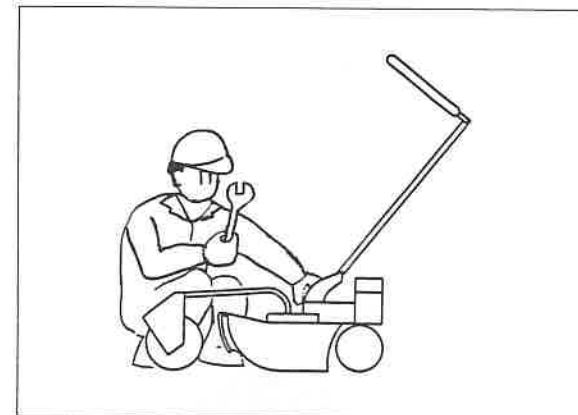
点検・整備を行なうときは、必ずエンジンを停止させてから行なってください。

万一刈刃等の回転部が回転した場合重大事故を引き起こす恐れがあります。



(3) 点検・整備は適正な工具で

点検・整備を行なうときは、適正な工具を正しく使用して行なってください。間に合わせの工具で行なうと、整備中の傷害事故や整備不良による事故を引き起こして大変危険です。



(4) 機械が完全に冷えてから

点検・整備作業は、エンジン等の過熱部が完全に冷えてから行なってください。さもないとやけどなどの傷害事故を引き起こすことになります。



(5) 機械を十分に理解して

各レバーはどのように働き、どのように動くかを完全に理解し回転部等には、不用意に触らないようにしてください。傷害事故を引き起こすことになります。



(6) 機械の改造は厳禁

指定以外のアタッチメントの取付けや改造は、絶対してはいけません。機械の故障や事故の原因になり大変危険です。



(7) カバー類は元通りに

点検・整備で取り外した安全カバー類は必ず元の通り組付けてください。外したままエンジンを始動させると、回転部等に巻き込まれて大ケガをする恐れがあり大変危険です。



■ 人に斜面草刈機を貸すときは

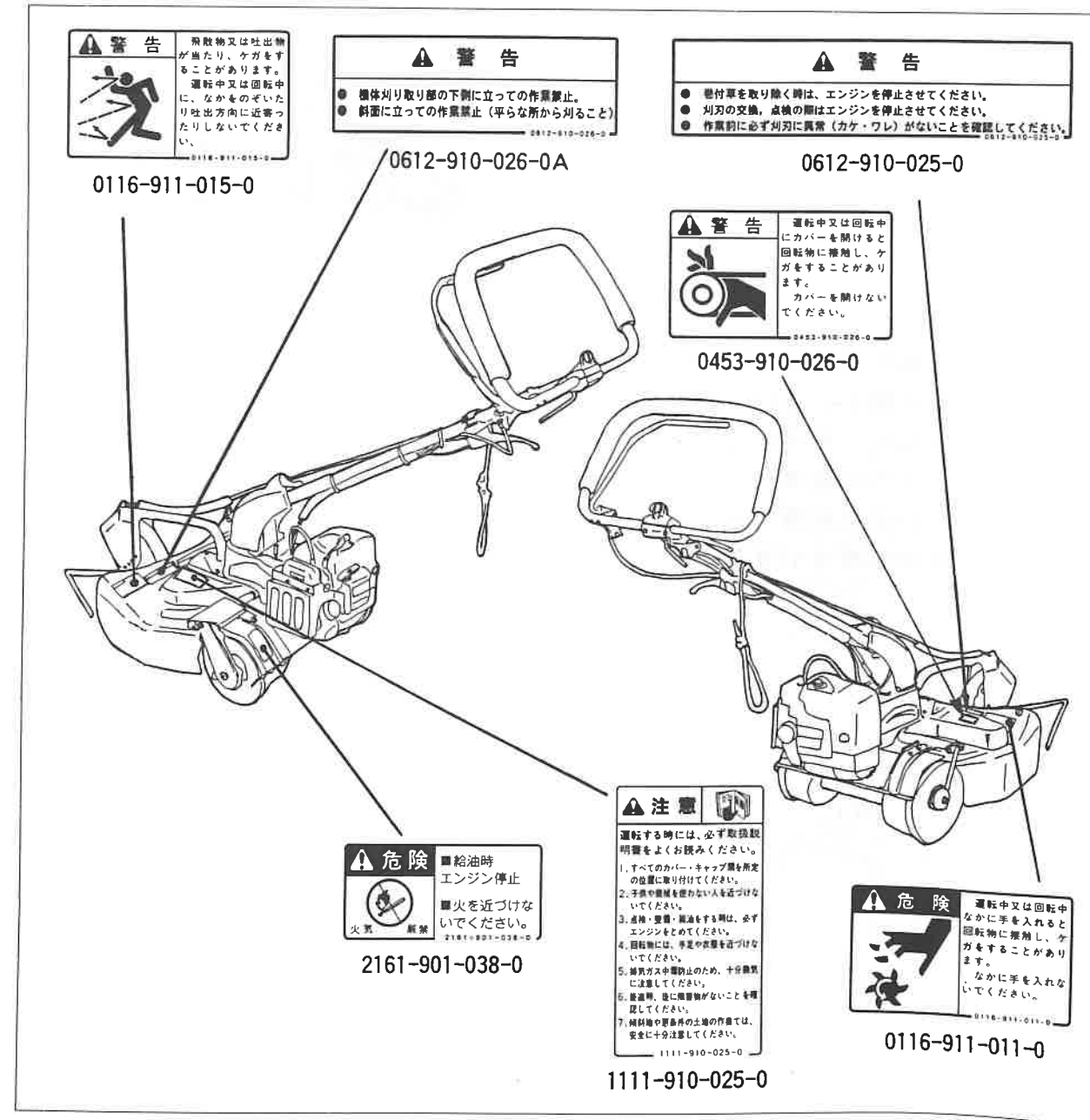
(1) 斜面草刈機を貸すときは、取扱いの方法をよく説明し、使用前に取扱説明書を熟読するように指導してください。借りた人が斜面草刈機の運転に不慣れなため、傷害事故を引き起こすことがあります。



安全表示ラベルについて

- 本機には、安全に作業していただくため、安全表示ラベルが貼付してあります。必ずよく読み、これらの注意に従ってください。
- 安全表示ラベルを破損・紛失したり、記載文字が読めなくなった場合は、新しいラベルに貼りかえてください。安全表示ラベルは、お買上げいただいた販売店・農協へ注文してください。
- 汚れた場合は、きれいにふき取り、いつでも読めるようにしてください。
- 安全表示ラベルが貼付してある部品を交換する場合は、同時に安全表示ラベルもお買上げいただいた販売店・農協へ注文してください。

安全表示ラベル貼付位置



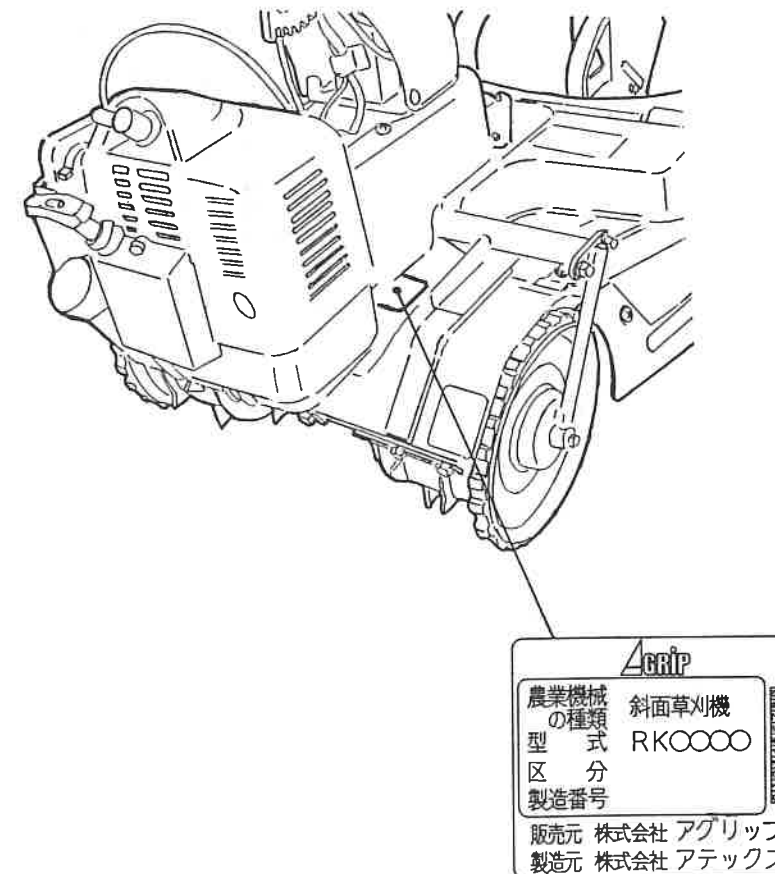
保証とサービス

■商品の保証

この商品には、保証書が添付されています。詳しくは、保証書をご覧ください。

■サービスネット

ご使用中の故障やご不審な点、及びサービスに関するご用命は、お買上げいただいた販売店・農協へお気軽にご相談ください。その際、販売型式名・製造番号を併せてご連絡ください。



■補修用部品供給年限について

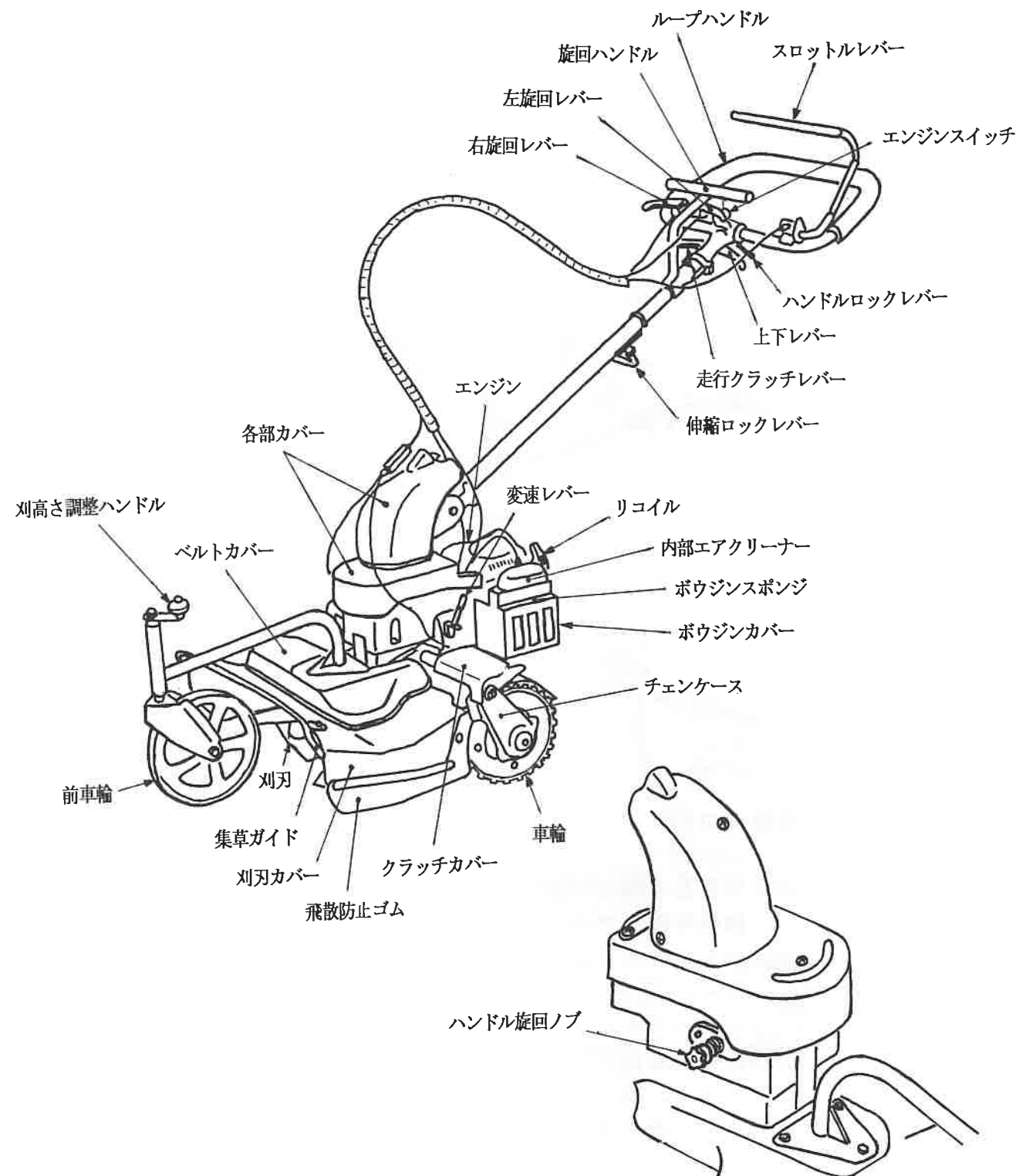
この商品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後10年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただくこともあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

各部の名称とはたらき

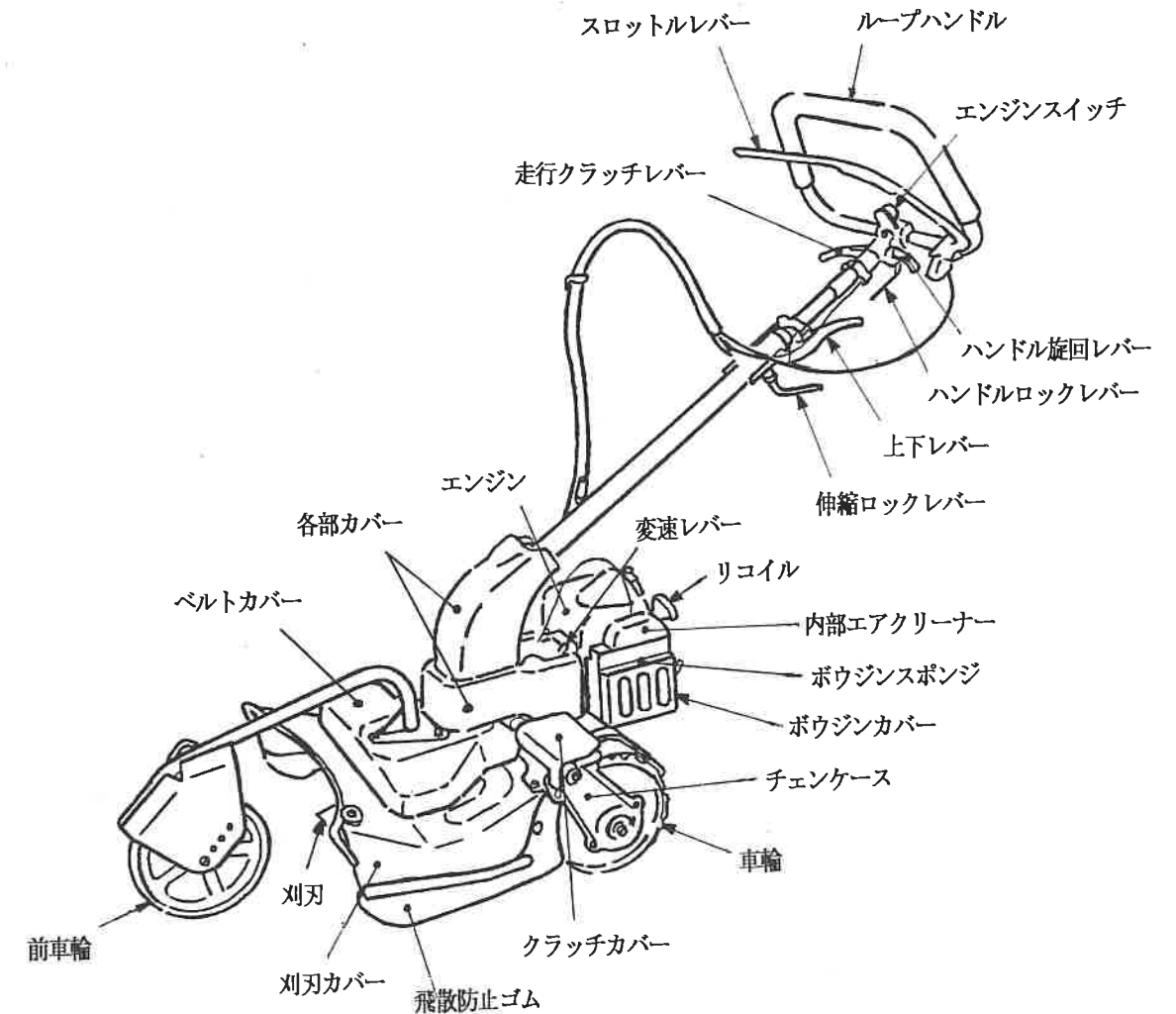
各部の名称

<RK507-L>



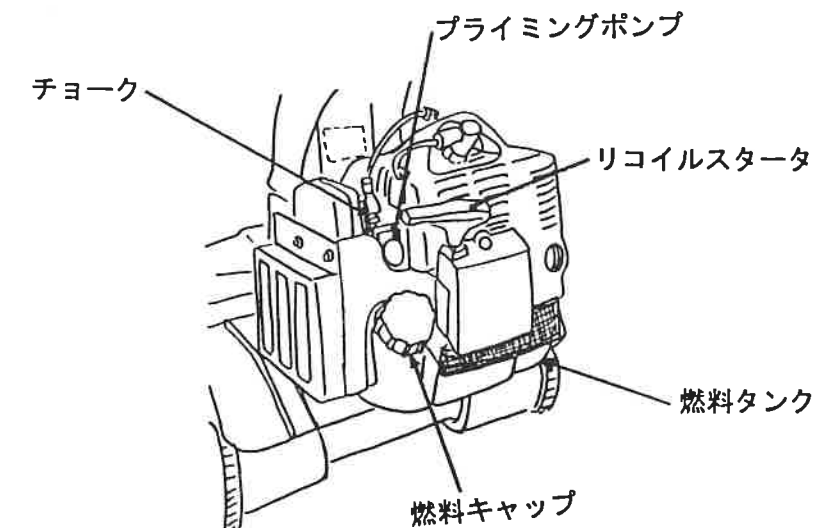
各部の名称とはたらき

<RK505B-L>



<RK507 RK505B>

エンジン部詳細



各部のはたらき

■スロットルレバー

レバーを握ることにより、刈刃が回転するとともに本機が前進を開始します。レバーから手を離すと、刈刃及び、本機が停止します。

●重要

- 作業開始時は、走行クラッチレバーを握った状態でスロットルレバーを握り、エンジン回転が上がってから走行クラッチレバーを離し、作業を始めてください。エンジン回転が十分でないと、草が巻き付いて作業できないことがあります。

▲警告

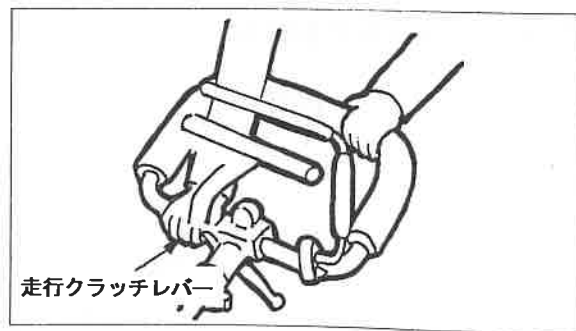
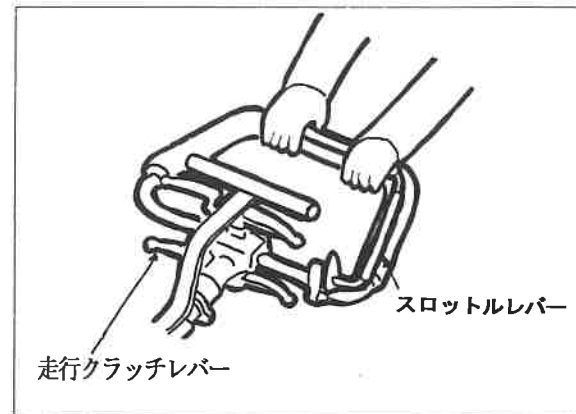
- スロットルレバーを握る時は、周囲に人や物がないことを確認してください。傷害事故を引き起こす恐れがあります。

■走行クラッチレバー

このレバーを握ることにより、走行クラッチが切れ、車輪をフリーにすることができます。

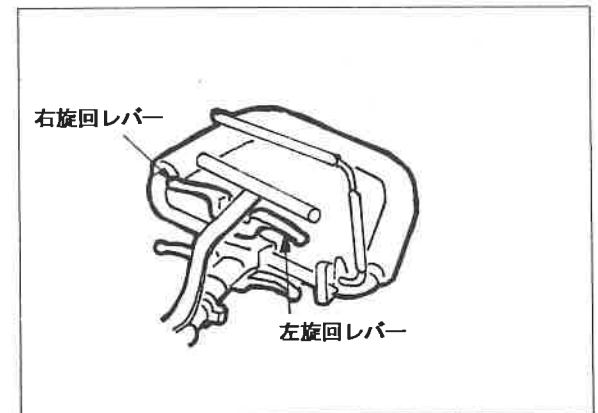
●重要

- 作業中、エンジン回転が低下してきたと感じた場合、このレバーを握ることによって走行を停止したまま、エンジン回転を復帰させることができます。
- 走行クラッチを切る時は、機体を前に押し気味にすると軽く切れます。



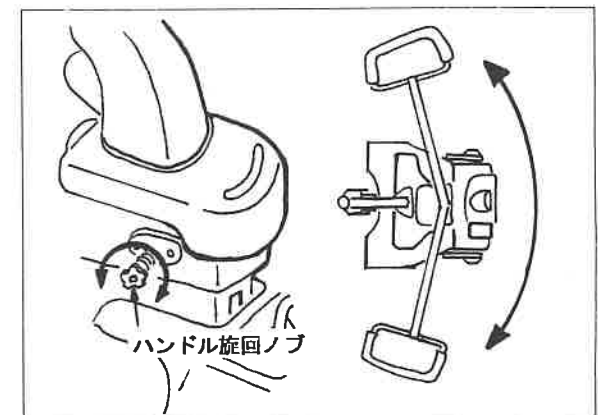
■左旋回レバー／右旋回レバー<RK507-L>

刈刃回転時に左旋回レバーを握ると本機が左に、右旋回レバーを握ると本機が右に旋回します。主に本機の向きを変える時や圃場でのUターン時に使用します。



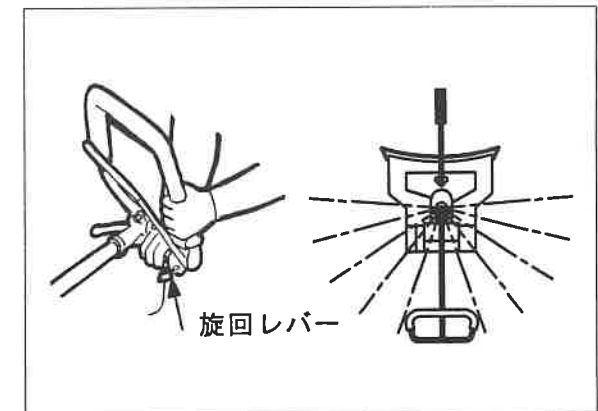
■ハンドル旋回ノブ<RK507-L>

ノブを回すとハンドルが左または右に旋回します。主にエンジン停止時にハンドルを旋回させる時に使用します。



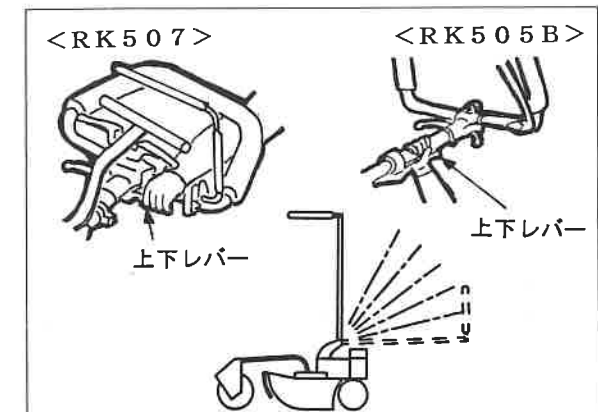
■ハンドル旋回レバー<RK505B-L>

レバーを握り、ハンドルを左または右に動かすことにより、ハンドルを左右5段階に旋回させることができます。主に機体の向きを変える時や、作業に適したハンドル位置にする時使用します。



■上下レバー

レバーを握り、ハンドルを上または下に動かすことにより、ハンドルの高さを7段階に変えることができます。主に傾斜地での作業姿勢の確保のために使用します。

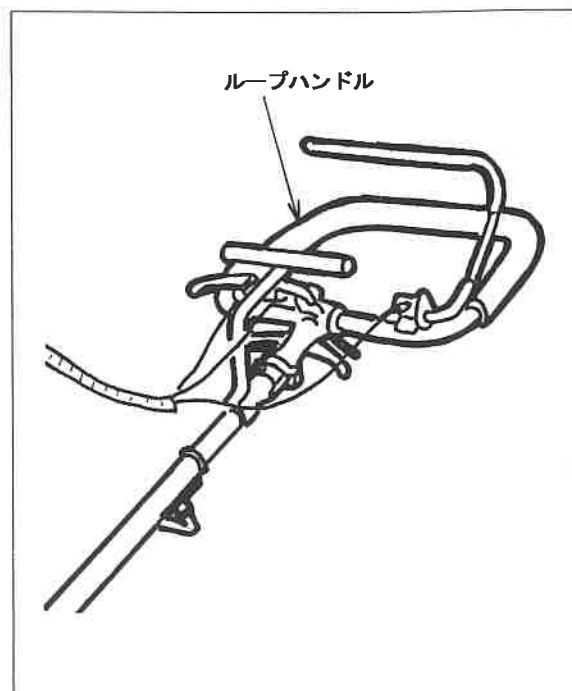


■ループハンドル

刈作業や移動時等は、このループハンドルを持って操作します。

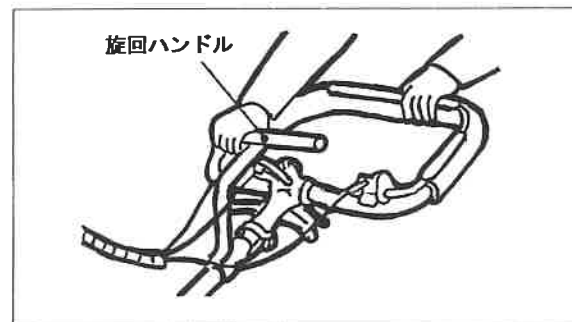
また、このループハンドル周辺には、様々なレバーが装着してあります。それぞれのレバーのはたらきをよく認識してから作業を行なってください。

注意 ●ループハンドルは両手でしっかりと持ち、操作してください。タスカルロープ(RK505B)使用時以外の片手運転は、誤操作の原因となりますので、絶対にしないでください。



■旋回ハンドル(RK507)

本機の旋回作業時にこの旋回ハンドルを持って操作します。

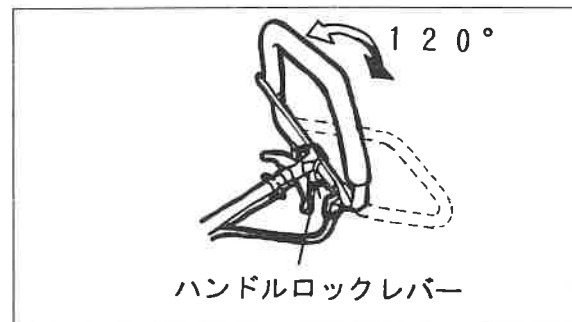


■ハンドルロックレバー

ループハンドルの角度を調整する時に使用します。このロックレバーをゆるめることによって右図のようにループハンドルの角度を変えることができます。

調整後はしっかりと締めてください。

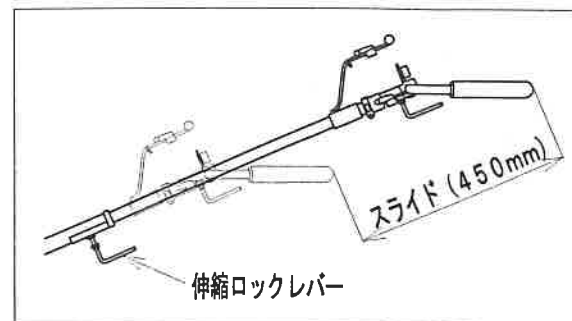
重要 ●調整は120°の範囲内で行なってください。スロットルワイヤ損傷の原因になります。



■伸縮ロックレバー

ハンドルの長さを調整する時に使用します。このロックレバーをゆるめることによって右図のようにハンドルの長さを調整することができます。

調整後はしっかりと締めてください。



■変速レバー

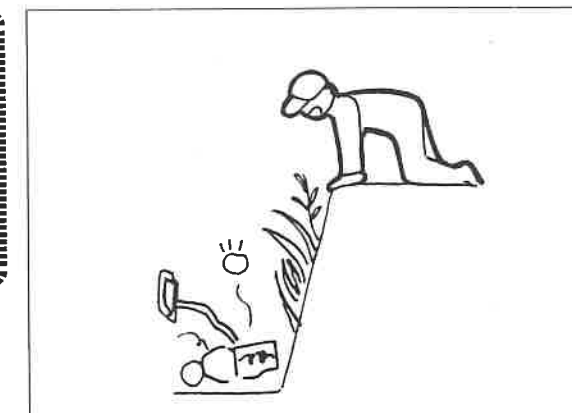
車速を1速または2速に切換えるレバーです。

1速……斜面刈りや、足場の悪い場所、草丈の高い草(40~70cm以上)や、密生した草を刈る場合に使用します。

2速……平面刈や草の量が比較的少ない場所、背丈の低い草(40cm以下)を刈る場合に使用します。



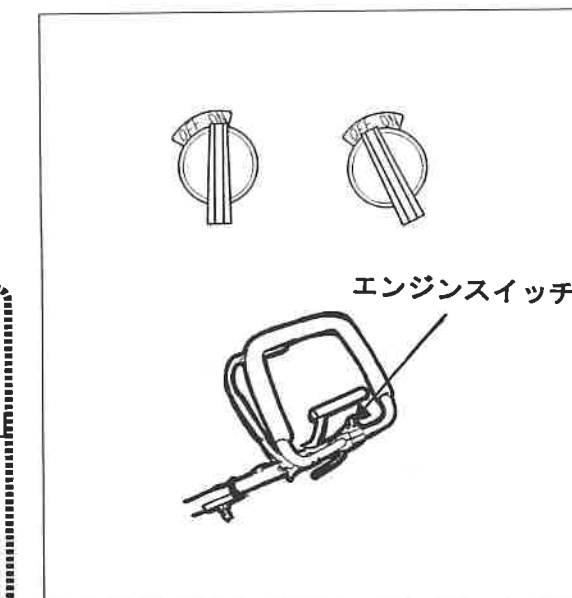
注意 ●傾斜地面や、凹凸が厳しい場所での2速作業は絶対に行わないでください。横転の恐れがあり大変危険です。



■エンジンスイッチ

エンジンを始動または停止させる時に使用します。エンジンスイッチを「ON」にして、リコイルスタータを引くとエンジンが始動し、「OFF」にすると停止します。

警告 ●機体を移動または持ち上げたりする時等は、エンジンスイッチを「OFF」にしてください。刈刃等が急に動く恐れがあり大変危険です。



■エンジン

カワサキエンジンの2サイクルエンジンを搭載しております。

詳しくは、カワサキエンジン取扱説明書（別冊）をご覧ください。

警告 ●換気の悪い場所でエンジンを始動させないでください。排気ガスによる中毒を起こす恐れあり大変危険です。

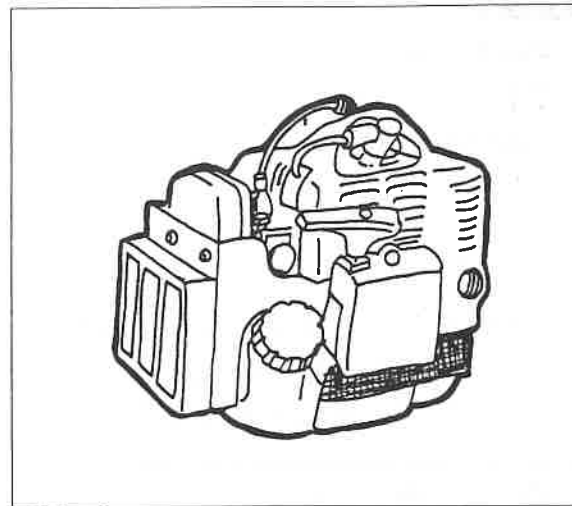
■リコイルスタータ

エンジンスイッチを「ON」にして、リコイルスタータを引くとエンジンが始動します。

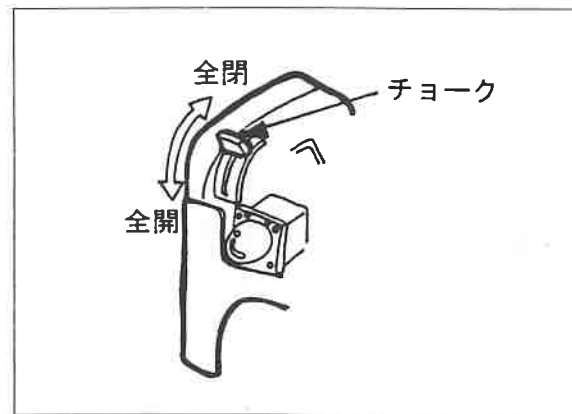
注意 ●リコイルスタータを引く時は、後方に人や物がいないことを確認してください。

■チョーク

チョークはエンジンが冷えきっている時に使用します。チョークを「閉」にして、リコイルスタータを引くとエンジンが始動します。始動後はチョークを「開」にしてください。エンジンが暖まっている時は、チョーク操作の必要はありません。



リコイルスタータ



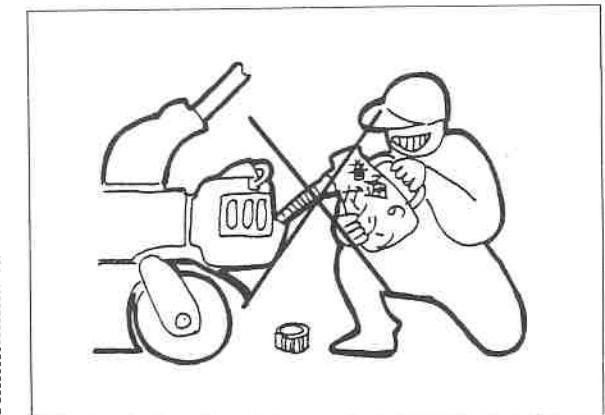
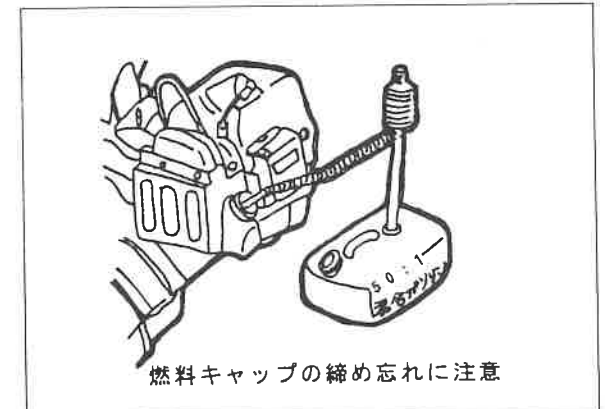
■燃料タンク

燃料は、指定燃料（1／50混合ガソリン）を使用してください。

（1／25でも使用可能です。）

重要 ●指定燃料以外を使用するとエンジンが焼付きます。

警告 ●燃料補給時にこぼれたガソリンは、きれいに拭きとってください。火災の原因になります。
●タンクの燃料キャップを確実に締めてください。燃料補給時はエンジンを停止させてください。
●燃料補給時は、くわエタバコ等の火気厳禁です。守らなかった場合火災の原因となり大変危険です。

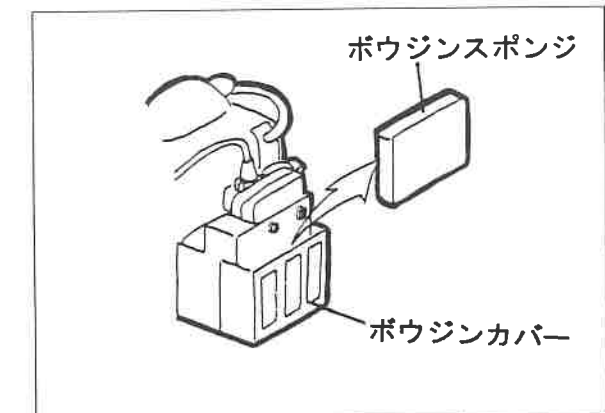


■ボウジンカバー

刈作業時のほこりや、切れカス等のエンジン内部への侵入を防ぎます。

ボウジンカバーのスポンジを引っ張り出すと簡単に掃除をすることができます。

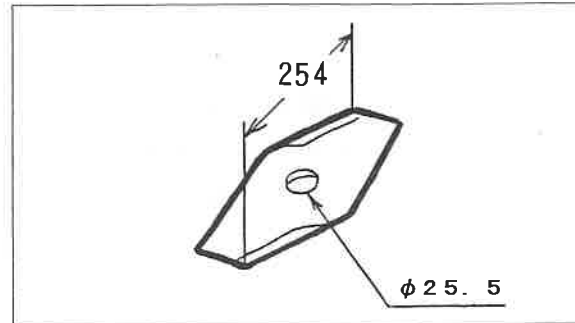
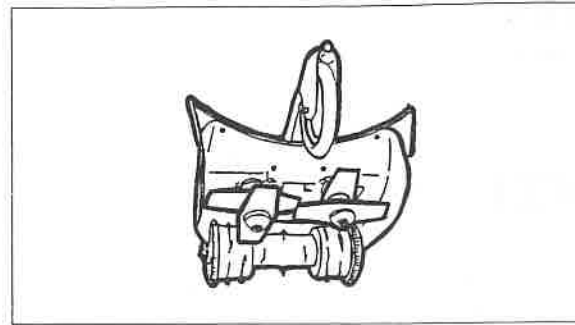
重要 ●作業前・作業後に必ず点検し、汚れていたらすぐに掃除してください。エンジン回転ダウンの原因になります。



■刈刃

本機は2段刃を左右に装備しており、機体の内側へ回転する構成となっています。刈刃は、右図のように決められたサイズのものを使用してください。

- 警告**
- 運転前には必ず刈刃に異常がないことを確認してください。カケ・ワレが発生している場合は速やかに交換してください。
 - 改造刈刃や指定外の刈刃を使用すると、本機が破損するばかりか大ケガをする恐れがあります。



■前車輪

本機前方に設けてある車輪です。前車輪の位置を変えることにより、刈高さを調整することができます。(P 37 参照)

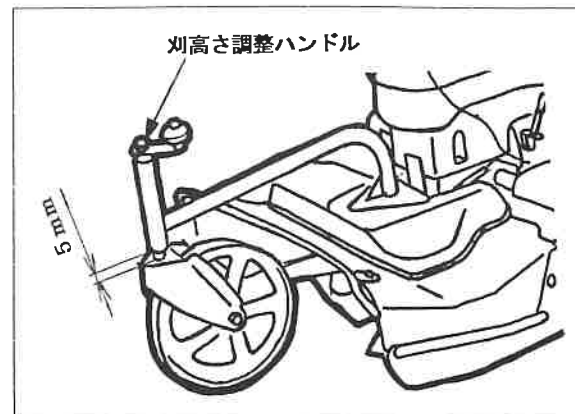
- 重要**
- 背高草が密生している場所ではこの前車輪を外し、前方を浮かせて刈るとスムーズに刈れます。この時、ベルトカバーは元のおり組付けて作業してください。回転部が露出して大変危険です。



■刈高さ調整ハンドル<RK507>

刈高さ調整ハンドルを回すことにより、刈高さを変更することができます。

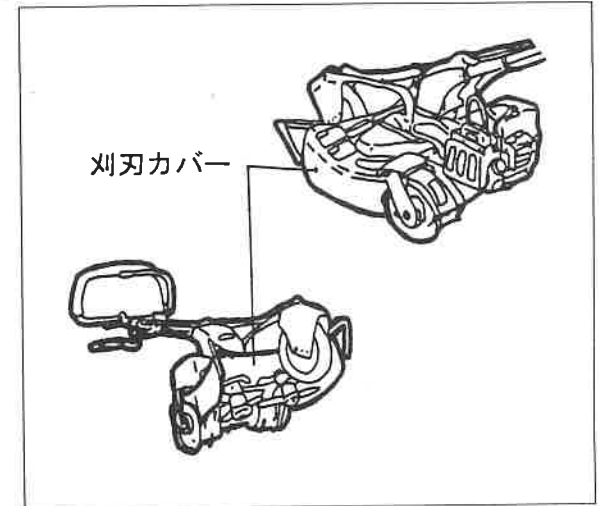
- 重要**
- 刈高さを最低位置より5mm以上開けて作業を行ってください。前車輪がロックしてスムーズな作業を行えなくなることがあります。



■刈刃カバー

作業時の石や木材等の飛散から作業者を守ります。

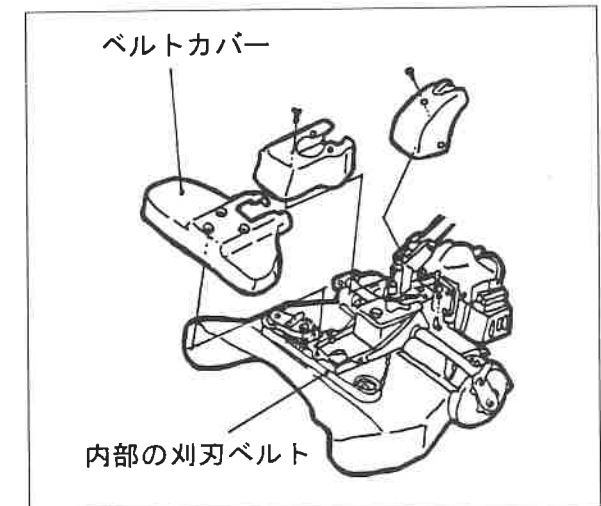
- 注意**
- カバーが正しく組付けてあることを確認してください。ワレや変形が発生している場合は、最寄りの販売店へ連絡し、交換または補修を依頼してください。



■ベルトカバー

内部には、動力伝達用のベルトがあり、高速で回転しています。ベルトの張り調整や掃除の際はこのカバーを外してください。

- 警告**
- カバーを外したまま、エンジンを始動させないでください。ベルトに身体や衣服を巻き込まれる恐れがあり大変危険です。



作業の準備

- ⚠ 警告**
- 点検・整備をする際は、必ずエンジンを停止し、機体が安定する平坦な場所で行なってください。
 - 点検・整備等で外したカバー類または部品は、必ず元の通り組付けてください。
 - エンジンの点検・整備は、エンジンが完全に冷えてから行なってください。
 - 換気の悪い場所ではエンジンを始動させないでください。排気ガス中毒になる恐れがあり大変危険です。

- ⚠ 危険**
- 燃料タンクの付近に火気等を絶対に近付けないでください。
 - 燃料補給時のくわえタバコは絶対にしないでください。火災・爆発等の恐れがあり大変危険です。
 - 燃料を補給した後は、燃料キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいに拭きとってください。火災等の原因になります。

- 重要**
- 刈刃は、指定されたもの（P. 41）を使用し、形状の異なるものや改造したものは使用しないでください。また、著しい摩耗・ワレ等が発生している場合には交換してください。刈性能が劣下したり、機体が破損する恐れがあります。

本機の運搬

■運搬要領

目的地への移動等、エンジンの始動の必要がない場合は本機前部の前車輪を利用して持ち運ぶか、または走行クラッチレバーを握り（切）押し（または引いて）移動してください。

- ⚠ 警告**
- 刈作業時以外は、必ずエンジンを停止してください。急に刈刃が回転する恐れがあり大変危険です。
 - トラック等での積込み移動は、ロープ等で機体をしっかり固定してください。



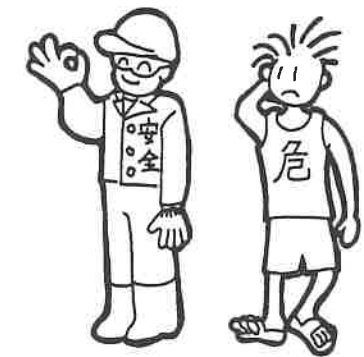
作業の準備

作業者の服装と周囲の安全確認

■作業者の服装

服装は必ず作業着を着用し、また長ぐつ、軍手、メガネ（ゴーグル等）も忘れずに携帯してください。

- ⚠ 注意**
- 作業に適さない服装（半ズボン・スカート・サンダル・サングラス等）では作業しないでください。石等の飛散及び人に害を及ぼす動物の出現等大変危険です。



■作業者の条件

心身とも健康な大人及び、作業の危険性を理解できる人。

- ⚠ 注意**
- 飲酒時や過労ぎみの時、作業をしてはいけません。誤操作などで傷害事故を引き起こします。



作業の環境

作業は十分な照明の下で行なってください。

子供が立入りそうな場所等、他人や車等への傷害の恐れがある場合は使用を控えてください。

警告

● 夜間作業の禁止

十分な明るさがあり、足場がはっきり見える時に作業を行なってください。

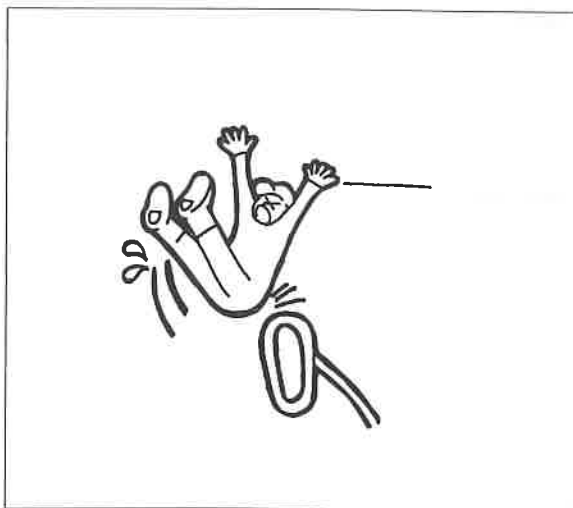
● 急な傾斜地 (15° ~ 45°) に立っての作業禁止 (右図)

急な傾斜地 (15° ~ 45°) に立って作業をすると足を滑らせやすく転倒してケガをする恐れがあります。



注意

● 雨天、または雨あがりは足場が悪く、転倒等の恐れがあり危険です。十分注意して作業してください。



本機の準備と点検

重要

● 作業前には本機のまわりを廻ってみて、異常箇所がないか点検してください。特に燃料や油モレが発生していないか、刈刃はワレ等がなく正常に組付けてあるか、カバーが外れていないかなど、十分な確認を行なってください。異常箇所はただちに整備または、最寄りの販売店へ連絡し修理を行なってください。無理に使用すると破損を招くばかりでなく、傷害事故を引き起こします。

注意

● 推奨する作業前点検は必ず行なってください。
● 本機への不正な改造または、不適当な整備方法は傷害事故の原因となります。必ず作業前にこの取扱説明書をよく読み、よくご理解の上使用してください。

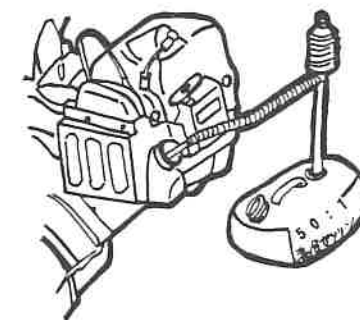
燃料の補給

必ずエンジンを停止し、指定燃料 (1 / 50 混合ガソリン) を使用し、燃料タンクからモレがないか、燃料キャップが確実に締まっているか確認してください。
(1 / 25 でも使用可能です。)

警告

● 燃料補給の際にこぼれたガソリンは、きれいに拭きとってください。火災の原因となり大変危険です。

1 / 50 混合ガソリン



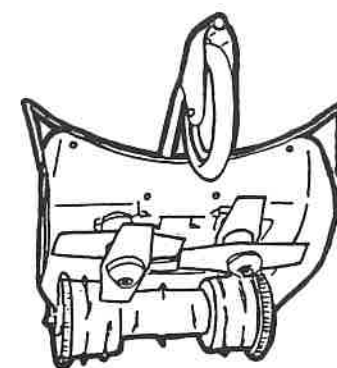
火気厳禁

刈刃の点検

刈刃を組付けているボルトが緩んでいないか確認してください。また、その際刈刃に変形やワレ等が発生していないか点検してください。

警告

● 点検・整備の際は必ずエンジンを停止させ、機体の安定する平坦な場所で行なってください。



エンジン停止

刈刃の交換のしかたは、P. 64を参照し行なってください。また使用する刈刃は指定品を使用し、形状の異なる刈刃や改造品は使用しないでください。

- 重要**
- 不正な刈刃を使用すると性能が発揮できないばかりか機体の破損や傷害事故を引き起こします。
 - 刃部をグラインダ等で研ぐと、ワレやかけ等が発生しやすくなりますのでメーカー保証できません。



■各部の点検

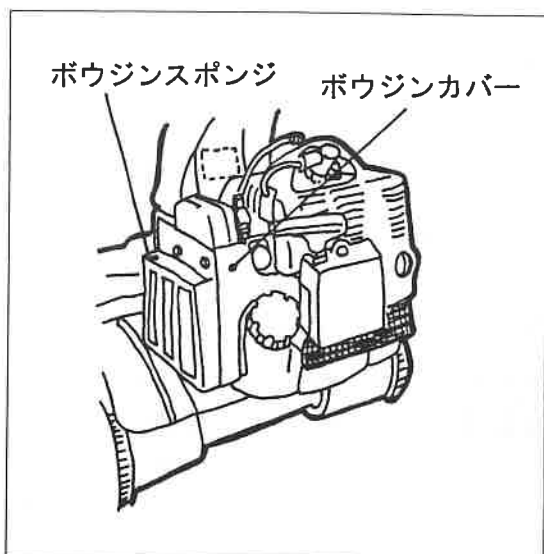
①カバーは正しい位置に組付けてあり、トメネジが緩んでいませんか。また変形やワレ等がありませんか。

- 重要**
- カバーは主に危険部位や飛散物等から作業者を保護する為に組付けてあります。

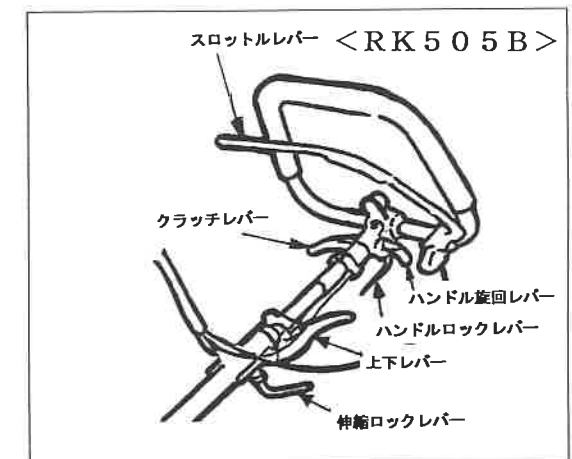
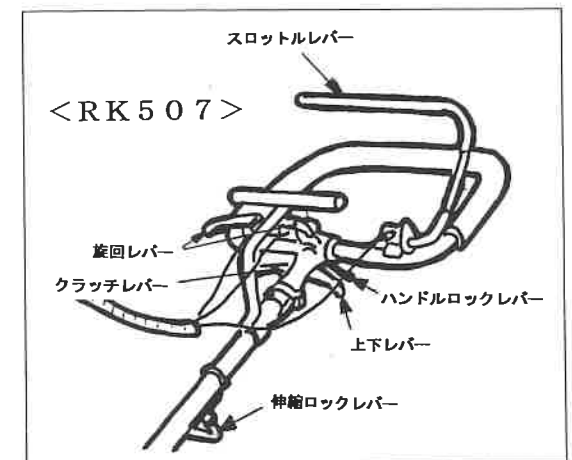
警告 ● カバー類を外してエンジンを始動させないでください。回転部が露出して大変危険です。

②防ジンカバーのスポンジはきれいに掃除してありますか。

- 重要**
- このスポンジはエンジンの吸気の際に、ほこりや切りクズの侵入を防ぐための部品です。ここにゴミがたくさん溜まると、エンジンの能力が発揮できなくなるばかりか、使用を続けるとエンジンが焼付いたりし、火災の原因にもなります。

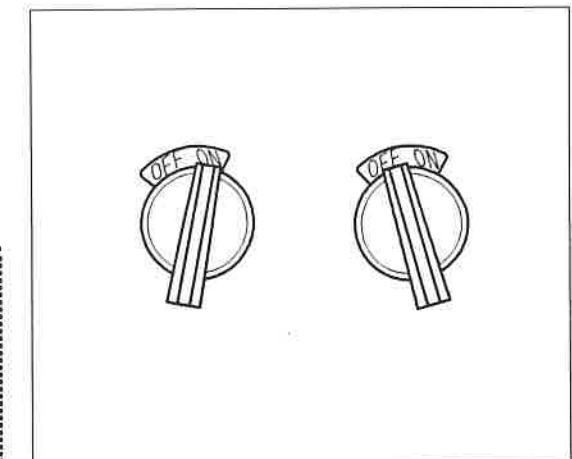


③各部レバーは正常に働きますか。スロットルレバー、走行クラッチレバー等 P. 10～P. 13を参照し、動作が行えるか確認してください。



④エンジンスイッチは正常に働きますか。エンジンスイッチを「ON」にし、リコイルスタータを引けばスムーズにエンジンが始動し、「OFF」にすれば停止するか確認してください。

- 警告** ● 換気の悪い場所では、エンジンを始動させないでください。排気ガス中毒になる恐れがあり大変危険です。



作業のしかた

- ⚠ 注意**
- 長時間作業を続けると、注意力が劣ってきて誤操作等の原因になります。定期的（1時間に1回）に休憩をとりましょう。
 - 作業中は、常に周囲の安全を確認しながら行なってください。
 - 機体正面に人がいる時は、エンジンを始動させないでください。

- ⚠ 警告**
- 作業前には、飛散物や衝突による事故防止のため、作業範囲内の石、空き缶、板切れ等のすべての異物を取り除いてください。
 - 作業中に人や動物（特に子供）が近付いてきたら、ただちにエンジンを停止し、危険を知らせてください。
 - 作業中に異常な音や振動を感じたら、ただちにエンジンを停止させ、原因を確認し整備するか最寄りの販売点へ連絡してください。

- 重要**
- 長時間作業をすると、刈刃の切断性能が悪くなってきます。刈刃の状態を定期的（1時間おき）に点検し、必要なら刈刃を裏返すか交換してください。
 - はじめて作業を行なうときは、必ず平地の上で操作の練習をしてください。誤操作の原因になります。

基本的な作業のしかた

■各部の操作手順

①エンジンの始動

- ⚠ 注意**
- 機体正面に人がいる時は、エンジンを始動させないでください。
 - 機体下に突起物や石・板等がないことを確認してください。

(1)プライミングポンプを押す

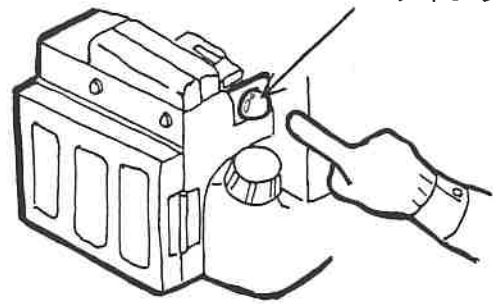
次の条件の時は、プライミングポンプを右図のように2～3回ゆっくり押してください。

- 初めて燃料を入れて始動する時
- 燃料切れでエンジンが停止し、燃料補給後再度エンジンを始動する時
- 一週間以上の長期保管後

周囲確認



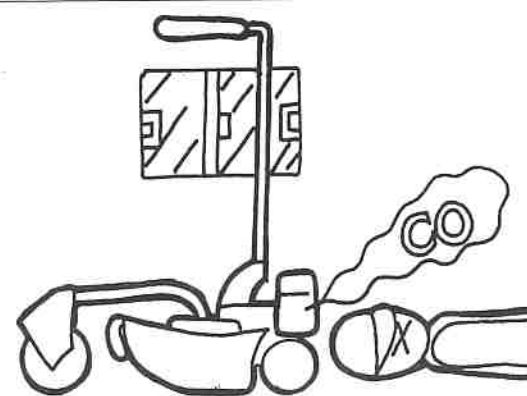
プライミングポンプ



作業のしかた

(2)エンジンを始動させる。

- ⚠ 警告**
- 換気の悪い場所でエンジンを始動させないでください。排気ガス中毒になる恐れがあり大変危険です。
 - カバー類を外してエンジンを始動させないでください。危険部位が露出して大変危険です。



排気ガス中毒

ループハンドル中央にあるエンジンスイッチを「ON」にし、リコイルスタータを引くとエンジンが始動します。

- 重要**
- エンジンが冷えている時は、チョークを「閉」にし始動させ、始動後は「開」にしてください。（P. 14）

- ⚠ 注意**
- リコイルスタータを引く時は、後方に人がいないことを確認してください。



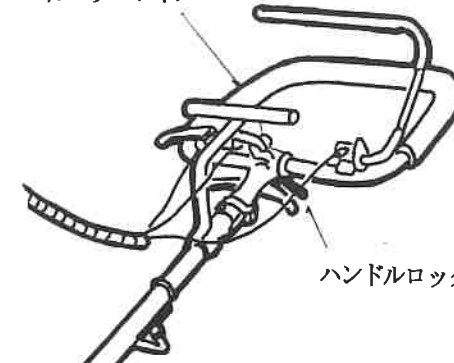
エンジンスイッチ



(3)ループハンドルの位置を変える

ハンドルロックレバーを緩め、ループハンドルを作業のしやすい位置に動かします（右図位置推奨）。位置変更後、ハンドルロックレバーをしっかりと締め、固定します。

ループハンドル



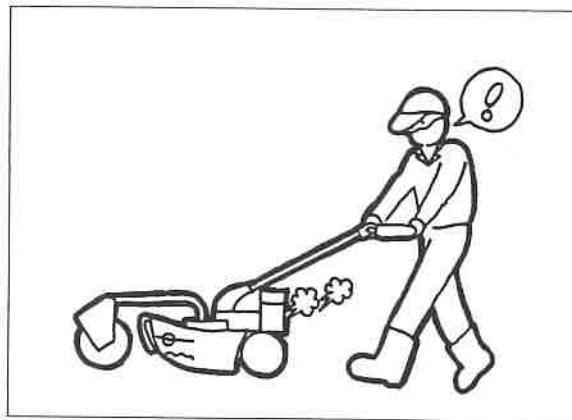
ハンドルロックレバー

(3)刈刃を回転させる

機体前方を上げた状態で、走行クラッチレバーを握り、スロットルレバーを握ってください。

- 重要** ●機体前方を上げずに刈刃を回転させると回転数が上がりず刈性能が発揮できません。刈り始めは必ず走行クラッチレバーを握り（切）、エンジン回転が十分に上がってから走行クラッチレバーを離し（入）、刈り始めてください。

警告 ●異常な音や振動を感じたら、ただちにエンジンを停止させ、原因を確認してください。



■刈作業のしかた

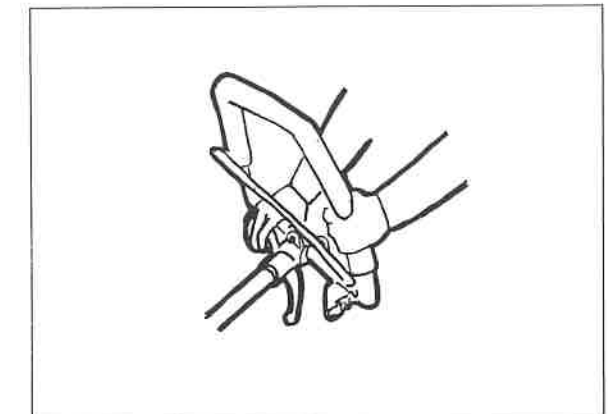
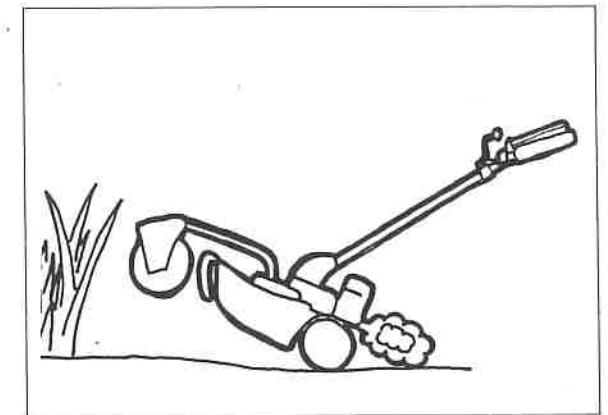
刈り始めは、走行クラッチレバーを握り（切）、機体前方を上げた状態でスロットルレバーを握ってください。

エンジン回転が十分に上がった後、走行クラッチレバーを離し（入）、刈り始めてください。

- 重要** ●草がからまって作業ができなくなった時は、エンジンを停止させ、刈刃や車輪にからまった草を取り除いてください。
- 無理に回転させようとすると、エンジンのシェークラッチが磨耗し、焼付きます。

警告 ●刈刃の点検・整備は、必ずエンジンを停止させてから行なってください。刈刃が突然回転する恐れがあり大変危険です。

- 重要** ●車輪に草が巻き付いてきたら、走行クラッチを切り、本機を後方に引くと取りやすくなります。そのまま使用を続けると、伝動系が破損することがあります。



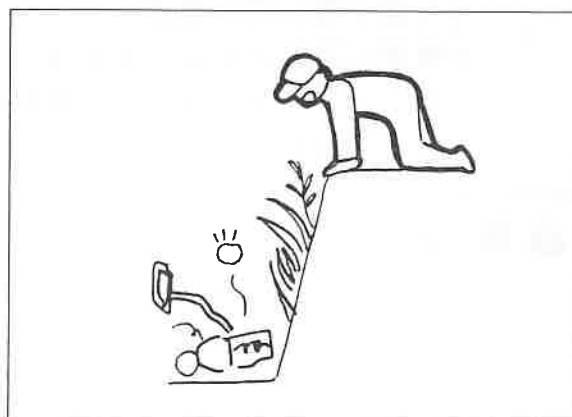
■傾斜地の刈作業

- 重要**
- 本機の刈作業可能傾斜角は 45° までです。これを越える場所では作業はできません。
 - 15° を越す急斜面では、機体のみを入れ、操作は平坦地から行なってください。



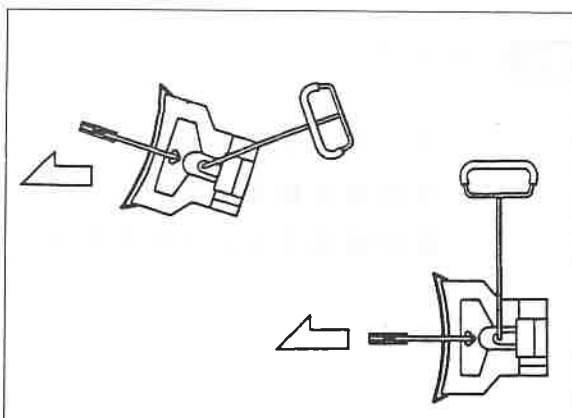
①変速レバーを1速にしてください。

- 注意**
- 急斜面での2速作業は足場が悪く、横転等を引き起こす恐れがあり危険です。



②平坦地に立って操作してください。

- 重要**
- ループハンドルの位置を調節して、楽な姿勢で作業してください。
 - 長い斜面では、伸縮ロックレバーを使い、ハンドルを長くすることで、より楽に草を刈ることができます。



③急斜面は等高線上に刈りましょう。
(右図)

- 警告**
- 急斜面 ($15^{\circ} \sim 45^{\circ}$) へは本機のみを入れ、操作は平坦地から行なってください。

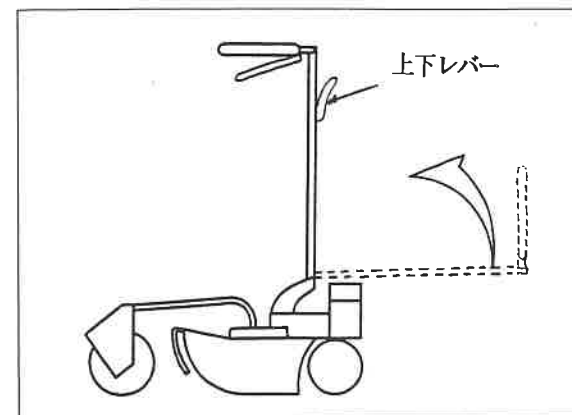


■ターン(方向転換)のしかた<RK505B>

①平地でのターン

(1)上下レバーを握り、ループハンドルを起こしてください。

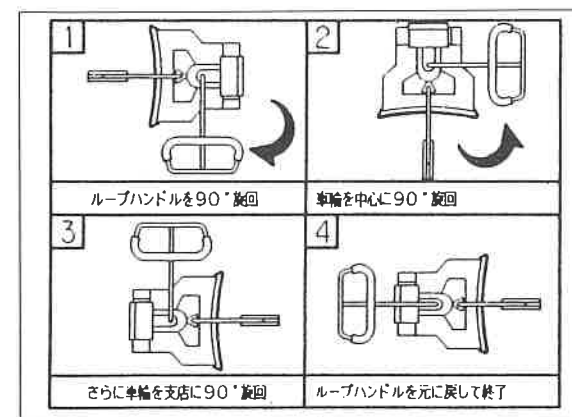
- 注意**
- ターン時は、スロットルレバーを握らないでください。刈刃回転をさせながらのターン操作は、大変危険です。



- 重要**
- 上下レバーを操作する際は、ハンドルを上下にゆすると軽く作動します。

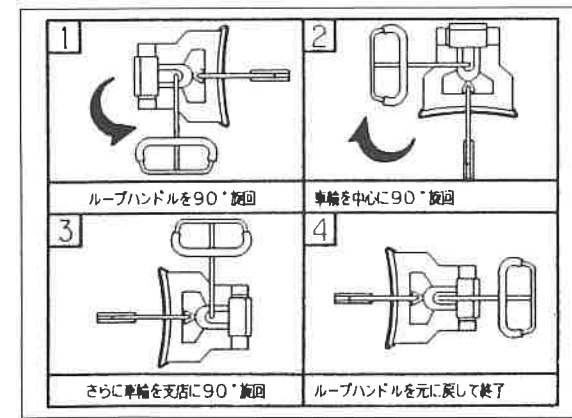
(2)左にターンしたい場合…

ハンドル旋回レバーを握り、右図のようにループハンドルを回し、車輪を支点にして向きを変えてください。



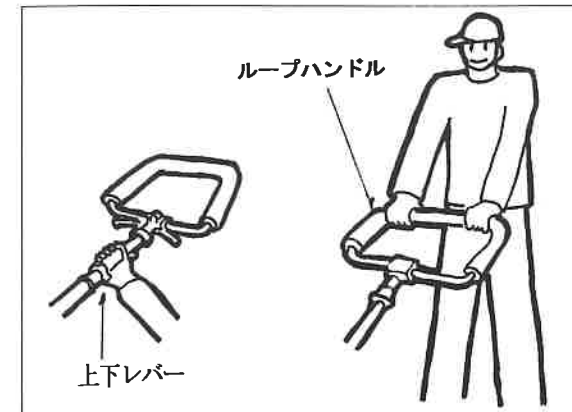
(3)右にターンしたい場合…

ハンドル旋回レバーを握り、右図のようにループハンドルを回し、車輪を支点にして向きを変えてください。



(4)上下レバーにて、ループハンドルを持ちやすい高さに調整してください。

- 注意**
- 作業を再開する時も、周囲の安全を十分に確認してください。



②傾斜地でのターン

(1)刈作業をしながら、本機を平地または安定する場所へ走行させてください。

(2)本機が安定する場所で、スロットルレバーから手を離し、刈刃回転を停止させてください。

注意 ●ターン操作時は、スロットルレバーを握らないでください。刈刃回転させながらのターン操作は大変危険です。

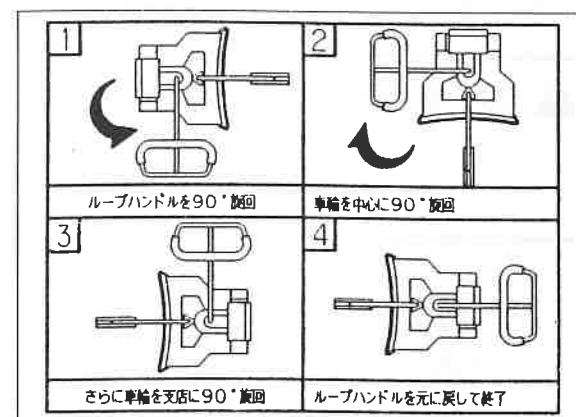
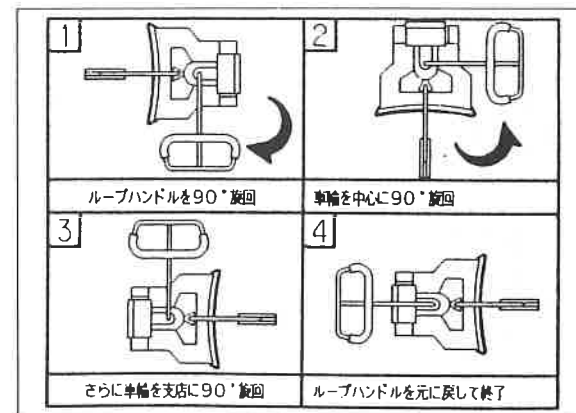
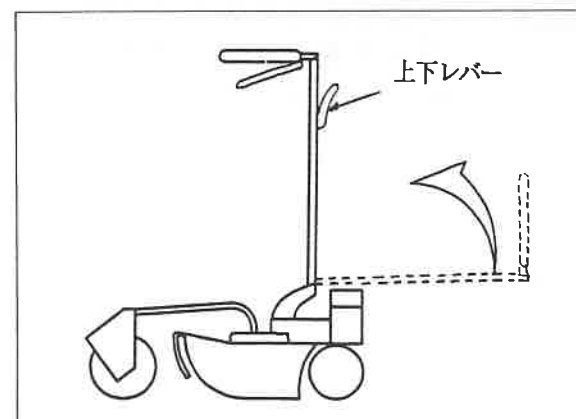
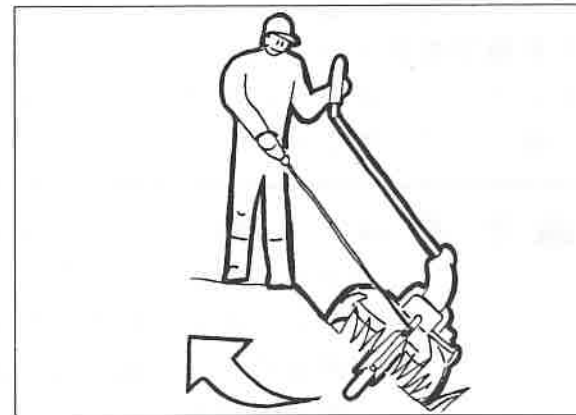
(3)上下レバーを握り、ループハンドルを起こしてください。

(4)左にターンしたい場合

ハンドル旋回レバーを握り、右図のようにループハンドルを回し、車輪を支点にして向きを変えてください。

(5)右にターンしたい場合

ハンドル旋回レバーを握り、右図のようにループハンドルを回し、車輪を支点にして向きを変えてください。



■ターン（方向転換）のしかた<RK507>

①平地でのターン

(1)上下レバー、ハンドルロックレバーを使い、ループハンドルを操作しやすい位置（右図位置推奨）に固定します。

(2)スロットルレバーを握り、刈刃を回転させます。

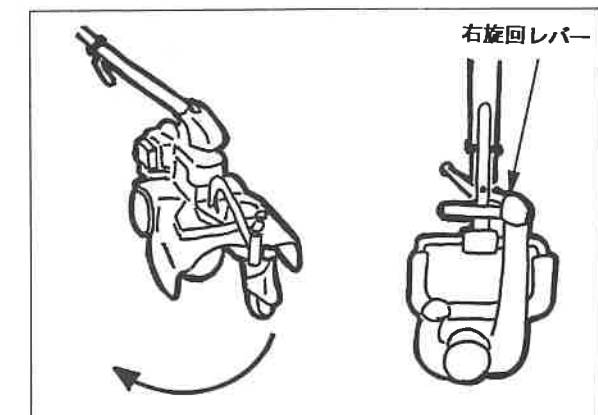
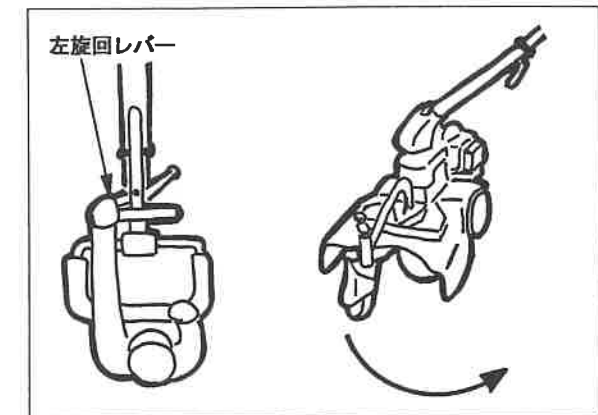
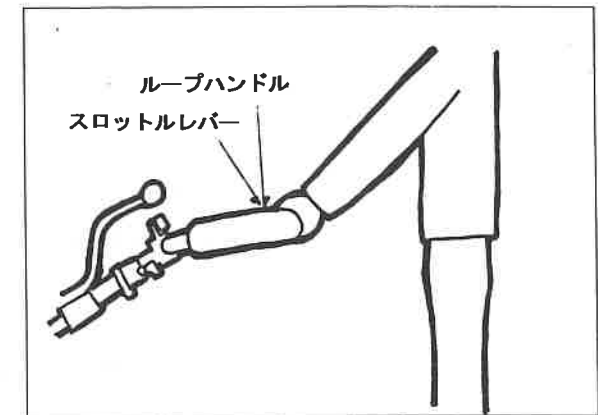
(3)左にターンしたい場合…

左旋回レバーを握ると本機が左に旋回します。レバーを放すと旋回が停止します。

(4)右にターンしたい場合…

右旋回レバーを握ると本機が右に旋回します。レバーを放すと旋回が停止します。

重要 ●旋回操作をする際、ターンする側の手で旋回レバーを握ると、楽な姿勢で作業することができます。



②傾斜地でのターン

- 重要**
- 斜面刈を始める前に、平地で旋回作業の練習をして操作に慣れてから、斜面に入ってください。
 - 本機の刈作業可能傾斜角は45°までです。これを越える場所では作業できません。
 - 15°を越す急斜面では機体のみを入れ、操作は平坦地で行なってください。

(1)上下レバーとハンドルロックレバーを使い、ループハンドルを操作しやすい位置（腰の高さくらい推奨）に固定します。

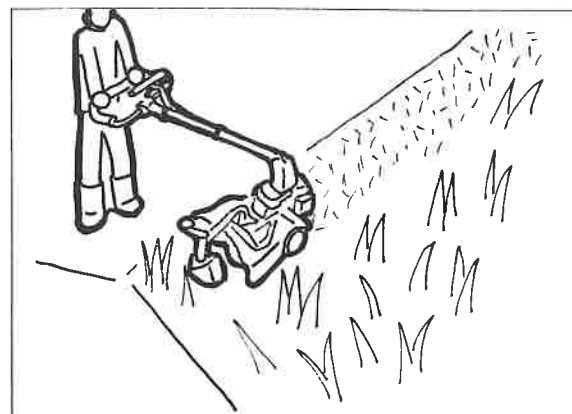
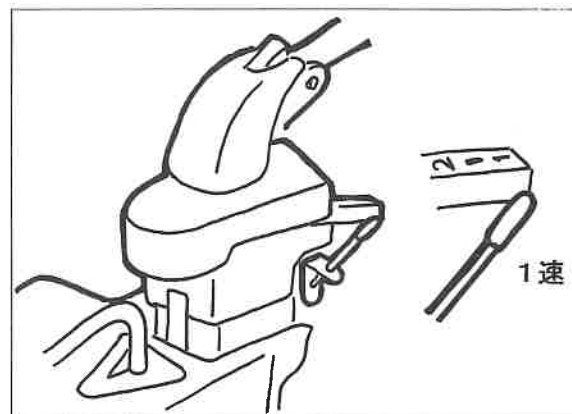
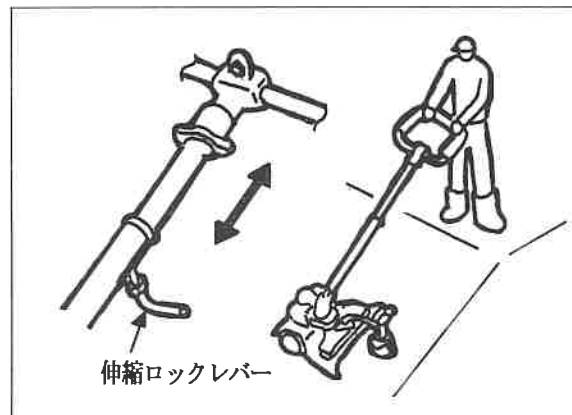
- 重要**
- 長い斜面では、伸縮ロックレバーを使い、ハンドルを長くすることで、より楽に草を刈ることができます。

(2)変速レバーを1速にしてください。

- 注意**
- 急斜面での2速作業は、足場が悪く、横転を引き起こす恐れがあり危険です。

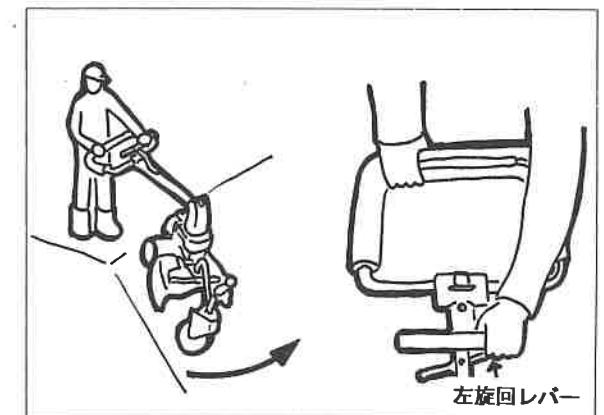
(3)刈作業をしながら旋回する位置まで移動します。

練習

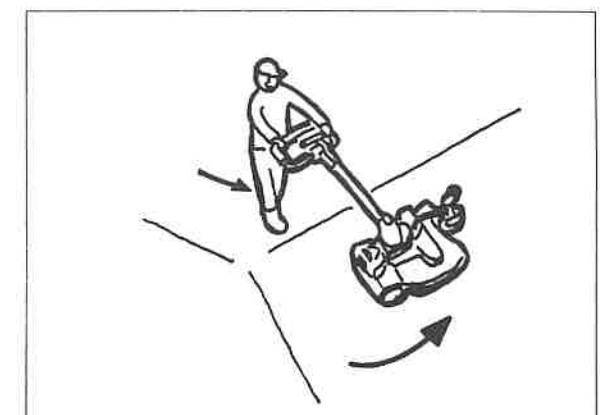


(4)左にターンしたい場合（上からの作業時）

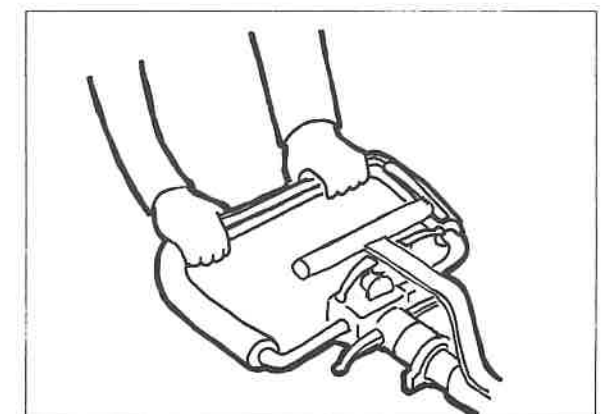
- ①左旋回レバーを握ると、本機が左に旋回を始めます。



- ②本機が旋回を始めたら、次の刈位置に合わせて1歩前に出てください。



- ③本機の旋回限界位置まで回ると旋回がストップします。旋回が終了したら、旋回レバーから手を放し、ループハンドルを両手で持って作業をしてください。



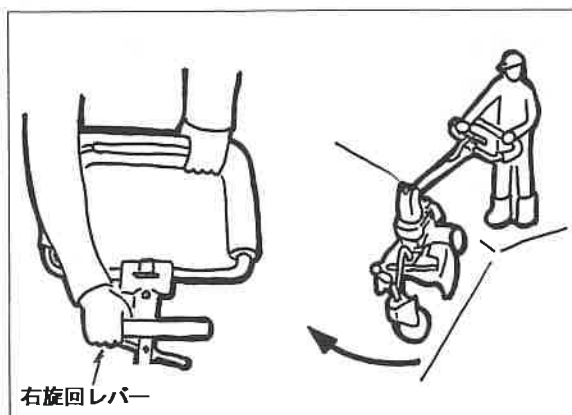
- 注意**
- 旋回限界位置まで行なってください。旋回途中の位置で止めると操作が困難になり、スムーズな作業ができなくなります。

- 重要**
- 旋回操作をする際、ターンする側の手で旋回レバーを握ると、楽な姿勢で作業をすることができます。
 - ハンドル位置は、下から2段目までで操作すると、楽に旋回できます。

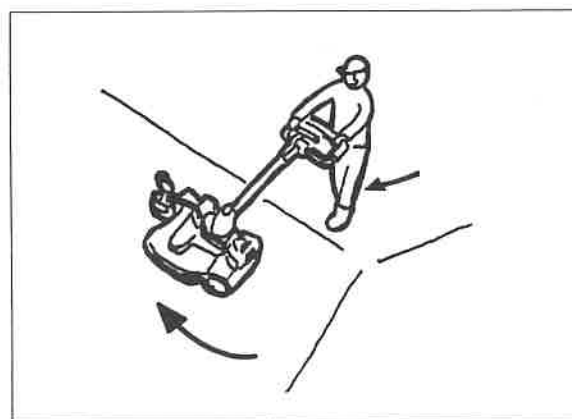


(5)右にターンしたい場合（上からの作業時）

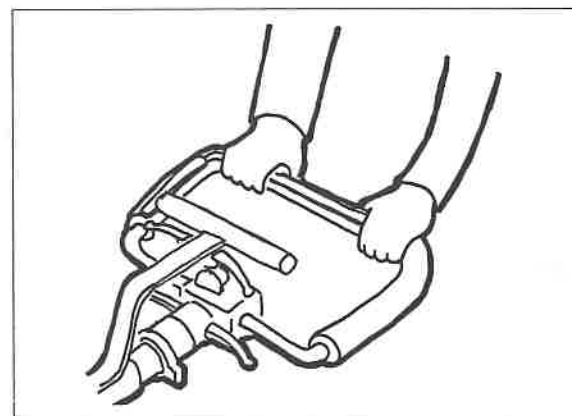
①右旋回レバーを握ると、本機が右に旋回を始めます。



②本機が旋回を始めたら、次の刈位置に合わせて1歩前に出てください。



③本機の旋回限界位置まで回ると旋回がストップします。旋回が終了したら、旋回レバーから手を放し、ループハンドルを両手で持って作業をしてください。



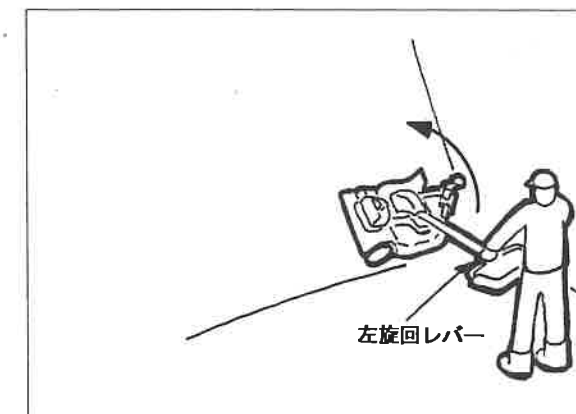
注意 ● 旋回限界位置まで行なってください。旋回途中の位置で止めると操作が困難になり、スムーズな作業ができなくなります。

重要 ● 旋回操作をする際、ターンする側の手で旋回レバーを握ると、楽な姿勢で作業をすることができます。
● ハンドル位置は、下から2段目までで操作すると、楽に旋回できます。

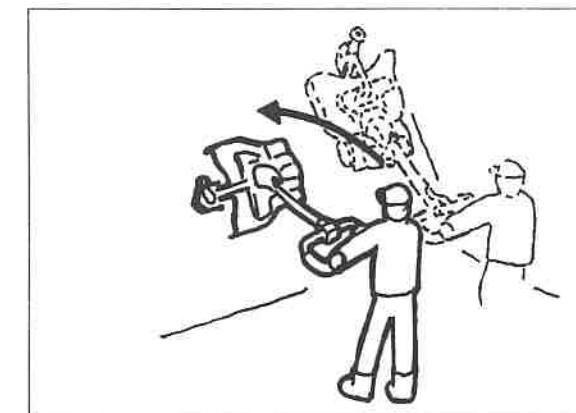


(6)左にターンしたい場合（下からの作業時）

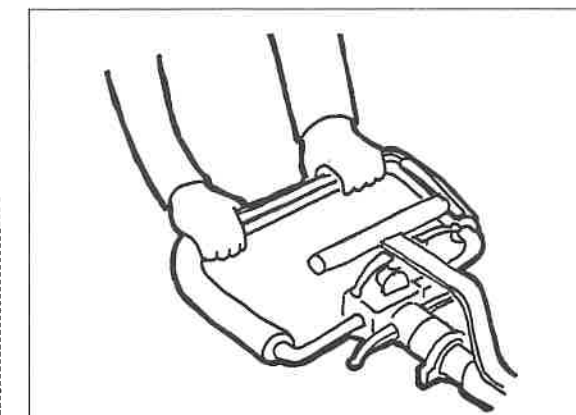
①左旋回レバーを握ると、本機が左に旋回を始めます。



②本機が真上を向いたら左旋回レバーを放し、次の刈位置まで本機を移動させます。移動後、再び左旋回レバーを握り、旋回を再開します。



③本機の旋回限界位置まで回ると旋回がストップします。旋回レバーから手を放し、両手でループハンドルを持ち、作業をしてください。



注意 ● 旋回限界位置まで行なってください。旋回途中の位置で止めると操作が困難になり、スムーズな作業ができなくなります。

重要 ● 旋回操作をする際、ターンする側の手で旋回レバーを握ると、楽な姿勢で作業をすることができます。
● ハンドル位置は、下から2段目までで操作すると、楽に旋回できます。



(7)右にターンしたい場合(下からの作業時)

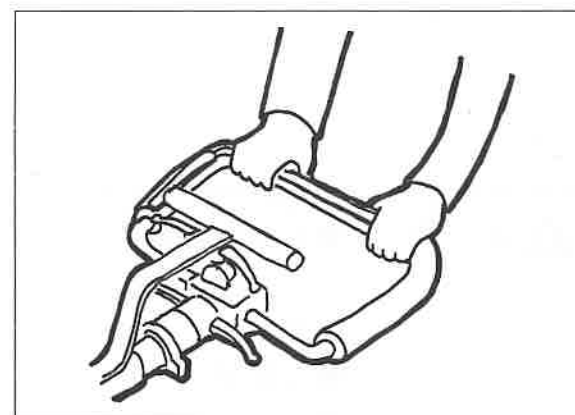
①右旋回レバーを握ると、本機が右に旋回を始めます。



②本機が真上を向いたら右旋回レバーを放し、次の刈位置まで本機を移動させます。移動後、再び右旋回レバーを握り、旋回を再開します。



③本機の旋回限界位置まで回ると旋回がストップします。旋回レバーから手を放し、両手でループハンドルを持ち、作業をしてください。



注意 ● 旋回限界位置まで行なってください。旋回途中の位置で止めると操作が困難になり、スムーズな作業ができなくなります。

重要 ● 旋回操作をする際、ターンする側の手で旋回レバーを握ると、楽な姿勢で作業をすることができます。
● ハンドル位置は、下から2段目までで操作すると、楽に旋回できます。

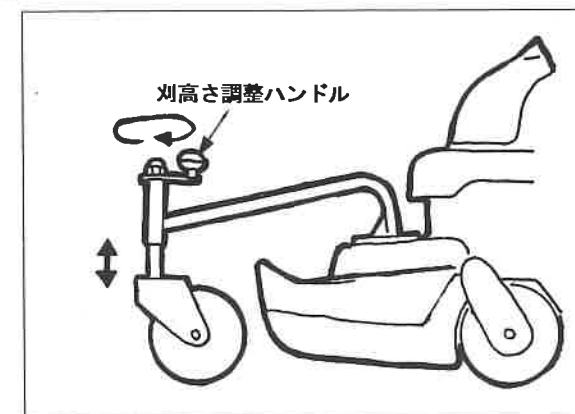


刈高さの変更

<RK507>

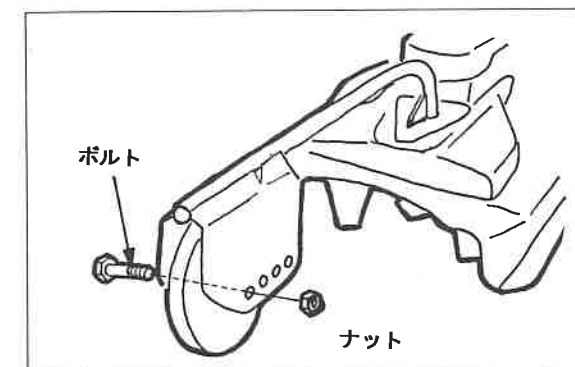
刈高さ調整ハンドルを回すと前車輪が上下し、刈高さが調整できます。

重要 ● 刈高さを最低位置より5mm以上開けて作業を行なってください。前車輪がロックしてスムーズな作業が行えなくなることがあります。

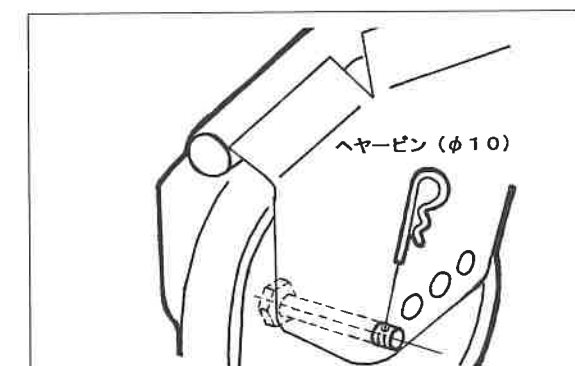


<RK505B>

①前車輪を固定しているボルトを外します。
②刈りたい高さに応じて前車輪の位置を変更します。
③前車輪をボルトとナットでガタの無いように軽く回るくらいで固定します。

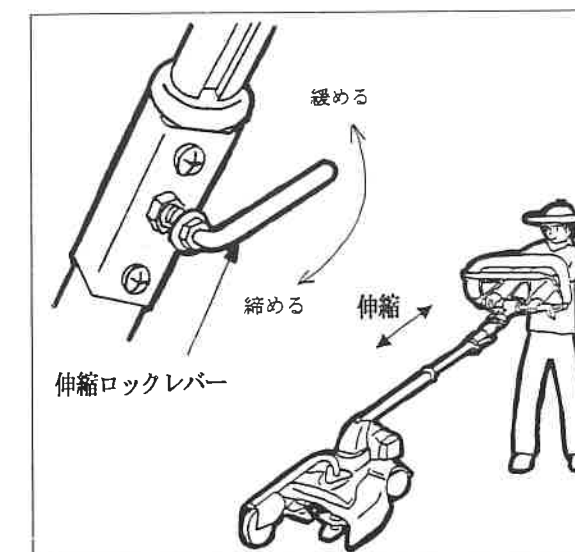


重要 ● 同梱部品のヘアーピンを使うと簡単に刈高さを変えることができます。



ハンドル伸縮のしかた

①伸縮ロックレバーを緩めてください。
②ループハンドルを握り、右図のようにハンドルを伸縮させてください。
③伸縮ロックレバーを締めてください。

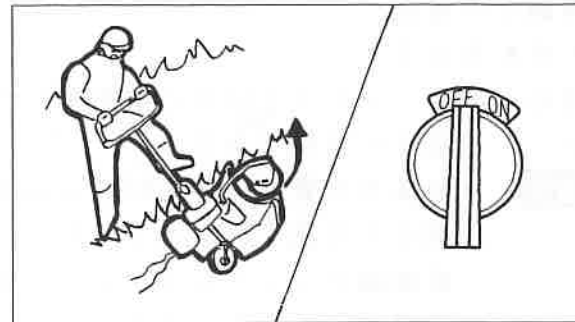


作業終了時の操作

①エンジンの停止

走行させながら機体の安定する平坦な場所へ移動させ、手元のストップスイッチを「OFF」にしてください。

警告 ●作業を終了する時だけでなく、作業の中断等でハンドルから手を離す時は、必ずエンジンを切ってください。
突然動きだす恐れがあり大変危険です。

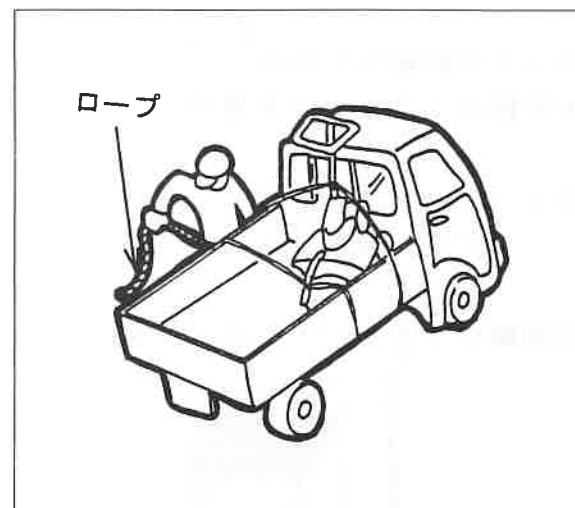


②本機の移動

(1)走行クラッチを握り（切）、押して（または引いて）移動させてください。また凹凸が多い場所（溝・段差等）は右図の箇所を利用し、本機を持ち運んでください。

重要 ●走行クラッチを切る時は、機体を前に押し気味にすると軽く切れます。

注意 ●斜面地で本機を持ち運びすると、足を滑らせ横転する恐れがあります。



(2)トラック等へ積込んで移動する場合は、ロープ等で本機をしっかりと固定してください。

上手な作業のしかた

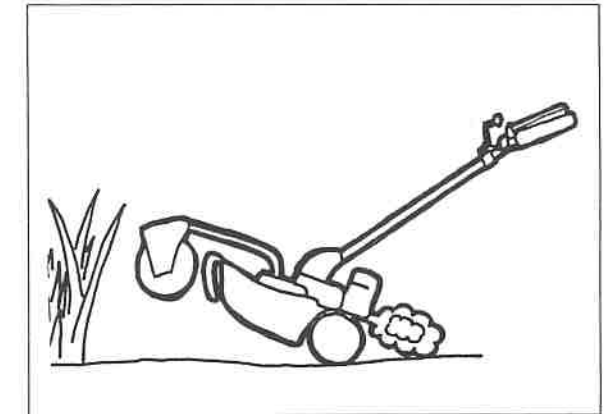
注意 ●扱いに慣れてくると、注意力が散漫になりがちです。安全な作業を行うために、基本作業を心掛けてください。

■走行クラッチとスロットルレバー

①刈り始めは…

重要 ●エンジン回転が十分に上がっていないと、草づまりが発生する場合があります。

(1)走行クラッチレバーを握り（切）、機体先方前方を上げてください。



↓

(2)スロットルレバーを握り、エンジン回転を十分上げてください。



エンジン回転上昇 ↓

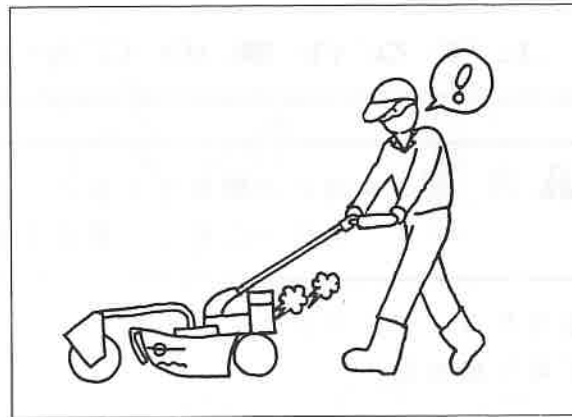
(3)エンジン回転が上がったら走行クラッチレバーを離し（入）、刈り始めてください。



②刈作業中エンジン回転が低下してきた。

重要

- 草の量が多いと、どうしてもエンジン回転が低下しがちです。回転ダウンしたまま作業を続けると、刈刃に草が巻き付くことがあります。



- (1) エンジン回転が低下してきたと感じたら走行クラッチレバーを握り（切）、機体前方を上げエンジン回転を上げてください。

走行 クラ ッチ を 「切」	↓ エ ン ジ ン 回 転 復 帰	↑ 機 体 前 方 を 上 げ る
----------------------------	---	---

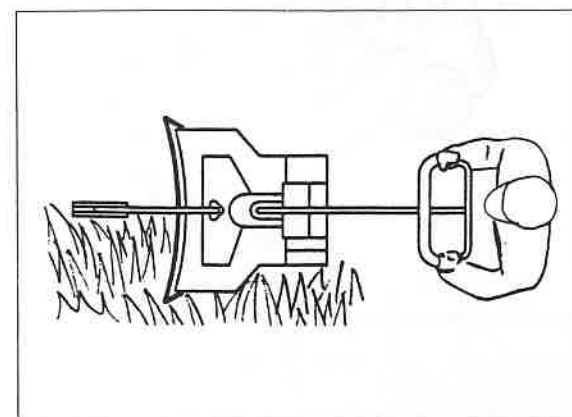


- (2) エンジン回転が復帰後は、走行クラッチレバーを離し（入）、刈り始めてください。



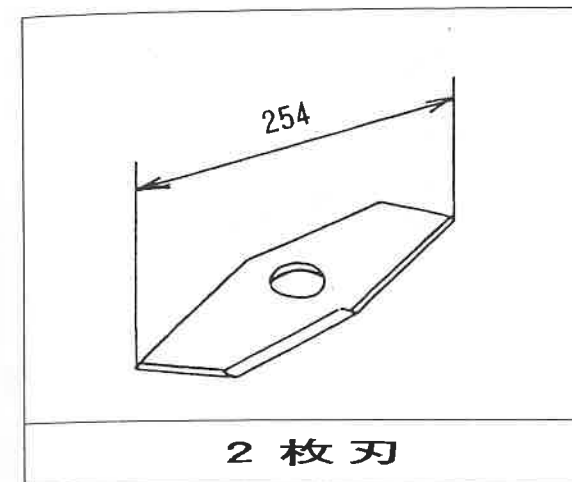
③草づまりが頻繁に発生する。

- 背丈の高い草や、密生している草を刈る場合は、草づまりが発生しやすくなります。
度々草づまりが発生する場合は、刈幅を2/3以下にして刈ってください。



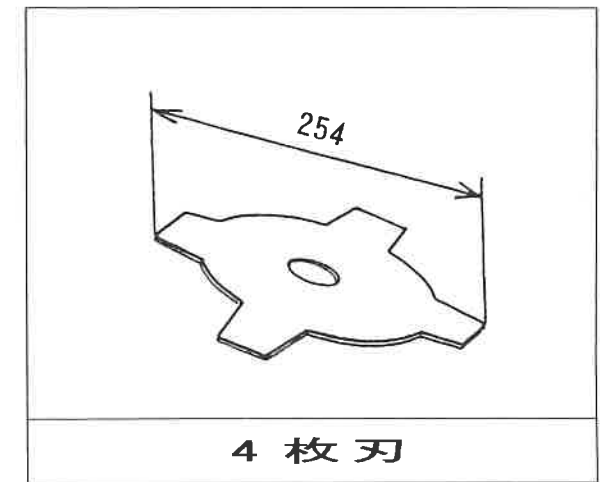
④刈刃について

(1) 使用できる刈刃と特性



● 標準刈刃

- 背高草等の取り込み性が良く、バラバラに切断します。

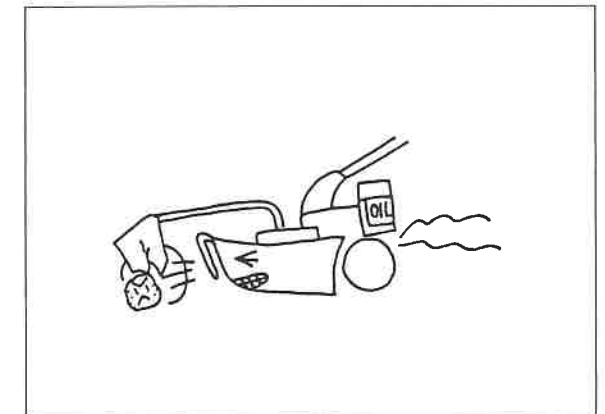


● オプション刈刃

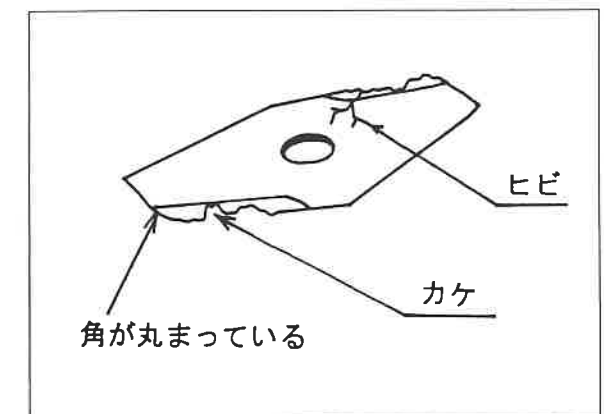
- 秋草や、密生した草を刈るのに最適です。

(2) 刈刃の交換時期

- 刈刃の寿命は、刈り条件により異なります。特に誤って石等に干渉してしまうと、極端に寿命が縮まります。異物に刈刃を干渉させてしまったら、すぐに刈刃の状態を確認し、必要なら交換してください。

**重要**

- 刈部をグラインダ等で研ぐと、ワレやカケが発生しやすくなりますので、メーカー保証できません。
- 刈刃は下側の方が磨耗しやすく、また、この下刃が磨耗すると、刈り残しが発生する原因になります。



(3)刈刃のローテーション

刈作業中、刈り残しや切れ味が悪いと感じたら、以下のように交換してください。(巻付きの原因にもなります。)

○ 1 度目の交換

下刃だけを左右とも裏返してください。

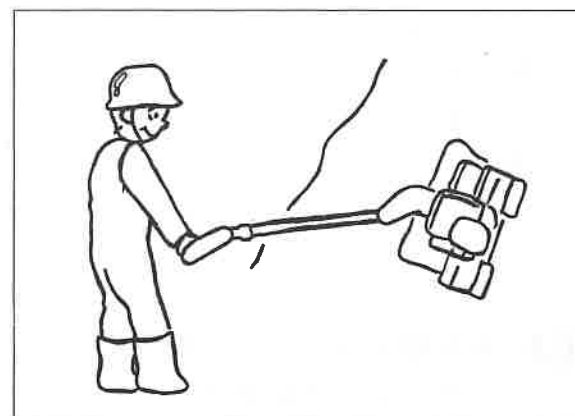
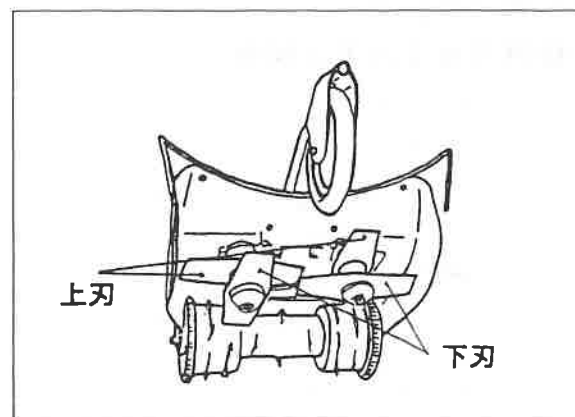
○ 2 度目の交換

上下の刃を左右とも入れ換えてください。

○ 3 度目の交換

下刃だけを左右とも裏返してください。

重要 ● 改造刈刃や、指定サイズ外の刈刃は絶対に使用しないでください。性能が発揮できないばかりか、故障の原因にもなります。



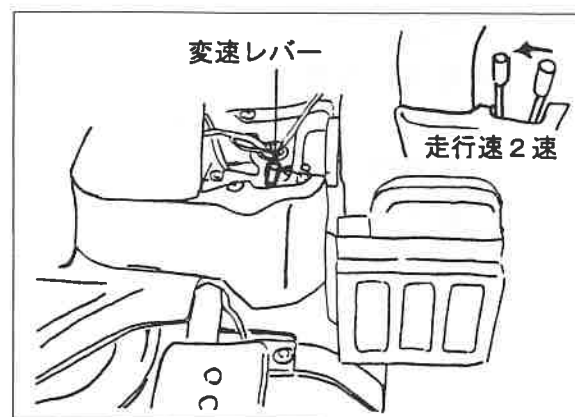
⑤ 変速レバーの使い分け

(1) 走行速 1 速の場合

- 斜面刈りや、足場の悪い場所
- 草が密生している場所
- つる草等の長い草を刈る場合
- 背丈の高い草 (40 ~ 70 cm) を刈る場合

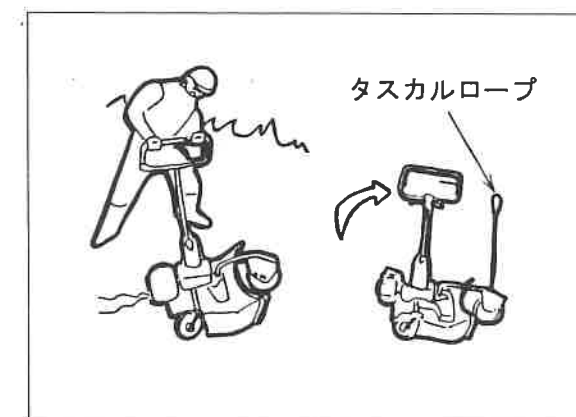
(2) 走行速 2 速の場合

- 平坦地等、安定して歩ける場所
- 草が少量で 40 cm 以下の背丈の場合
- 作業能率を上げたい場合



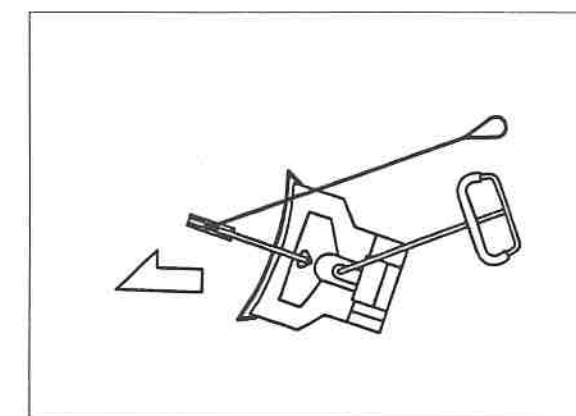
■ タスカルロープの使い方<RK505B>

タスカルロープは、斜面刈り時における機体のふらつきを抑え、また、スムーズに進行方向への操作を行なうためのものです。

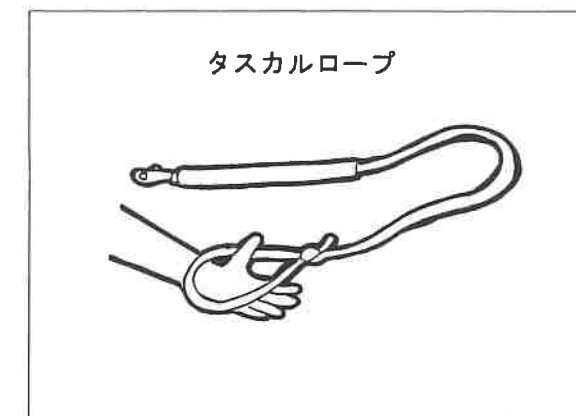


① ゆるやかな斜面 (15° までの斜面) での使い方

(1) ループハンドルの位置を右図のようにしてください。



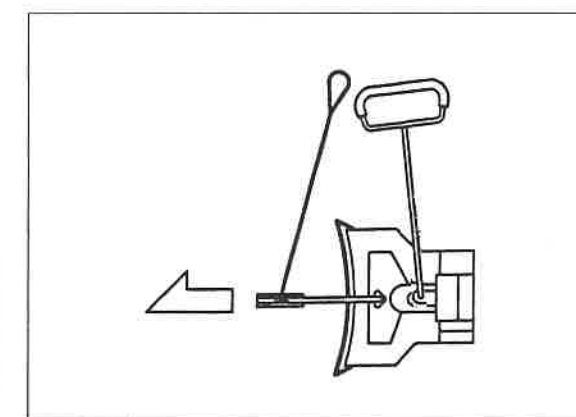
(2) 片手でループハンドル (スロットルレバー) を持ち、片手でタスカルロープを持って操作してください。



② 急斜面 (15° ~ 45°) での使い方

(1) ループハンドルの位置を本機の真横にしてください。

(2) 片手でループハンドル (スロットルレバー) を持ち、片手でタスカルロープを持って操作してください。



警告 ● 急斜面 (15° ~ 45°) へは本機のみを入れ、操作は平坦地から行なってください。

■上手な刈り方

右図のような場所を想定した場合について解説します。

重要 ●ここに記載しております方法だけでなく、様々なパターンがあります。参考にして、安全かつ能率の良い作業を行ってください。

① A面の刈り方

この場合は、真中を刈り、小さくターンして圃場側を刈り、大きくターンしてB面側を刈ります。(C面は逆手順)

警告 ●ハンドル旋回(RK505B)・上下レバーを操作する時は、スロットルレバーから手を離し、刈刃回転を停止させてください。

② D面の刈り方

重要 ●本機の斜面刈り性能は傾斜角45度です。

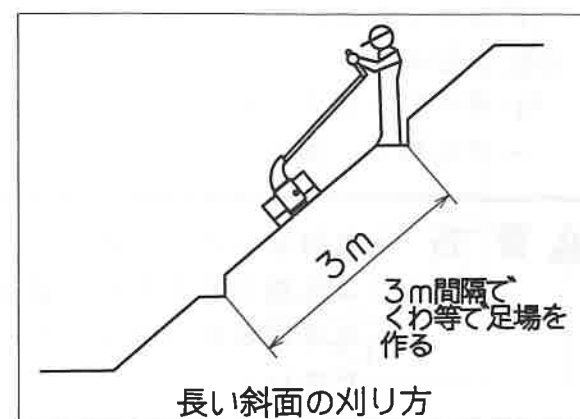
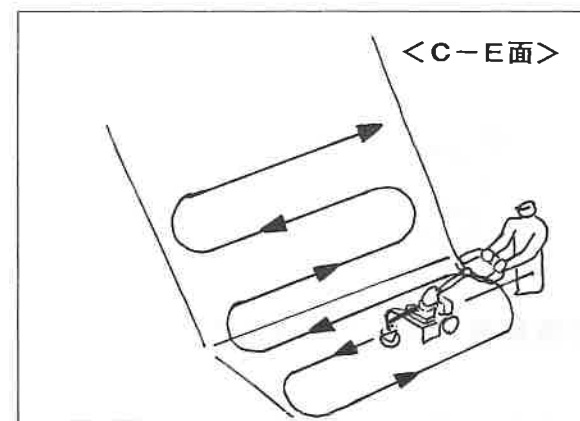
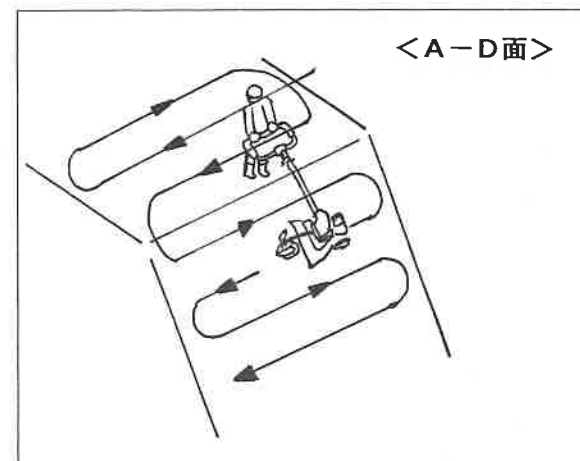
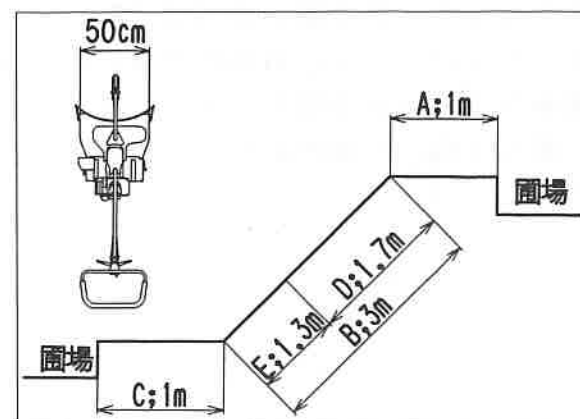
斜面幅は最大で上から1.7m、下から1.7m(ただし作業者の身長によります)となっています。

B面は斜面幅3mなので、A面を刈った後、連続して刈っていくとD面が刈れます。幅1.7m刈れますので4回に分けて刈るときれいに刈れます。

③ E面の刈り方

C面を刈った後、連続して刈っていくとE面が刈れます。幅は1.3mありますので3回に分けて刈るときれいに刈れます。

重要 ●ループハンドルの位置は刈り場面により異なります。そのつど、上下・旋回レバーにてループハンドルの位置を調整してください。



■刈り残しをなくするために

ここでは、背丈の高い草(40~70cm以上)が密生している平地を参考に解説します。

重要 ●背丈の高い草や密生している場所は、草づまりが発生しやすく無理に刈ろうとするとエンジンが焼損するばかりか、草づまりや草の巻付き等で作業能率を劣下させてしまいます。

①走行速は1速にしてください。

②本機の刈幅に対して、約2/3(約30cm)ずつ刈ってください。

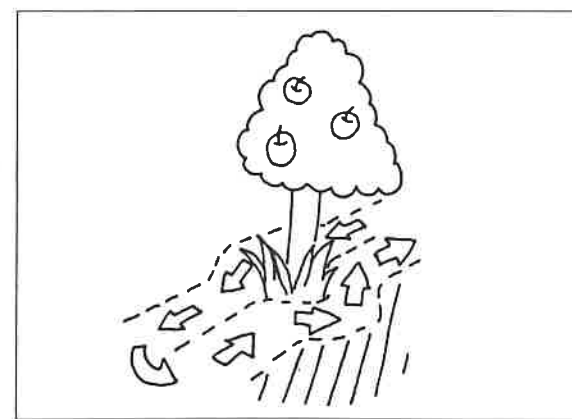
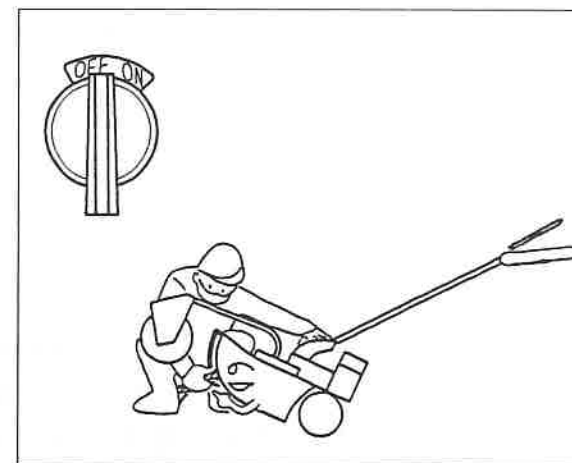
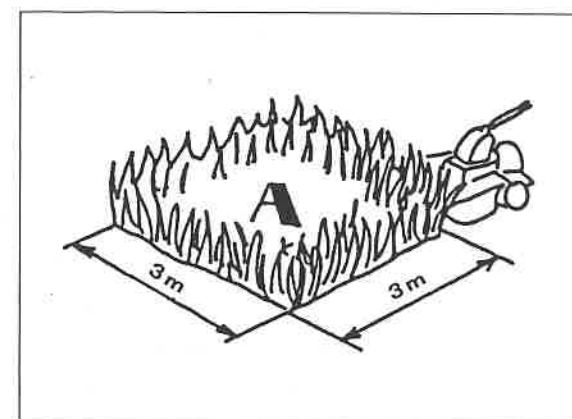
重要 ●エンジンの回転数が低くなったと感じたら、機体前方を上げ、エンジン音が一定になってから再度刈り始めてください。

③A面は3mありますから、約10回(300÷30)に分けて刈るときれいに刈れます。

警告 ●草づまりが発生したら、速やかにエンジンを停止させ草を取り除いてください。エンジンを始動させたまま行なうと、刈刃が突然回転する恐れがあり大変危険です。

④障害物(木や大きな石等)の周囲は、後で刈り取ってください。

注意 ●無理に刈ろうとすると、機体の破損を招くばかりか、ケガをする恐れがあります。



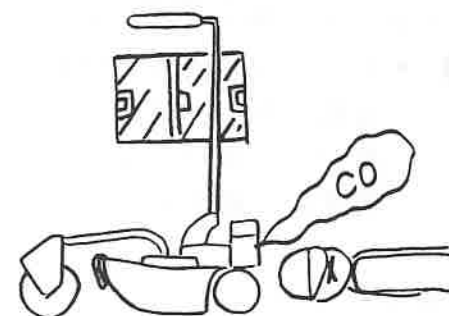
安全作業

作業の安全確保

▲ 警告 ●ここに書いております内容は、お客様の安全を確保するに当たって必ず実施して頂きたい内容です。この安全確認を怠ると、傷害事故を引き起こす恐れがあります。また、この時のトラブル等につきましては、メーカー保証できませんので、よく熟読されご理解して頂けますようお願い致します。

①換気の悪い場所でエンジンを始動させないでください。

▲ 警告 ●室内等でエンジンを始動させると、排気ガス中毒になる恐れがあり大変危険です。十分な換気を心掛けてください。



排気ガス中毒

②エンジンを始動させる時は、周囲の安全を十分に確認してください。（特に子供）

▲ 注意 ●エンジンを始動させる時は合図をし機体正面に人がいる時は、エンジンを始動させないでください。傷害事故を引き起こす恐れがあります。

安全第一



安全作業

③カバー類を外してエンジンを始動させないでください。

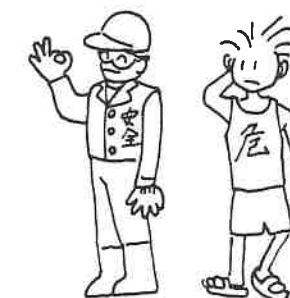
▲ 警告 ●カバーを外すと、回転部が露出し、大変危険です。エンジンを始動させる前に、カバーが正しい位置に組付けてあることを確認してください。

カバーの組み忘れに注意



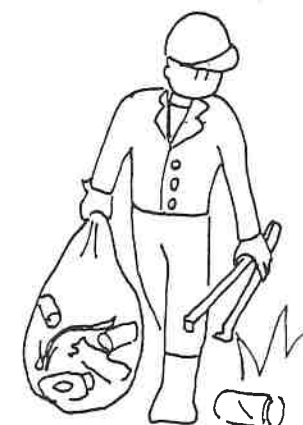
④作業着（長そで、長ズボン）・作業帽・安全ぐつ・保護メガネ・軍手を必ず着用してください。

▲ 注意 ●作業中の飛散物・害虫等から身体を保護するために、適切な服装を心掛けてください。



⑤作業を始める前に、作業場所の石や空き缶、木切れ等の全ての異物を取り除いてください。

▲ 警告 ●飛散物や衝突事故を防ぐ為に作業場所をよく点検してください。刈刃が石等に干渉すると刈性能が劣化するばかりか、飛散した石等が衝突し傷害事故を引き起こします。



⑥作業場所にある、測量用の杭や溝等のある場所を熟知しておきましょう。

- ▲ 注意** ●特に取り除くことができない障害物がある所は、事前に確認しておきましょう。確認不足は機体を破損させるだけでなく、傷害事故を引き起こします。



⑦傾斜角 45° 以上の傾斜地は刈れません。

- 重要** ●本機の傾斜地刈り性能は、傾斜角 45° までです。

- ▲ 警告** ●本機の刈り性能の限界を超える場所での使用は、破損を招くばかりか、横転等の恐れがあり大変危険です。



⑧十分な照明の下で作業を行ってください。

- ▲ 注意** ●夕暮時等特に視界を確保しにくい時に作業をしますと、転倒や衝突事故を引き起こします。原則として、本機の周囲 10 m がはっきり見える時に作業を行ってください。



⑨作業中は周囲の安全確認をしてください。

- ▲ 注意** ●人や動物等が近付いてきたら、ただちに作業を中止し危険を知らせてください。
●わき見運転は傷害事故の原因となります。絶対にしないでください。



⑩本機の異常を感じたら、ただちに作業を中止し点検を行ってください。

- ▲ 警告** ●点検・整備をする時は、必ずエンジンを停止させてください。
●異常箇所を発見したら、すぐに整備するか販売店へ連絡してください。



⑪燃料補給時、作業時は火気厳禁

- ▲ 警告** ●燃料補給時のくわえタバコ等は絶対にしないでください。引火して火災また爆発事故を引き起こします。
●燃料補給後は、必ず燃料キャップを確実に締めてください。火災の原因となります。
●燃えているゴミの周辺等の火気近辺で作業を行わないでください。本機へ引火する恐れがあり大変危険です。



⑫機械の改造や指定以外のアタッチメントの使用禁止

- (1)指定された刈刃または、同等品を使用してください。
- (2)燃料は、1 / 5 0 混合ガソリンを使用してください。
(1 / 2 5 でも使用可能です。)

警告 ●不正な使用の方法は、故障・事故を招く恐れがあります。

●指定外の燃料を使用しますと、エンジンが焼損し火災の原因となり大変危険です。

⑬刈作業時以外は、エンジンを停止させてください。

警告 ●移動時、点検・整備等、特に草を刈る必要のない時は、エンジンを停止させてください。勝手に、動きだす恐れがあり大変危険です。

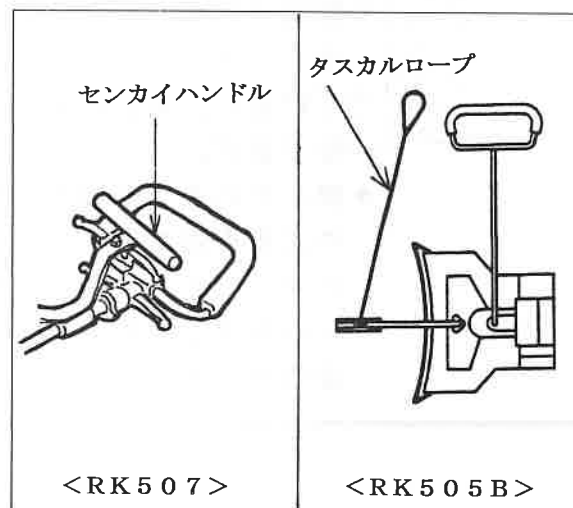
●本機を持ち上げる時は、エンジンを停止させてください。

⑭ループハンドル、タスカルロープ(RK505B)、センカイハンドル(RK507)以外を持って操作しないでください。

注意 ●指定以外のところを持って操作すると、誤操作の原因となり大変危険です。



エンジン停止



⑮点検・整備は、平坦で安定した場所で行なってください。

注意 ●交通の危険がなく、本機が安定して置ける場所で点検・整備してください。



⑯エンジンの点検・整備は、完全に冷えてから行なってください。

注意 ●エンジンカバー内部は高温になっていますので、火傷をする恐れがあります。

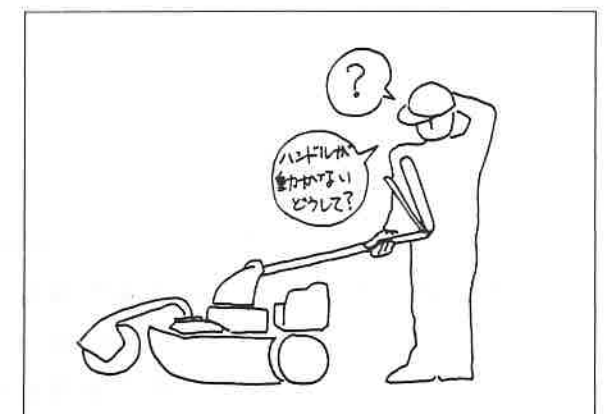


⑰本機の格納は、納屋等の屋内、またはシート等をかけて保管してください。また、本機を十分に掃除し完全に冷えてから格納してください。

警告 ●本機（特にエンジン）が冷えてから、各部の清掃を行ない格納してください。そのまま格納すると火災事故を引き起こす恐れがあります。



重要 ●雨・風が当たる場所に保管すると錆等が発生し、次回使用時に作動系が重くなり、本機の性能が発揮できないことがあります。

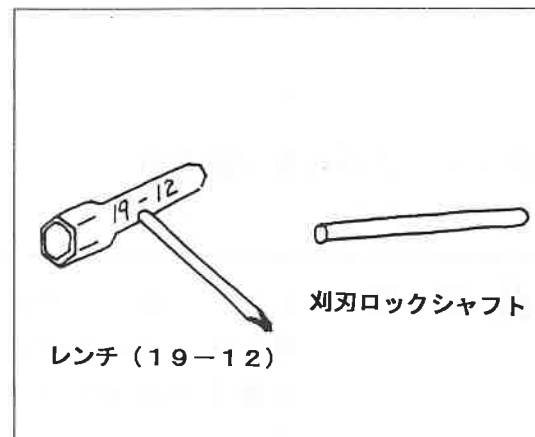


付属工具の使い方

- ⚠ 警告**
- 点検整備の際は、必ずエンジン停止させること。
 - 点検整備の際は、適正な工具（付属工具）を使用し、必ず軍手を着用すること。

■付属工具の紹介

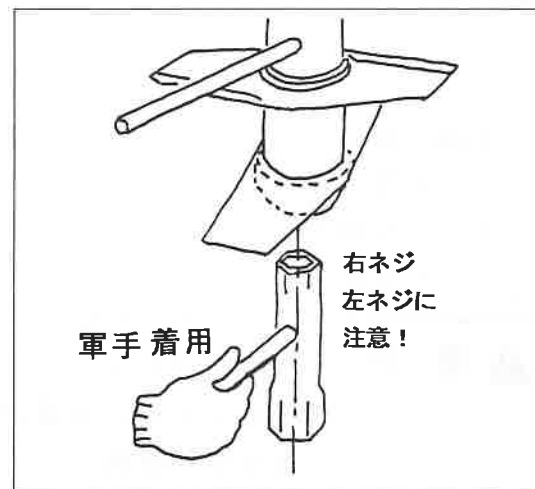
- ・刈刃ロックシャフト
刈刃シャフトの穴に差し込み刈刃シャフトを固定させます。
（片手でしっかり持ちます。）
- ・レンチ（19-12）
対辺19の点火プラグ用、対辺12は、刈刃締付ボルト用として使用します。



■刈刃の交換

- ①刈刃ロックシャフトを刈刃シャフトの穴に差し込み、しっかり固定させた状態でレンチ（19-12）の対辺12にて刈刃締付ボルトを緩めてください。
- ②刈刃交換後は確実にボルトを締めてください。

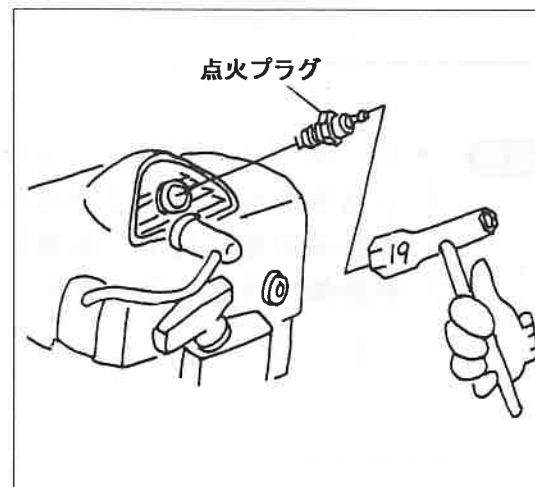
- ⚠ 注意**
- 刈刃交換の際は、必ず軍手を着用してください。刈刃で手を切る恐れがあります。



■点火プラグの交換

- ①プラグキャップを外します。
- ②レンチ（19-12）の対辺19にて点火プラグを外します。
（左に回すと外れます。）

- ⚠ 注意**
- エンジンの点検整備は、完全に冷えてから行なってください。火傷する恐れがあります。



日常の点検と整備

労働安全のため、また本機の性能維持のために、作業前・作業後には必ず点検・整備を心掛けてください。

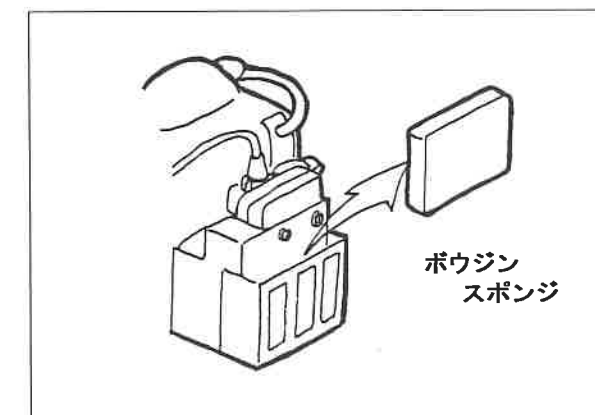
- ⚠ 警告**
- 点検・整備は必ず行なってください。
 - 点検・整備の際は、必ずエンジンを停止させてください。
 - カバー等外した部品を紛失しないよう注意してください。
 - カバーを外してエンジンを始動させないでください。
 - エンジンの暖気運転は、換気の良い場所で行なってください。
 - 点検・整備で取り外したカバーや部品類は、必ず元の通り確実に組付けてください。

各部の点検・整備

■ボウジンカバーの掃除

右図のように、スポンジを取り出し、きれいに掃除してください。

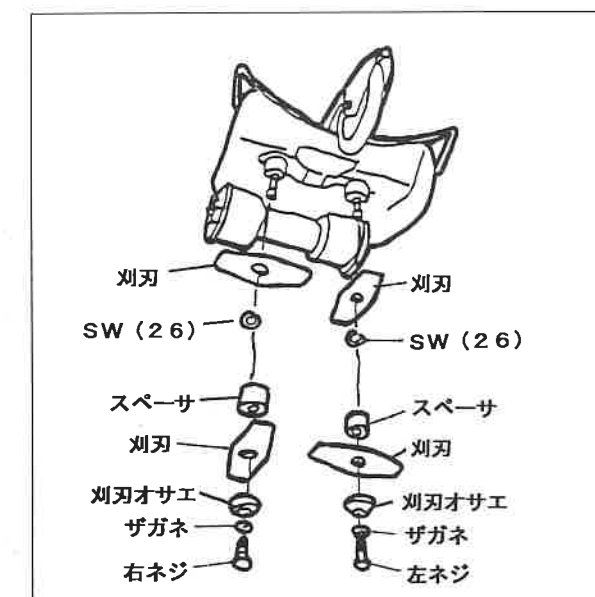
- 重要**
- このスポンジは、作業中のほこり等がエンジンの吸気口に侵入するのを防ぐ働きがあります。ここが汚れてしまうと、エンジンが吸気できず焼損する恐れがあります。作業中は約1時間おきに掃除を行なってください。



■刈刃

交換方法はP. 64を参照にしてください。また、刈刃の交換時期についてはP. 41を参照してください。

- 重要**
- 刈刃の組付方向は、右図が基本ですので点検・整備の際は確認してください。ただし、作業中に障害物等に干渉して方向が変化することがありますが、性能にはほとんど影響ありません。



※刈刃の組付け方向に注意

■カバー類・本体の掃除

カバー類を外し洗浄してください。

また、ベルト部等に侵入した草・土をきれいに掃除してください。

重要 ●トメネジの紛失に注意してください。

注意 ●カバーをきれいに洗浄し貼付けてある注意マークが常に見えるようにしてください。

■各部ネジ等のゆるみ、紛失

各部のトメネジにゆるみ・紛失等がないか点検してください。

■各回動部、回転部への注油

右図のような箇所へ、スプレーグリス等で注油してください。

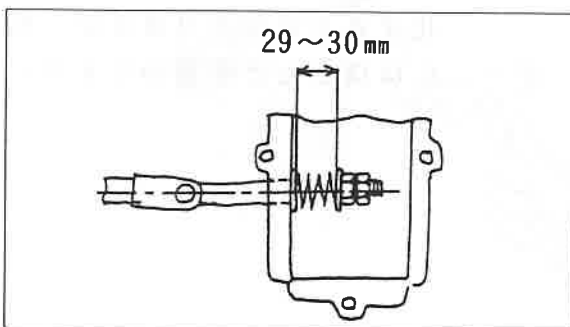
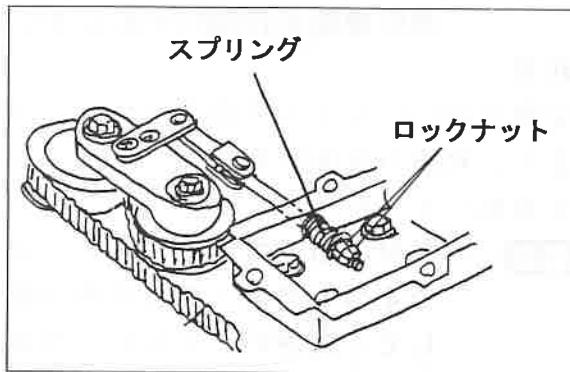
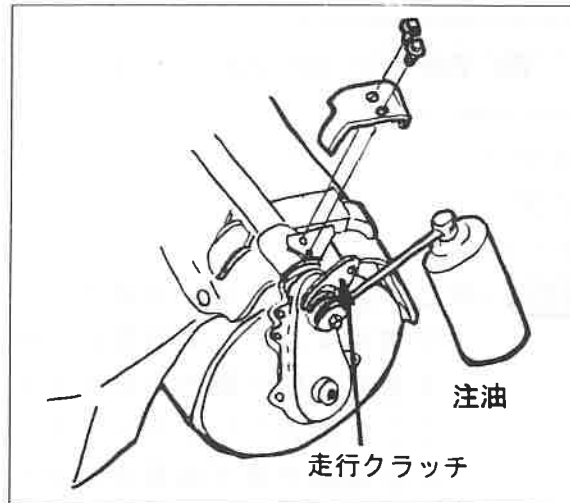
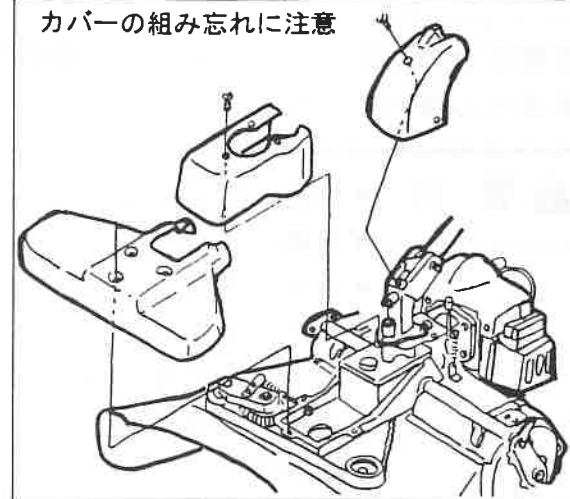
重要 ●回動部の油切れは、直接本機の実作性能に影響を与えます。定期的に注油してください。
特にクラッチ部分は念入りに注油してください。

■刈刃ベルトの調整

フロントホイールとベルトカバーを外し、右図のスプリングセットの長さが29～30mmになっているか点検してください。調整が必要な場合は、ロックナットをゆるめ調整してください。調整後は、ロックナットを確実に締めてください。

重要 ●調整は必ず29～30mmの範囲内で行なってください。ベルト切れの原因になります。
●点検・調整は20時間使用毎に行なってください。調整しないで使用を続けると、ベルトの寿命が短くなります。

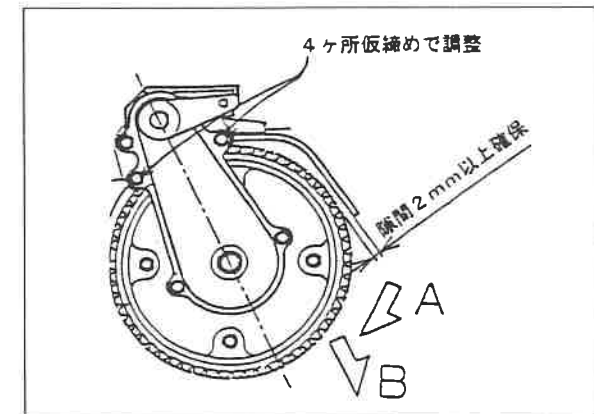
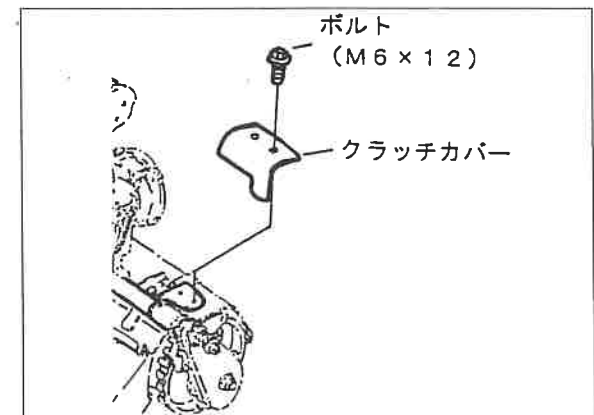
カバーの組み忘れに注意



■走行チェーンの調整

- (1) クラッチカバーを外します。
- (2) チェンケース取付ボルト（上側4カ所）を仮締めにします。
- (3) A、B方向にプラスチックハンマ等で軽く叩きながらズラして調整します。

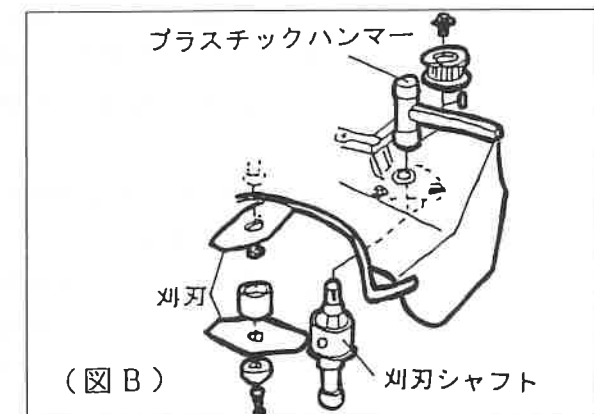
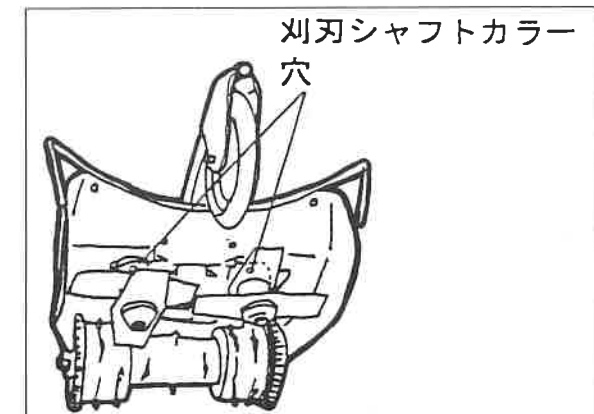
重要 ●チェーンが走行負荷等で伸びてくると、たるみが発生しチェーン切れの原因になります。
●車輪に草が巻き付いたまま使用を続けると、チェーンの伸び（たるみ）が発生しやすくなります。まめに取り除くように心掛けましょう。



■刈刃シャフト点検・整備

- (1) 本機を図のような姿勢で置き刈刃シャフトが軽く回転するか確認します。重い場合は(2)～(4)の手順に従ってください。
- (2) 刈刃シャフトカラー部の穴から見て内部に草等が侵入していないか確認します。
- (3) 侵入している場合、フロントホイールとベルトカバーを外し右図の要領で刈刃シャフトを抜き取り、カラー内部の草等を取り除きます。
- (4) 逆手順にて組付けます。

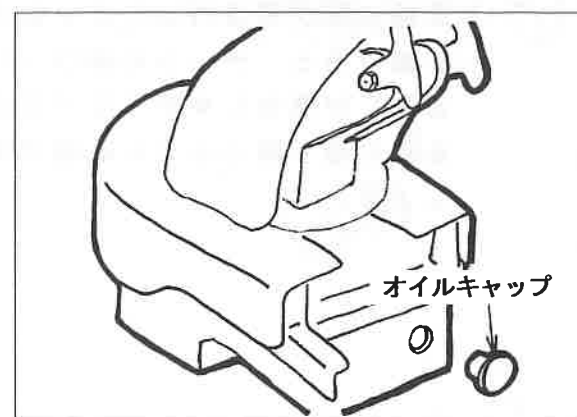
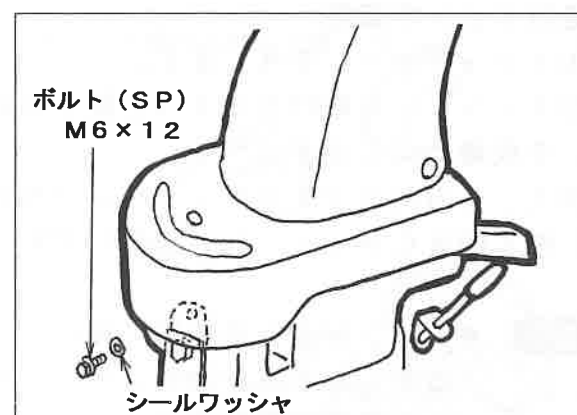
重要 ●刈刃シャフト内部に草等が侵入してくると、シャフトの回転が重くなり出力ダウンの原因になります。



■ギヤボックスのオイル点検

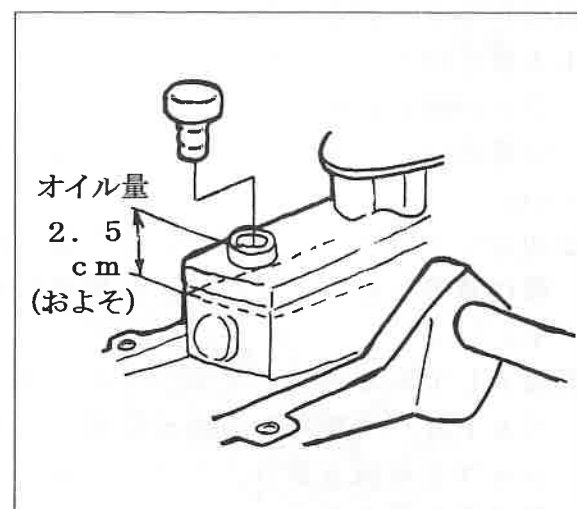
<RK507>

- ①刈高さ調整ハンドルを使い刈高さを最低位置に変更します。
- ②G. BOX後部のキャップを外します。
- ③G. BOX前部の上側のボルト(M6)を外します。
ネジ穴からオイルが出てくれば、オイル量は充分です。
- ④必要なら後部給油口より注ぎ足してください。(ウォームギヤオイル#220)



<RK505B>

- ①赤色の樹脂カバーを外します。
- ②ギヤボックスの黒色のキャップを外します。
- ③内部のオイル量をチェックしてください。
(キャップ取付面から、およそ2.5 cm まで入っていますか。)
- ④必要なら注ぎ足してください。
(ウォームギヤオイル#220)



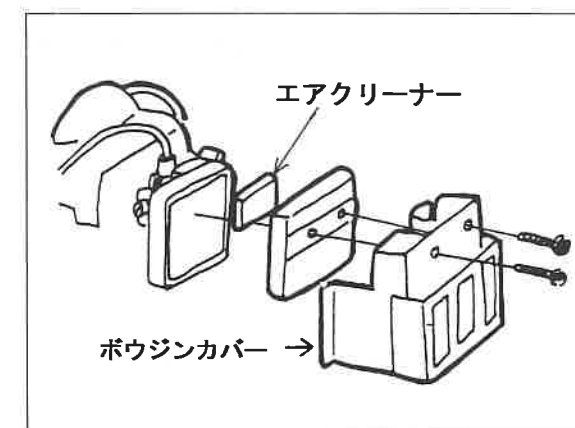
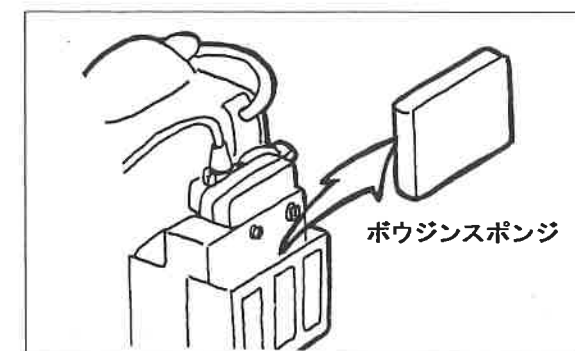
重要 ●オイルが極端に減っている場合はオイル漏れの恐れがあります。最寄りの販売店へご相談ください。

注意 ●オイル交換時は、エンジンを停止させてください。
●オイル交換による廃油を下水や土壌に捨てたり、焼却すると、環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。販売会社、サービス工場にご相談ください。

■エンジンの調整

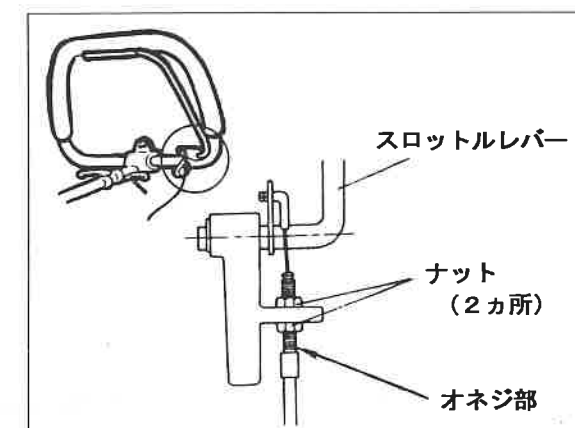
重要

- エンジン回転は、最高回転が無負荷で7200~7800rpm 内になるよう調整してください。回転計がない場合は最寄りの販売店、サービス店にご相談ください。
- エンジンの調整を行なう前に必ずエアクリーナ、ボウジンカバーの掃除を行なってください。吸気が悪いとエンジン出力ダウンの原因となります。
- このエンジンは、最高回転数が7500±300rpmまでしか上がらない様な電子ガバナが装備されています。最高回転域ではボソボソ音がしますが、刈性能には影響ありません。



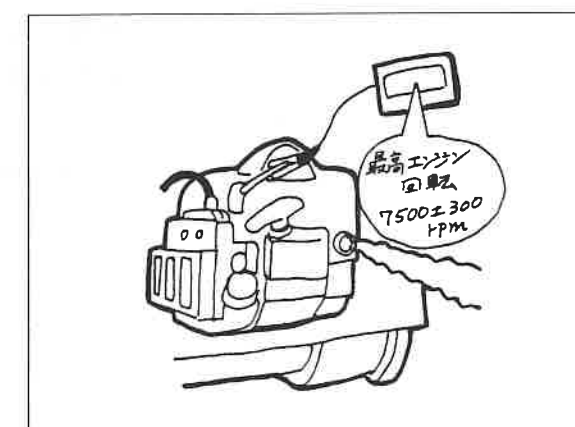
①スロットル調整のしかた

- (1)エンジンのプラグキャップに回転計をセットします。
- (2)エンジンを始動させ約3分間ならし運転を行ないます。
- (3)スロットルレバーを握り、この時の回転数を調べます。
回転数が低い場合は、(4)以下の指示に従ってください。
- (4)スロットル調整は、右図の箇所で行ないます。
- (5)ナット(2箇所)を緩め、オネジ部を上に移動させると回転が落ち、下に移動させると回転が上がります。
- (6)調整後は、ナットを確実に締めます。
- (7)再度(1)~(3)の確認を行ないます。



重要

- 回転調整を行なったにも関わらず回転が上がらない場合は、P58を参照し、エアクリーナの掃除を行なってください。
エアクリーナにゴミが溜まると吸気できずエンジン出力が低下します。



■エンジンの調整（前ページの続き）

②アイドリング調整のしかた

- (1) 1分間以上フルスロットルで運転した後、調整を行ないます。
- (2) 右図の箇所で調整を行ないます。アイドリング回転数を2800～3000rpmに調整してください。

重要 ●チョーク操作を行なっても、エンジンが停止してしまう場合や、始動させた途端に刈刃が回ってしまう場合は調整が必要です。

■エアクリーナの掃除

ボウジンカバーを外し、内部のエアクリーナを取り出してください。

1/50混合ガソリンで、よく洗浄し固く絞って元の位置に戻してください。

重要 ●エアクリーナは、ボウジンカバーで防ぎきれない細かいほこり等を防ぐ働きがあります。掃除を怠ると、エンジンが焼損する恐れがあり、火災の原因になります。

■エンジンの掃除

①各部カバーを外してください。

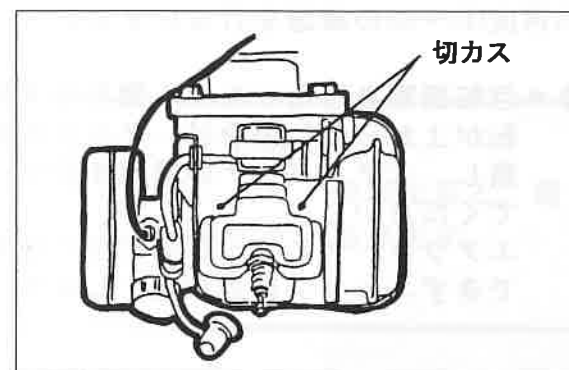
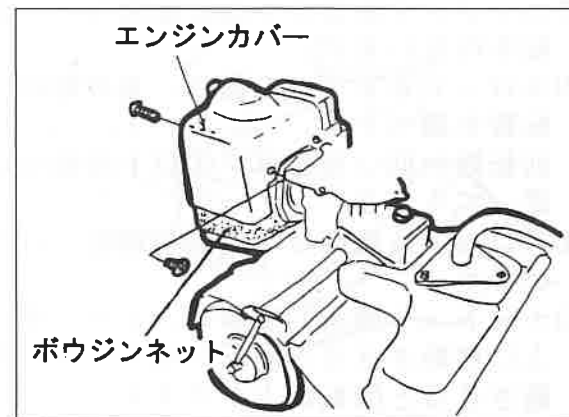
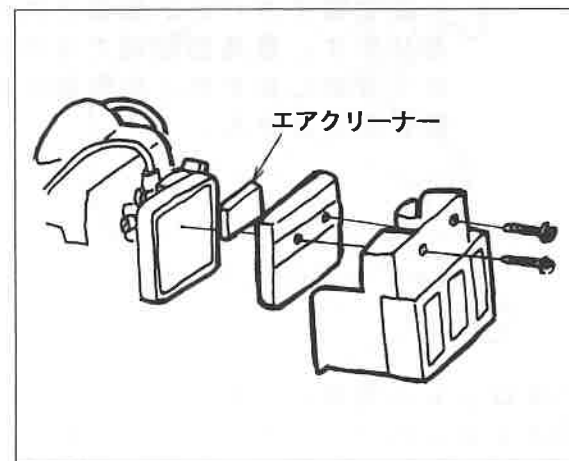
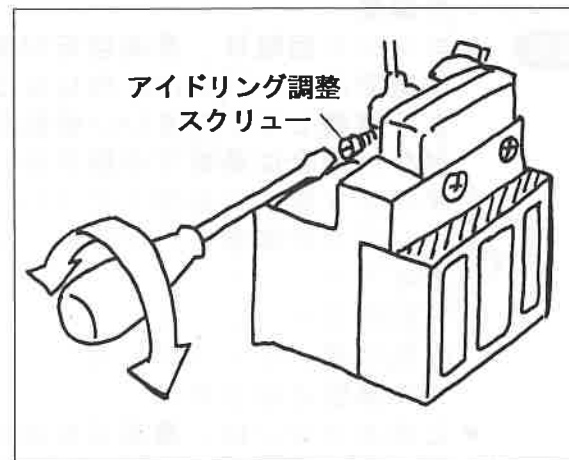
②エンジンカバー（トメネジ3カ所）を外し、内部（エンジンヘッド付近）に溜まった切カスを取り除いてください。

注意 ●エンジンカバー内部は高温になっていますので、エンジンの点検整備は完全に冷えてから行なってください。

③掃除が終わったら、元のとおりカバーを組付けてください。特に、エンジンカバーの組付けは、ボウジンネットの上側にくるように注意してください。

■ボウジンネットの掃除

エンジン周辺のボウジンネットに付着したゴミ、ほこりを取り除いてください。



点検時期

■定期点検一覧表

項目	規定量	内容	定期点検
G. BOXオイル量	P. 5 6 参照	ウォームヤ-油 #220 (#120オイル使用可能)	2 5 時間毎
G. BOXオイル交換	0.3ℓ<RK505B> 0.9ℓ<RK507>	ウォームヤ-油 #220 (#120オイル使用可能)	1 0 0 時間毎
刈刃ベルト点検調整 (STSベルト)	テンションプリングの セット時の全長が 29～30mmで あること	P. 5 4 参照	2 0 時間毎、または 作業中ベルトが跳ぶ音 「バラバラ」が頻繁に する時
ボウジンカバー ボウジンネット	著しいほこり等 による汚れを取 除く	P. 5 3、5 8 参照	2 0 時間毎（秋草の 場合1 0 時間毎）
エンジンの掃除	↑	P. 5 8 参照	2 0 時間毎（秋草の 場合1 0 時間毎）
エアクリーナーの掃除	↑	P. 5 8 参照	2 0 時間毎（秋草の 場合1 0 時間毎）
走行チェンの点検調整	チェンケースの取付穴 のガタ分だけ張 調整を行なうこ と	P. 5 5 参照	2 0 時間毎（秋草の 場合1 0 時間毎）
カリバックスルの点検 (刈刃シャフト部のフレーム)	—	—	誤って石や杭等を刈 ってしまった時
刈刃シャフト	—	P. 5 5 参照	3 0 時間毎（秋草の 場合1 0 時間毎）
各部カバーの取付け	—	P. 5 4 参照	作業前
各部のトメネジ	—	P. 5 4 参照	作業前
エンジンの回転調整	—	P. 5 7、5 8 参照	作業前
スライドシャフト溝部への注油	—	溝全体に薄く 塗布する	3 0 時間毎

重要 ●定期点検時期は必ずお守りください。不明の点がございましたら、最寄りの販売店・サービス店にご相談ください。

注文部品の紹介

消耗部品及び主な補修部品リスト

重要

- ここに上げております内容は、本斜面草刈機をご使用するに当たって、特に注意して頂きたいことを記しております。また、守らなかった場合は、本機の寿命に影響するばかりか、メーカー保証できませんのでご了承ください。
- 消耗部品の交換時期は、使用条件によって異なります。本リストの交換の目安を参考に、定期的に点検しましょう。
- 草以外（木、石、空缶、杭等の異物）を刈ると破損します。作業前には作業範囲内の全ての異物を取り除いてください。また、取り除くことのできない障害物はあらかじめ確認し十分注意して作業を行なってください。




■消耗部品リスト

あなたの購入された年月日を記入してください。
 年 月 日

形 状	品 名 / 部 品 コード	交 換 の 目 安	内 容
	バーナイフ(255) / 0611-720-011-0B	作業条件による	石や杭を刈ると極端に寿命が短くなります。
	カリバウケ / 0612-720-017-2B	60時間	刈刃締付ボルトの六角部が見えてきた頃が交換時期です。
	コガタボルト / V201-360-802-5 ○ 右側刈刃締付ボルト	60時間	ボルトの六角部が丸くなってきた頃が交換時期です。
	ボルト (M8×25) / 0612-720-016-0 ○ 左側刈刃締付ボルト	60時間	ボルトの六角部が丸くなってきた頃が交換時期です。
	SW (26) / 0612-720-019-0 (ウイットネジ 1インチ用 SW)	60時間	バーナイフの締付力が低下してきた頃が交換時期です。

注文部品の紹介

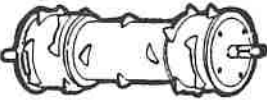

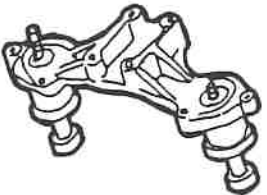
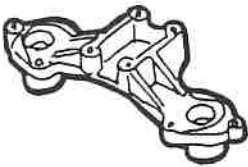

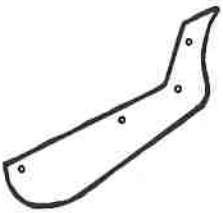
■消耗部品リスト (前ページのつづき)

形 状	品 名 / 部 品 コード	交 換 の 目 安	内 容
	STS ベルト(120DS8M1000) 0612-710-017-0	60時間	20時間毎に張り調整した場合の耐久時間です。 P 54 参照
	ラゲベルト(206)COMP / 0612-434-240-0A ○ 後車輪両サイドのベルト	50時間	ゴム製品ですので駆動時に引きずると伸びます。
	チェーン(25-70リンク)H / 0612-413-012-0A	60~80時間	20時間毎に張り調整 P 55 参照
	ボウジンスポンジ / 0612-850-011-1A	60~80時間	作業前に必ず掃除すること。必要なら水洗いをし固く絞ってセットしてください。
	ボウジンスポンジ H / 0612-850-022-1B	60~80時間	作業前に必ず掃除すること。
	TH48 エンシンクラッチ (ショウケツ) 0612-111-011-0	作業条件による	刈刃回転不能時に(草巻付等)無理にスタートレバーを握って回そうとすると交換時期が早くなります。

重要


- 消耗部品の交換時期は、作業条件により異なります。定期的に点検を行ない、必要ならば交換してください。

■主な補修部品リスト

形 状	品 名 / 部 品 コード	交 換 の 目 安
	RK505B スパイクタイヤ(B)COMP/ 0612-434-220-0A RK507 スパイクタイヤ(F)ASSY/ 0612-433-200-0	スパイクの変形や欠如、及び タイヤ本体のへこみ等の変形が 著しい場合は交換が必要。
	チェーンケース(B/L)/ 0612-413-011-0	走行クラッチワイヤを調整し、 切り操作をしても車輪がフリー にならない時に点検し、必要な らば交換。
	カリバアクスルASSY/ 0612-010-006-1B	石、杭等を刈ると破損します。
	カリバアクスル/ 0612-710-011-5G	石、杭等を刈ると破損します。
	カリバカバー(B)COMP/ 0612-732-200-0	カバーのワレや著しい変形が 見られる場合交換。
	ヒサンボウシゴム/ 0612-732-011-0	ゴムの欠損や著しい磨耗(刈刃 からの飛散物が防げない状態) が見られたら交換。

重要 ● 補修部品の交換時期は、作業条件により異なります。
定期的に点検を行ない、必要ならば交換してください。

オプション部品の紹介

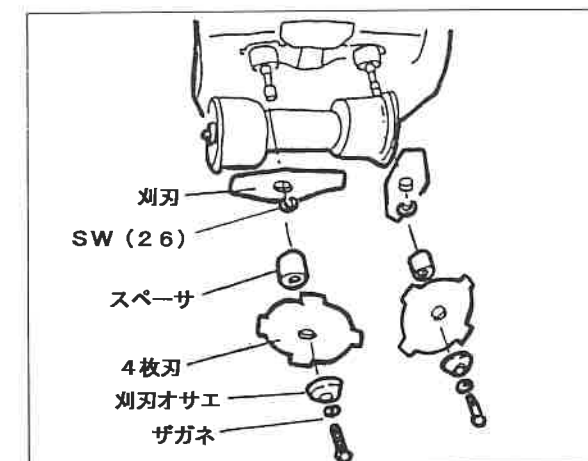
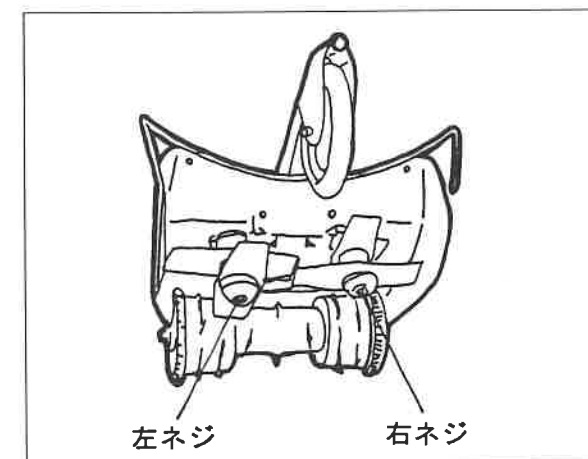
形 状	品 名 / 部 品 コード	交 換 の 目 安	内 容
	ヨンマイバ/ 0612-750-011-0	作業条件による	秋草や密生した草 を刈るのに最適で す。刈刃シャフト の下段にセットし て使用します。

■ 4枚刃の取付方法

- (1)本機を右図のような姿勢に置いてください。
- (2)付属工具のカリバロックシャフトを刈刃シャフトのカラー部の穴に差込み固定しレンチ(19-12)の対辺12側にて刈刃締付けボルトを外してください。
- (3)4枚刃を下刃に組付け逆手順にて取付けてください。

重要 ● 4枚刃は上下に付けないでください。上下に付けると性能が発揮できません。

- 刈刃の組付方向は、右図が基本ですので点検・整備の際は確認してください。ただし、作業中に障害物等に干渉して方向が変化することがありますが、性能にはほとんど影響ありません。

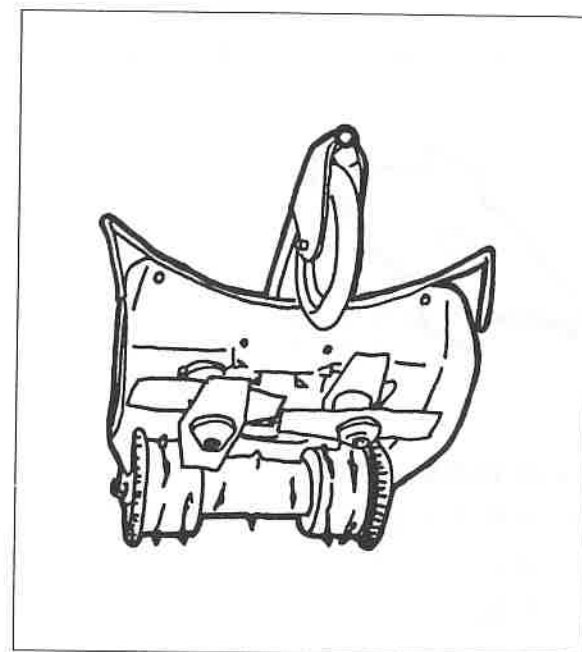


消耗部品の交換のしかた

■刈刃の交換のしかた（刈刃ウケ、締付ボルトも同様）

- ①本機を平坦な場所へ移動させ、前方を上げた状態で置いてください。

警告 ●刈刃交換は、エンジンを停止させてから行なってください。突然回転する恐れがあり大変危険です。
●指定された刈刃または同等品を使用してください。不正な部品の取付や改造は重大事故を引き起こします。



- ②対辺12のボックスレンチを用いて、刈刃のトメネジを外してください。

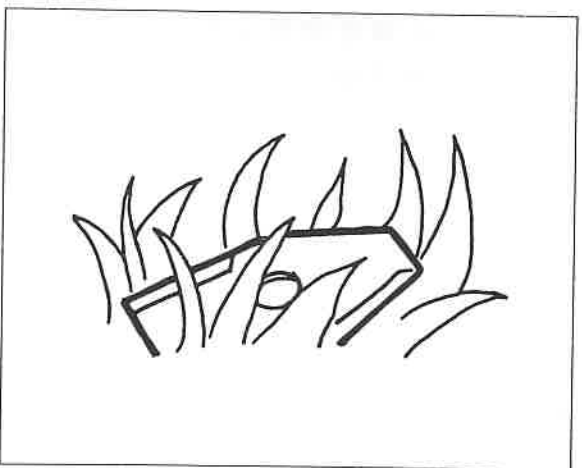
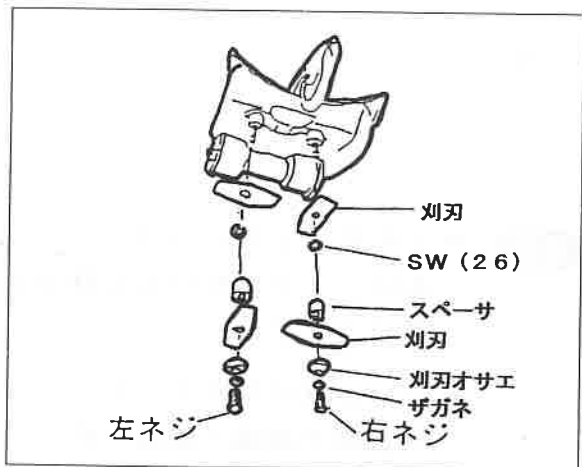
重要 ●左側の刈刃のトメネジは、左ネジになっております。向かって右に回せばゆるみます。

●刈刃着脱の際は、刈刃軸（カラー部とアクスル部）に設けてある穴に、付属工具の刈刃ロックシャフトを差し込み固定して行なってください。

●刈刃交換時は軍手を着用してください。

- ③刈刃（またはオサエカバー、締付ボルト）を交換し、元のとおり組付けてください。

注意 ●交換し、いらなくなった刈刃を放置しないでください。作業中誤って本機と接触し破損を招くばかりか、ケガをする恐れがあります。



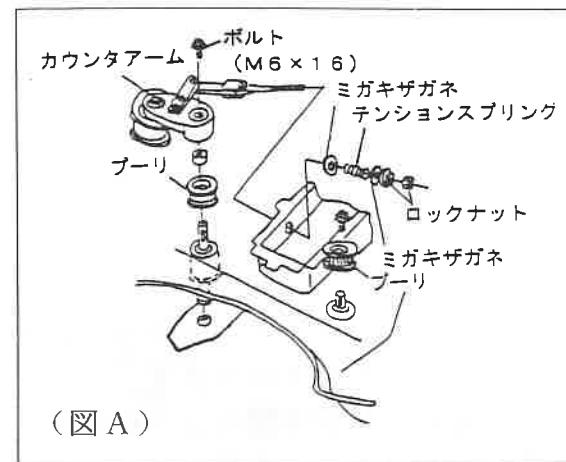
■カリバアクスルの交換のしかた

- (1)フロントホイール、ベルトカバーを外します。
- (2)テンション部のロックナットを外し、テンション部品（スプリング等）を外します。（図A）
- (3)刈刃シャフト中心部のボルト（各1ケ）を外しカウンタアーム、プーリ（2ケ）を抜き取ります。
キーの紛失に注意してください。
- (4)刈刃を外します。（P 64 参照）
- (5)図B 6カ所のボルトを外し、刈刃カバーをASSYごと外します。
- (6)アクスルガイドを外し（トメネジ3カ所）アクスルを外します。（トメネジ4カ所）（図B）
- (7)刈刃シャフトを軸方向（プーリ側）からプラスチックハンマー等で叩き抜きます。（図C）
- (8)元のアクスルからベアリングを抜き取り交換用のアクスルにセットします。
- (9)刈刃シャフトを組付けます。
- (10)逆手順にて組付けます。
- (11)テンション調整はP 54を参照してください。
- (12)刈刃がスムーズに回転することを確認します。

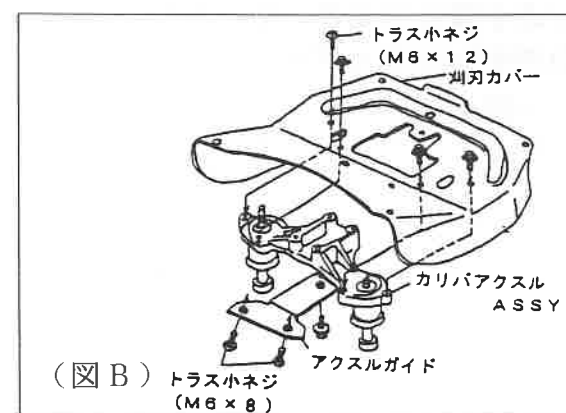
■点火プラグの交換のしかた（図D）

- (1)プラグキャップを外し、付属のレンチ（19-12）にて点火プラグを外します。
- (2)プラグ先端部隙間が0.8～0.9 mmであるか確認します。
- (3)プラグを交換しプラグキャップを被せます。

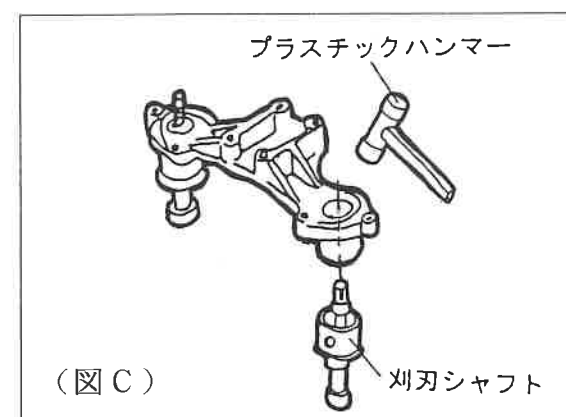
注意 ●エンジンが完全に冷えてから行なってください。火傷をする恐れがあります。



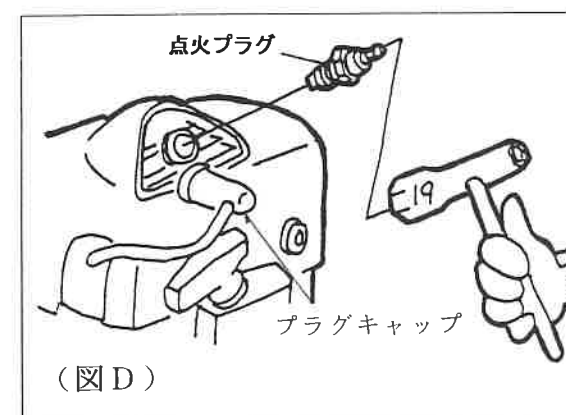
(図A)



(図B)



(図C)

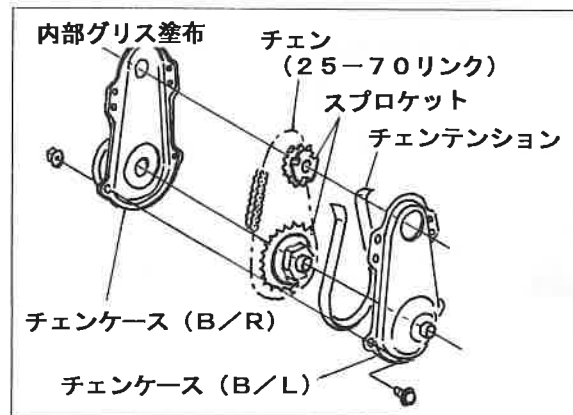
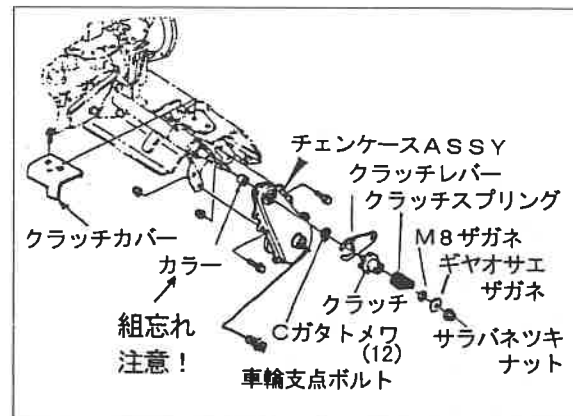
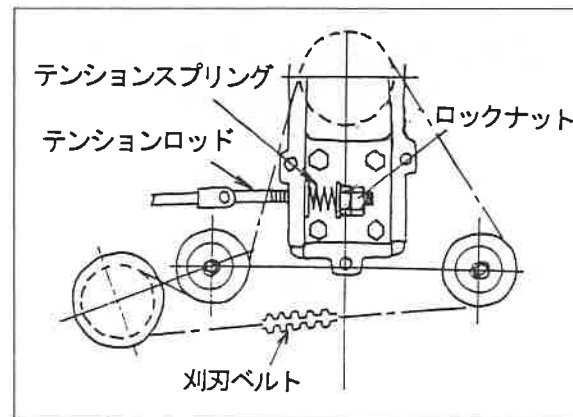
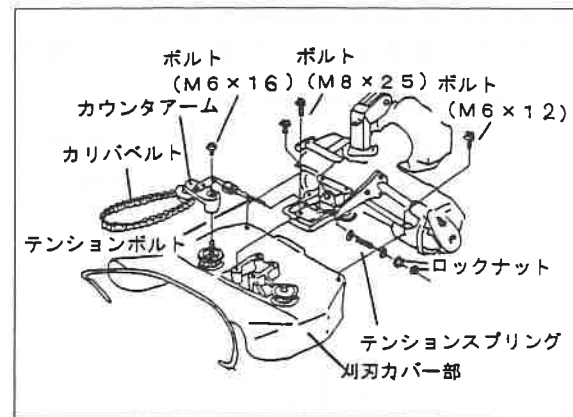


(図D)

■カリバベルトの交換のしかた

- (1)各部樹脂カバー（フロントホイール含）を外します。
- (2)テンションボルトのロックナットを外し、テンションスプリングを外します。
- (3)6カ所のボルトを外し、刈刃カバー部を外します。
- (4)刈刃シャフト部のボルトを外し、カウンタアームを抜き取ります。
- (5)交換用のベルトを図のように通し、再度カウンタアームを差し込みます。
- (6)逆手順にて元のとおり組付けます。
- (7)テンションスプリングはセット時で29～30mmになるようロックナットで調整してください。調整後は必ずロックナットで固定してください。

重要 ●ベルトがねじれないよう注意してください。無理に組付けると切損してしまいます。



■チェンの交換のしかた

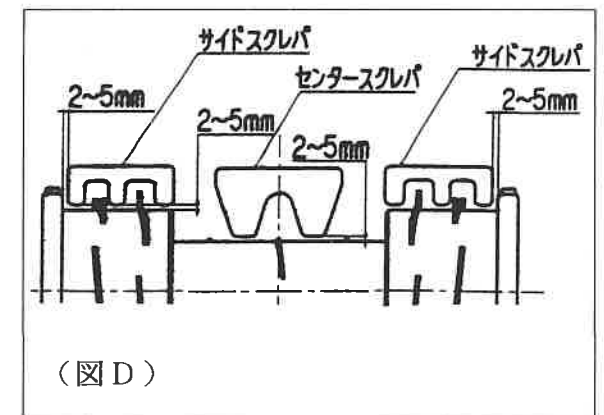
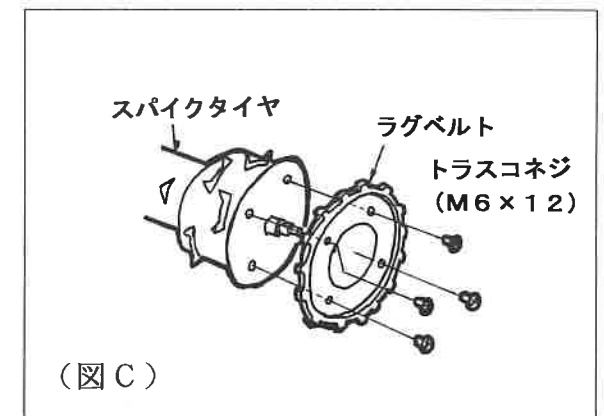
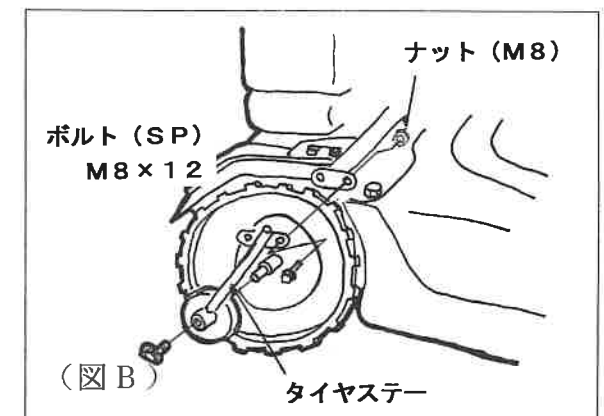
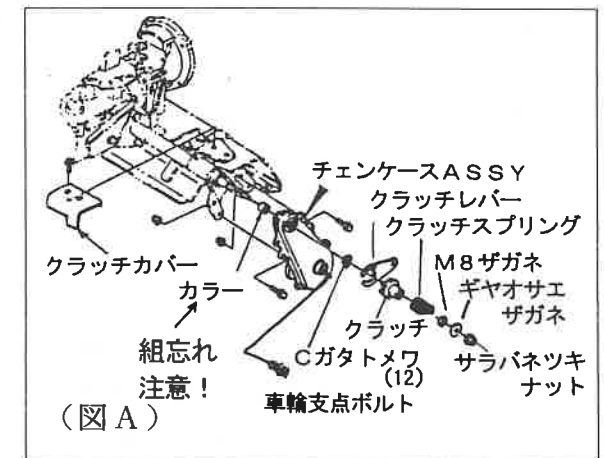
- (1)チェンケース側の車輪支点部のボルトを外します。
- (2)駆動軸部のサラバネツキナットを外し、クラッチ部品を外します。
また、スプロケット部のCガタトメワを外します。
- (3)チェンケース固定ボルト（4箇所）を外しチェンケースを抜き取ります。
- (4)チェンを交換後、チェンテンションも忘れず組付けてください。
- (5)逆手順にて組付けます。チェンケース取付時、走行チェンの調整を行なってください。（P. 55 参照）
- (6)クラッチを切り車輪が軽回転し、またスクレパと干渉しないか確認します。

■車軸ラグベルトの交換のしかた < RK507 >

- (1)クラッチカバーを外します。
- (2)クラッチ部品を外し、チェンケースを取り外します。（図A）
- (3)ラグベルトを固定しているトラスコネジ（4ヶ）を外し、ラグベルトを交換します。（図C）
- (4)逆手順にて組付けます。チェンケース取付時、走行チェンの調整を行なってください。（P. 55 参照）
- (5)クラッチを切り車輪が軽回転し、またスクレパと干渉しないか確認します。（図D）

< RK505B >

- (1)クラッチカバーを外します。
- (2)クラッチ部品を外し、チェンケースを取り外します。（図A）
- (3)タイヤステアを外します。（図B）
- (4)ラグベルトを固定しているトラスコネジ（4ヶ）を外し、ラグベルトを交換します。（図C）
- (5)逆手順にて組付けます。チェンケース取付時、走行チェンの調整を行なってください。（P. 55 参照）
- (6)クラッチを切り車輪が軽回転し、またスクレパと干渉しないか確認します。（図D）



不調時の対応のしかた

- 警告**
- 点検・整備する時は必ずエンジンを停止してから行なってください。
 - 点検・整備で取り外したカバー類は、必ず元のとおり組付けてください。
 - 排気の悪い場所では、絶対にエンジンを始動させないでください。排気ガス中毒になる恐れがあります。
 - エンジンの点検・整備は、完全に冷えてから行なってください。火傷をする恐れがあります。

■不調時の対応のしかた

	現 象	原 因	処 置
1	エンジンが始動しない (エンジンが始動しにくい)	燃料切れ	1 / 50 混合ガソリンを入れ、プライミングポンプを2～3回ゆっくり押す
		エンジンスイッチが「OFF」になっている	エンジンスイッチを「ON」にする
		エンジンが冷えきっている	P. 14 を参照し、チョークレバーを操作する
		エンジンスイッチの故障	販売店への交換依頼
		点火プラグの交換時期または汚れ	P. 65 を参照し、点検を行ない必要なら交換する
		長期間(1週間以上)エンジンを始動させなかった	プライミングポンプを2～3回ゆっくり押す
		エンジンの故障	販売店へ連絡する
2	回転刃が回転しない	刈刃ベルトのテンションボルトによる張り出し調整不足	P. 54 を参照し、調整する
		刈刃ベルトが切れた	P. 66 を参照し、交換する
		刈刃に草等が巻付いている	エンジンを停止し、巻付いた草等を取り除く
		ギヤボックスの故障	販売店へ連絡する
		刈刃シャフト部に草が巻付いている	P. 55 を参照し、巻付いた草等を取り除く
		スロットルワイヤの故障または調整不良	販売店へ連絡する

不調時の対応のしかた

	現 象	原 因	処 置
3	車輪が回転しない	走行クラッチレバーが「切」になっている	走行クラッチレバーが「入」にする
		変速レバーが確実に入っていない	レバー位置を「1」または「2」の位置にする
		ギヤボックスの故障	販売店へ連絡する
		チェーンケース内のチェンが切れている	販売店へ交換依頼
		チェーンケース内のスプロケットの破損	販売店へ交換依頼
		走行クラッチギヤの破損	販売店へ交換依頼
		刈刃に草等が巻付いている	エンジンを停止し、巻付いた草等を取り除く
4	走行クラッチ「入」「切」ができない	走行クラッチギヤの爪がかみこんでしまっている	機体を前後に押し引きしてから、再度走行クラッチを「切」にする
		走行クラッチシフトの変形	販売店へ連絡する
		走行クラッチスプリングの破損	販売店へ交換依頼
		チェーンケース(L)の交換時期	P. 62 を参照し交換依頼
5	旋回レバーを握っても本機が旋回しない(RK507)	刈刃が回っていない	項目2参照
		車輪に草が詰まり、走行クラッチが切れない	エンジンを停止し、巻付いた草等を取り除く
		ケーブルの故障、又は調整不良	販売店へ連絡する
		ギヤボックスの故障	販売店へ連絡する
6	作業中エンジンストップしてしまう	燃料不足	1 / 50 混合ガソリンを補給する
		ボウジンカバーやエアクリナーにゴミがつまっている	P. 53, 58 を参照し、掃除する
		エンジンの焼損または故障	販売店へ連絡する
		誤まって違う燃料を入れてしまった	きれいに抜き取り1 / 50 混合ガソリンを入れる

	現 象	原 因	処 置
7	エンジンが停止しない。	ストップスイッチの故障	販売店へ交換依頼
		ストップコードの抜け	エンジンとストップスイッチの端子部を確認し接続する
		ストップコードの断線	販売店へ交換依頼
8	刈刃がすぐ摩耗する	作業場に石や木切等が多い	作業場を点検し、全ての異物（石、空き缶等）を取り除く
		かたい草を一度で多く刈り過ぎている	刈量を少し減らし、P. 39を参照し適切な方法で作業する
		本体内部の刈刃軸が変形または破損し、刈刃どおしが干渉している	販売店へ連絡する
9	草の刈残しが多い（巻付きが多い）	刈刃の摩耗（交換時期）	P. 64を参照し交換する
		刈刃が確実に組付けられていない	P. 53を参照し組付ける
		エンジン回転数が低下している（スロットルワイヤの調整不良）	販売店へ連絡する
		刈刃ベルトのテンションベルト張り出し調整不足	P. 54を参照し調整する
		密生した草を一度に刈り過ぎている	P. 39を参照し、適切な作業のしかたをする
10	各レバーが作動しない。	各レバーのワイヤがきれた	販売店へ交換依頼
		各ワイヤのロックピンが破損した	販売店へ交換依頼
		各ワイヤのロックピンがかみこんでいる	平坦な場所まで移動させ操作する

重要 ●草等が巻付いているにも関わらず無理に回転させようとすると、エンジン内部クラッチの磨耗が発生し出力ダウンの原因となりますので、巻付きが発生したら無理に回転させようとせず、速やかにエンジンを停止し草を取り除いてください。

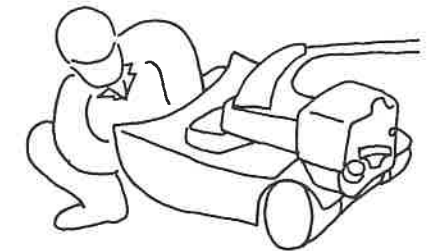
格納時の作業

- 注意**
- 点検・整備の際は、必ずエンジンを切ってください。
 - 点検・整備で取り外したカバー類は、必ず元の通り確実に組付けてください。
 - きれいに掃除してから格納してください。
 - エンジンが完全に冷えてから格納してください。

■格納する前に…

- ①P. 53～59を参照し、各部の点検・整備を行なう。

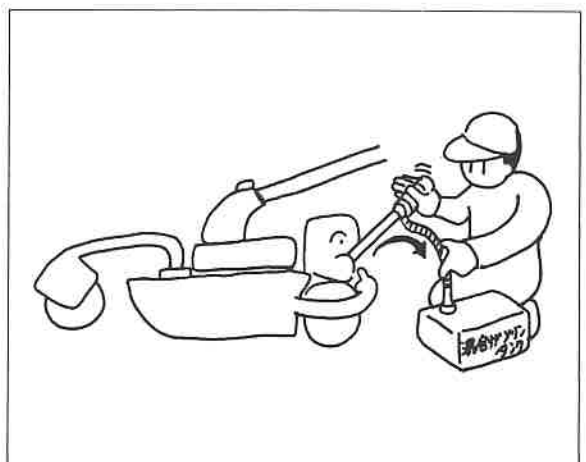
- 注意** ●エンジンの点検・整備は、完全に冷えてから行なってください。火傷をする恐れがあります。



- ②長期（1ヵ月以上）保管の際は、燃料タンクとキャブレター内の燃料を抜いてください。

- 燃料が残らない方法
まず燃料タンクの燃料を全部抜き、エンジンを始動させます。しばらくすると、キャブレター内の燃料を使い果たし、自然に停止します。

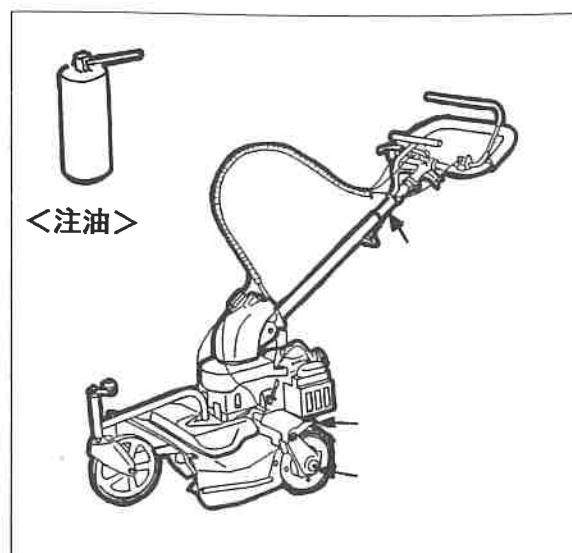
- 重要** ●燃料タンクやキャブレター内に燃料を残したまま長時間エンジンを放置すると、再始動困難や出力低下の原因になります。



- ③各ケーブル内部にスプレーグリス等で注油します。
- ④各動作部に注油します。
- ⑤納屋や倉庫等、本機に雨が当たらない場所に保管してください。
- ⑥やむをえず屋外に置く時は、シートを被せてください。

重要 ●雨・風が当たる場所に保管すると錆等が発生し、次回使用時に作動系が重くなる恐れがあります。

警告 ●エンジンが完全に冷えてから格納してください。火災を引き起こす恐れがあり大変危険です。
●使用しない燃料は放置せず所定の場所へ収納してください。



農作業を安全におこなうために

農林水産省より、安全に農作業に従事できるように、農業機械を使用するときの注意事項が「農作業安全基準」として定められています。ここに、斜面草刈機を使用される方のために、特に重要な項目を「作業安全基準」より抜粋しております。熟読の上、事故のない楽しい農作業のためにお役立てください。

1 一般共通事項

〔1〕適用範囲

一般共通事項は、農業機械を使用して行う作業に従事する者が農作業の安全を確保するための注意すべき事項を示すものである。

〔2〕就業条件

①安全作業の心得

農業機械を使用して行う作業（以下「機械作業」という）に従事する者は機械の操作の熟練に努め、自己の安全を図ると共に、補助作業員及び他人に危害を及ぼさないように、機械を正しく運転することに努めること。

②就業者の条件

次に該当する者は、危険を伴う機械作業に従事しないこと。

- 精神病患者
- 酒気をおびたもの
- 若年者
- 未熟練者

過労・病気・薬物の影響その他の理由により正常な運転操作ができない者。

はげしい作業が続く場合には、特に健康に留意し、適当な休憩と睡眠をとること。また、妊娠中の者は、振動を伴う機械作業に従事しないこと。

③特殊温湿度環境下の安全

暑熱、寒冷及び高湿の環境における作業に際しては、安全を確保するため作業時間及び方法を十分検討すること。

〔3〕子供に対する安全配慮

機械には子供を同乗させないこと。また機械には子供を近寄らせないように注意すること。

〔4〕安全のための機械管理

①日常の点検整備

農業機械は、使用の前後に日常の点検整備を行い、常に機械を安全な状態に保つこと。

②防護装置の点検

- 機械作業に従事する時は、機械の操縦装置、制御装置等危険防止のために必要な装置を点検整備して常に正常な機能が発揮できるようにしておくこと。
- 機械に取り付けられた防護装置等を機械の点検整備又は修理等のために取り外した場合は、必ず復元しておくこと。

③揚げ装置落下の防止

作業機を上げた位置で点検調整等を行う場合はロック装置のあるものについて、必ずこれを使用し、かつ、ロック装置の

有無にかかわらず作業機について落下防止の措置を講じること。

④整備工具の管理

点検整備に必要な工具を適正に管理し、正しく利用すること。

〔5〕火災・爆発の防止

①引火・爆発物の取り扱い

引火又は爆発のおそれがある物質の貯蔵、補給等にあたっては、その取り扱いを適正にすること。特に火気を厳禁すること。

②火災予防の措置

火災のおそれがある作業場所には、消化器を備え、禁煙場所を決める等火災防止の措置を講じること。

〔6〕服装及び保護具の使用

次の農作業に際しては、適正な服装及び保護具を用い、危険のないよう作業に従事すること。

①頭の傷害防止の措置

機械からの墜落及び落下物のおそれの大きい場合等では、頭部保護のために適正な保護具を用いること。

②巻き込まれによる傷害防止の措置

原動機若しくは動力伝導装置のある作業機を使用する場合には、衣服の一部、頭髮、手拭き等が巻き込まれないように適正な帽子及び作業衣等を使用すること。

③足の傷害及びスリップ防止の措置

機械作業において、作業機等の落下土礫の飛散、踏付け、踏抜き及びスリップ等のおそれのある場合は、これらの事故を防止するために適正な履物を用いること。

④粉じん及び有害ガスに対する措置

多量の粉じん及び有害ガスが発生する作業にあたっては、粉じん及び有害ガスによる危険防止のための適正な保護具を使用すること。

⑤農業に対する措置

防除作業においては、呼吸器、眼、皮膚等からの農業による障害防止のために適正な保護具（保護衣を含む）を使用すること。

⑥はげしい騒音に対する措置

はげしい騒音の伴う作業にあたっては、耳を保護するための適正な保護具を使用すること。

⑦保護具の取り扱い

安全保護具を常に正常な機能を有するように点検し、正しく使用すること。

2 移動機械共通事項

〔1〕適用範囲

移動機械共通事項とは、地上を移動しながら作業するトラクターその他の機械を使用して行なう作業に従事する者が注意すべき事項を示すものである。

〔2〕作業前の注意事項

①機械の点検整備

●機械の点検整備を十分行ない、その使用にあたっては、常に安全を確保すること。

●機械の点検整備、手入れおよび作業機の装着等は、交通の危険がなく平坦である等、安全な場所であつ安全な方法で確実に行なうこと。とくに、屋内で内燃機関を運転しながら点検整備等を行なう場合は、換気に注意すること。

②防護装置の保全

●機械に取り付けられた防護装置は、つねに有効に作用する状態に保っておくこと。

●機械の点検整備等のために防護装置を取りはずした場合は、必ず復元し、その機能を十分に発揮できるようにしておくこと。

③悪条件下における作業

土地条件、気象条件等により機械作業に対する条件がよくない場合の作業については、実施の判断、作業方法および装備の選択に注意すること。

〔3〕作業中の注意事項

①前方および後方の安全確認

運転中または作業中は、つねに機械の周囲に注意し、安全を確認すること。とくに、発進時に注意すること。

②転倒落下の防止

●傾斜地における機械作業においては、機械の転倒を防ぐために速度旋回、作業方法等に注意して運転操作を行なうこと。

●圃場への出入り、溝また畦畔の横断、軟弱地の通過等に際しては、機械の転倒を防ぐために、とくに注意すること。

●機械の積み降しに際しては、機械の転倒および落下を防ぐための適切な措置を講じ、十分注意して行なうこと。

③傷害の防止

●動力電動装置・回動部等の危険な部分には、作業中接触しないように注意すること。

●刃または鋭利な突起を有する機械で作業を行なう場合は、傷害防止のためにとくに注意すること。

●作業中に土塊・石等が飛散する作業においては、飛散物によって傷害がおこらないように注意すること。

④道路走行の安全

●道路走行にあたっては、関係法規を守り、安全に運転すること。

●道路走行にあたっては、他の自動車走行の妨げとならないように留意すること。

●刃物または鋭利な突起物を有する機械を道路走行させる場合は、おおいをつけるかまたはこれを取りはずす等とくに傷害防止のために注意すること。

⑤作業中の点検調整等における安全装置
機械の点検調整は、必ず原動機を止め、安全な状態で行なうこと。

休けい等で機械を離れる場合は、機械を安定した場所におき、作業機を下し、かつ、完全な停止状態を保つように注意すること。やむを得ず傾斜地に機械を置く場合は、さらに車止めを施して、自然発車等の危険がないように注意すること。

〔4〕終業後の注意事項

①終業後の点検整備

作業終業後は、必ず次の作業のため機械の点検整備を行なうこと。

②機械の安全管理

作業終了後は、作業機をはずし、またはおろし、機械を安定した場所に置き、かつ、安全な停止状態を保つように注意すること。

また、危険と思われる機械は、格納庫に保管するかおおいをかけるなどして安全な状態におくこと。

サービス資料

主要諸元

仕様

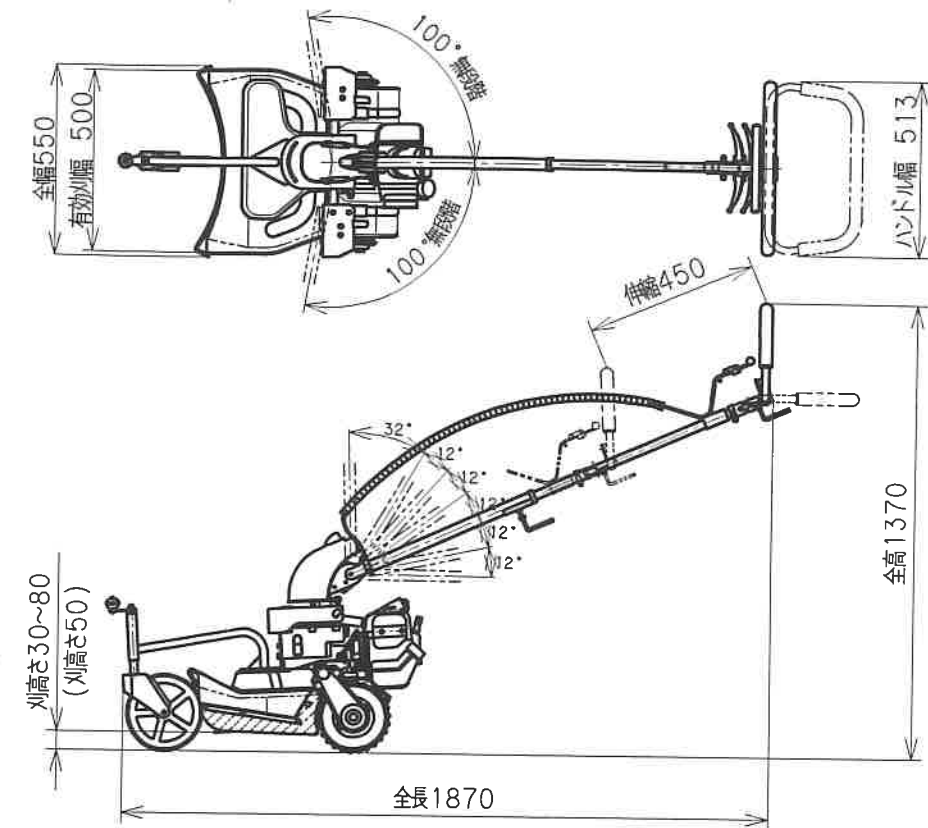
型 式		RK507-L	RK505B-L
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1460~1870	1510~1920
	全 幅 (mm)	550	
	全 高 (mm)	1185~1370	1125~1310
	機 体 質 量 (kg)	45	37
	ハンドル伸縮長 (mm)	450	
エ ン ジ ン	エ ン ジ ン 型 式	カワサキTH48-DX	
	排 気 量 (cc)	48.6	
	最大馬力 (ps [KW] /rpm)	2.2 [1.6] /7000	
	使 用 燃 料	1/50混合ガソリン	
走 行 部	走 行 方 式	自走式	
	車 輪	大径幅広スパイク	
	走行制御方式	トルクリミッタ	
	走行変速段数	前進2段	
	旋回方式	ハンドル自動旋回 +車輪サイドクラッチ	手 動
	1 速 (km/h)	1.0	
	2 速 (km/h)	1.8	
刈 取 部	刈 刃 枚 数 (枚)	4枚	
	刈 刃 形 状 (mm)	バーナイフ (254)	
	刈 幅 (mm)	500	
	刈 高 さ (mm)	30 ~ 80 (無段階)	35, 45, 55, 65
適 応 性	適 応 草 丈 (mm)	700以下	
	畦上からの斜面刈長さ (mm)	1700 (ハンドル延長時)	
	斜面適応角度 (度)	45	
	平面作業能力 (a/H)	5.0~9.0	

※適応草丈、能率および斜面適応角度は、草や圃場条件により異なります。

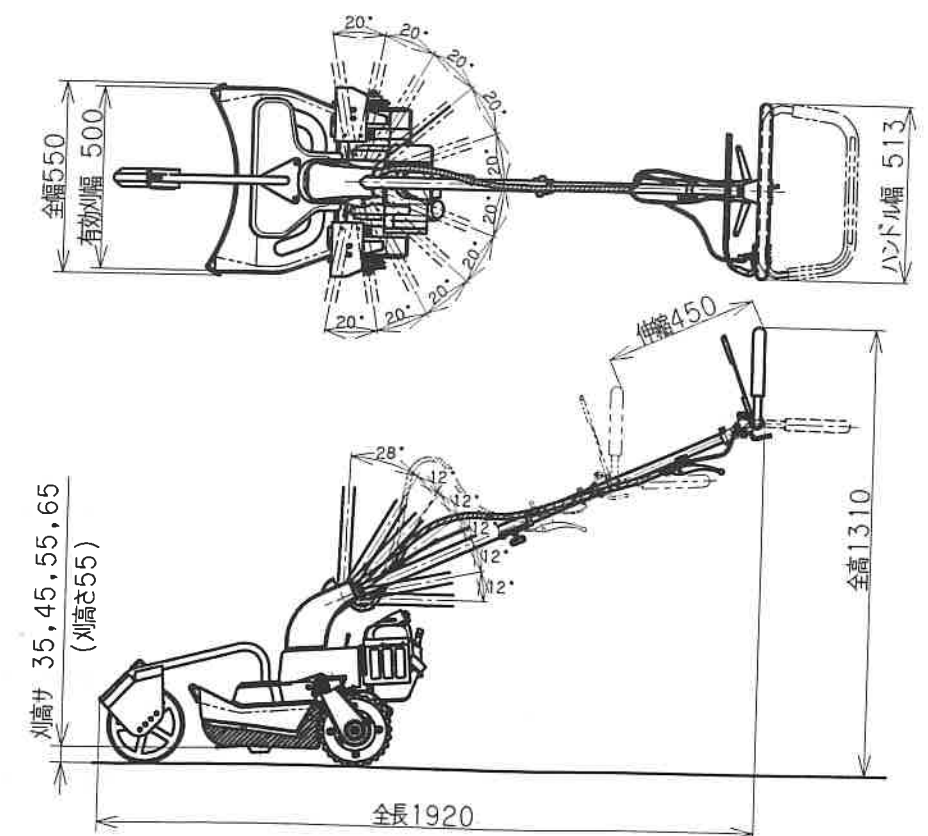
サービス資料

■外観図

RK507-L



RK505B-L



■使用燃料について

警告 ●ガソリンは引火性が強く危険なため、燃料を取扱うときは周囲に火気のない換気のよい場所で行ってください。

本機の燃料は、2サイクル専用オイルと自動車用無鉛ガソリンを一定の割合で混ぜ合わせた混合ガソリンを使用して下さい。

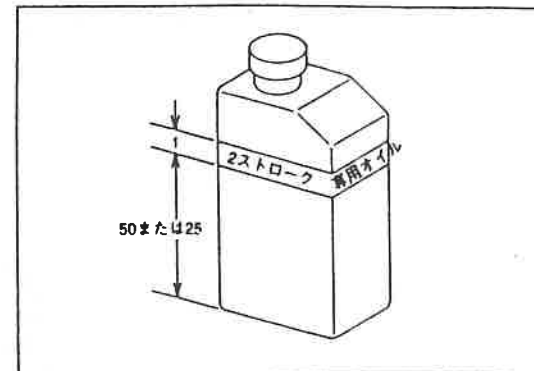
- 燃料の混合比は、2サイクルエンジンオイルの種類により下記の通り使用して下さい。

【50：1】

- JASO性能分類 FC相当品

【25：1】

- 市販の2サイクル専用オイル
- JASO性能分類 FB、FA相当品



燃料混合比率表

ガソリン	2サイクル専用オイル	
リットル	mL	
	50：1	25：1
1	20	40
4	80	160
8	160	320

注 意
<p>JASO性能分類</p> <p>使用者が2サイクル専用オイルの選択を容易にできるように「FC、FB、FA」の3種類に性能分類し容器に表示しています。</p> <p>混合比50：1に混合する場合は必ず「FC」の表示された2サイクル専用オイルを使用して下さい。</p>

注 意

1. ガソリンとオイルの混合
★混合比が不適正であったり、2サイクルエンジンに不適切なオイルを混合しますとエンジン性能を低下させ、運転不調や焼付きなどの原因となることがあります。
2. 変質燃料に注意
★長期間保管した燃料は、ガソリンの成分が変質している場合がありますので充分注意して下さい。燃料の色が変化していたり、異臭のするような燃料は使用しないで下さい。
3. 水、ゴミの混入チェック
★燃料中にゴミや水が混入していないかチェックしてください。ゴミがキャブレタ内に入ると、燃料や混合気の通路をふさぎエンジン不調の原因となります。
4. 保管容器は金属容器で
★農薬や家庭用洗剤等の容器は、燃料を変質させる場合があるため絶対に使用しないで下さい。
★燃料の保管容器は、できるだけ密閉可能な金属容器とし、燃料専用としてご使用下さい。
5. 保管場所は冷暗所で
★燃料は火災予防や燃料の変質防止のため、火気のない暗くて冷たい場所に保管して下さい。

索引

- あ 安全のポイント..... 1
安全作業..... 36
安全表示ラベルについて..... 6
エアクリーナ..... 8, 57, 58, 59
エンジン..... 9, 14, 58
エンジンスイッチ..... 8, 13, 23, 25
オプション部品の紹介..... 63
- か 各部カバー..... 8, 9, 22, 59
各部の名称..... 8
格納時の作業..... 71
刈高さ調整ハンドル..... 16, 37
刈高さの変更..... 37
刈刃..... 8, 16, 21, 22, 41, 53
刈刃アックスルASSY..... 61, 65
刈刃ウケ..... 53, 60
刈刃カバー..... 8, 17, 62
刈刃の交換..... 41, 52
刈刃ベルト..... 54, 59, 62
刈刃ロックシャフト..... 52, 63
草づまり..... 27, 40, 45
クラッチカバー..... 8
混合ガソリン..... 15, 21, 50, 78
- さ 作業のしかた..... 24
作業の準備..... 18
G. BOXオイル..... 56
車輪ラグベルト..... 61, 67
シュークラッチ..... 27, 62
集草ガイド..... 8
主要諸元..... 76
上下レバー..... 8, 11, 23, 29
上手な作業のしかた..... 39
消耗部品の紹介..... 60
消耗部品の交換のしかた..... 64
伸縮ロックレバー..... 8, 12
スクレパ..... 60
スパイクタイヤCOMP..... 62
スロットル調整のしかた..... 57, 58
スロットルレバー..... 8, 10, 39
スロットルワイヤ..... 8, 68, 70
旋回ハンドル..... 8, 12, 50
走行クラッチレバー..... 8, 10, 18, 23, 39
- た タスカルロープ..... 43, 50
ターンのしかた(RK505B)..... 29
ターンのしかた(RK507)..... 31
チェン..... 61, 66
チョーク..... 8, 15
点火プラグ..... 52, 65
点検時期..... 59
テンションスプリング..... 62, 65, 66
- な 日常の点検と整備..... 53
燃料キャップ..... 8, 15, 21
燃料タンク..... 8, 15, 21
燃料補給..... 21, 71
- は ハンドル旋回ノブ..... 8, 11
ハンドル旋回レバー..... 9, 11, 23, 29
ハンドルロックレバー..... 8, 12
飛散防止ゴム..... 62
左旋回レバー..... 8, 11, 31
不調時の対応のしかた..... 68
プライミングポンプ..... 9, 24
ベルトカバー..... 8, 17
変速レバー..... 8, 13, 42
絞ツガバ(ASSY)..... 8, 15, 22, 53, 61
ボウジンスポンジ..... 8, 15, 22, 53, 61
ボウジンスポンジH..... 52, 61
ボウジンネット..... 58, 59
保証とサービス..... 7
- ま 前車輪..... 16, 37
右旋回レバー..... 8, 11, 31
- や ヨンマイバ(4枚刃)..... 41, 63
- ら ラグベルト..... 61, 67
リコイルスタータ..... 8, 14, 25
ループハンドル..... 8, 12, 43
レンチ(19-12)..... 52, 53, 63

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。

 **井関農機株式会社**

 **株式会社 アグリップ**

本社 〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1番1号
関東センター 〒365-0028 埼玉県鴻巣市大字鴻巣字沼田1202番地
明石センター 〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1番1号
東北営業所 〒984-0823 宮城県仙台市若林区遠見塚1丁目18番36号
関西第一営業所 〒523-0016 滋賀県近江八幡市千僧供町字大橋602
九州営業所 〒862-0913 熊本県熊本市尾ノ上1丁目10番12号

TEL 078-927-2841	FAX 078-927-2946
TEL 0485-43-3620	FAX 0485-43-5462
TEL 078-927-2841	FAX 078-927-2946
TEL 022-286-1891	FAX 022-286-1519
TEL 0748-38-0131	FAX 0748-38-0318
TEL 096-365-5151	FAX 096-365-3923

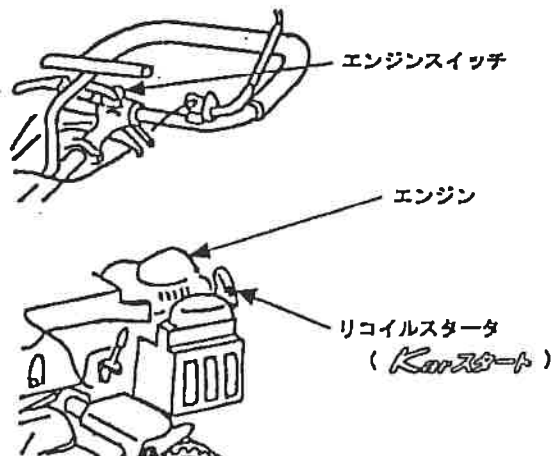
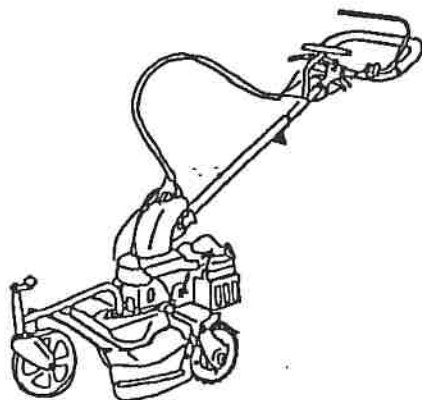
斜面草刈機 たすかる *Karスタート* 仕様

補足説明書

RK505BLK
RK507LK

- ・このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
- ・この補足説明書には *Karスタート* 仕様機についての補足事項を記載しております。ご使用前に必ず本書及び、取扱説明書をお読みください。
- ・この補足説明書は、いつでも取り出して読むことができるよう大切に保管してください。

■各部の名称



■点検と整備



注意

- リコイルスタータをエンジンから不用意に取り外すと、蓄力されたスプリングが一気に解放しリコイルスタータが回され危険です。リコイルスタータの取り外し作業方法は、代理店にご相談ください。
- リコイルスタータが蓄力式のため、エンジンが遅れて始動する場合があります。また、不用意にロープが引っ張られて、思いがけずエンジンが始動することもあります。作業を中断したり、他の場所に移動したりするときは、エンジンスイッチを必ず「OFF」にしてください。

- ・従わなかった場合、ケガを負う恐れがあります。

■長期保管

- ・エンジンスイッチをOFFにしてください。
- ・燃料タンクとキャブレター内の燃料を抜いてください。
- ・プラグキャップを抜き、エンジンが始動しないようにしてください。

■仕様

名称・型式名	斜面草刈機「たすかる」	
	RK505BLK	RK507LK
エンジン始動方式	リコイルスタータ (<i>Karスタート</i>)	
機体質量 (kg)	37.2	45.2



井関農機株式会社



株式会社 アグリップ

本社	〒116-0013	東京都荒川区西日暮里5-3-14 (FSビル9F)	TEL (03) 3803-6617	FAX (03) 3806-2386
北海道・東北営業所	〒984-0823	宮城県仙台市若林区遠見塚1-18-36	TEL (022) 286-1891	FAX (022) 286-1519
関東営業所	〒365-0028	埼玉県鴻巣市大字鴻巣宇沼田1202	TEL (048) 543-3620	FAX (048) 543-5462
関西営業所	〒523-0016	滋賀県近江八幡市千僧供町大橋602	TEL (0748) 38-0131	FAX (0748) 38-0318
中四国営業所	〒673-8666	兵庫県明石市川崎町1-1	TEL (078) 927-2841	FAX (078) 927-2946
九州営業所	〒861-2297	熊本県上益城郡益城町安永1400	TEL (096) 286-8888	FAX (096) 286-0700